

福岡県公民館大会



御所ヶ谷 神籠石

—第**20**回—

日本の生んだ世界のマーク

SONY®

ソニーからまたひとつ...

テレビをコピーする テレビ 新発売

ブラウン管こそありませんが、チャンネルはついています。テレビです。全く新しい働きをするテレビなんです。

放送番組を自由自在に録画、そして再生できます。都合で見られない番組はサツと録画、あとでゆっくりご覧になれます。ひとつの番組をみながら同時に裏番組の録画も、という芸当もやっつきのけます。再生されるカラーの美しさは、放送時と全く変わりません。これからは、見たいときに見られないというくやしさがなくなり、世の中が面白くなります。

カセット1本で60分。放送時間にピッタリ。30分用も準備しています。



音楽番組はHi-Fiステレオで。ご家庭にあるどのステレオ装置にも接続できます。音はすばらしいHi-Fiステレオです。

操作はお子様でも、プッシュボタン式。

カメラで記録も。放送を録画できるばかりでなく、ビデオカメラ、マイクをつなげば見えるもの、聞えるもの、何でもご自分で記録できます。

放送録画はチャンネルを合わせるだけです。

U-matic カラー・ビデオカセット

録画・再生VO-1700 ¥358,000
再生専用VP-1100 ¥238,000

●お手持ちのどんなカラーテレビ(白黒テレビ)にも接続できます。 ●業務用に放送を録画することは法律で禁じられています。

●ご質問、ご相談はソニービデオシステム株式会社へ

福岡営業所 〒810 福岡市中央区天神3丁目16番19号 ☎092(74)2761

北九州営業所 〒803 北九州市小倉区堅町3丁目1番5号 ☎093(582)0812



第20回大会へのねがい

福岡県公民館連合会長 青山 了

福岡県公民館大会も20回を数えることになりました。

本日ここに、県下の志を同じくする皆さんをお迎えして意義深い20周年大会を開催いたしますことは、まことに喜びにたえないところであります。

県公民館連合会が歩いてきた20年の足跡をふりかえってみますと、必ずしも担々としたものではなく、創業の苦しみはさることながら、社会のはげしい変化の中で、ときには会の伸長がさまたげられ、ときには財政の危機に直面し、その存在意義をきびしく問われるなど内外ともに苦難の連続でございましたが、先輩諸子の卓越した識見とご努力に加え、公民館関係者のご理解と協力に支えられ、本日の大会を迎えることができ感慨一汐のものがあります。ここに改めて感謝申し上げます。

70年代は教育の時代であるといわれています。すでに皆さまご承知のとおり、昨年度学校教育、社会教育の両面から答申がなされ21世紀にむかう教育体制の方向が示されました。こんど、この答申に沿って教育の改革が施策に具体化され、教育の考え方やあり方が大きく転換されてゆくことが予想されます。その中で、共通して一貫している教育の理念は生涯教育ということであります。もちろん、唱導されて日も浅く未開拓の分野もたくさんありますが、人間の生涯にわたる教育をすすめる上で社会教育が重要な位置と役割があり、この観点から再構成されなければならぬことが強調されております。

公民館は、社会教育の中心施設であることはいまさら多言を要しません。したがって生涯教育の一翼を背負う教育施設であるということがいえます。

このような観点から、公民館の現状をみた場合、職員、施設、設備など教育施設としての基本的問題でさえ未解決のままに残されています。

私たちは、改めてここで生涯教育の教育施設であるという視点から、公民館を再検討し将来に備えて整備充実がはかられなければその存在さえもなくすことになりかねません。

幸いにして、文部省においては、昨年度公民館施設、整備のため施設補助を大巾に増額し、さらに本年度は昨年度の額を上回る 14 億 7000 万円の補助額が決定されております。

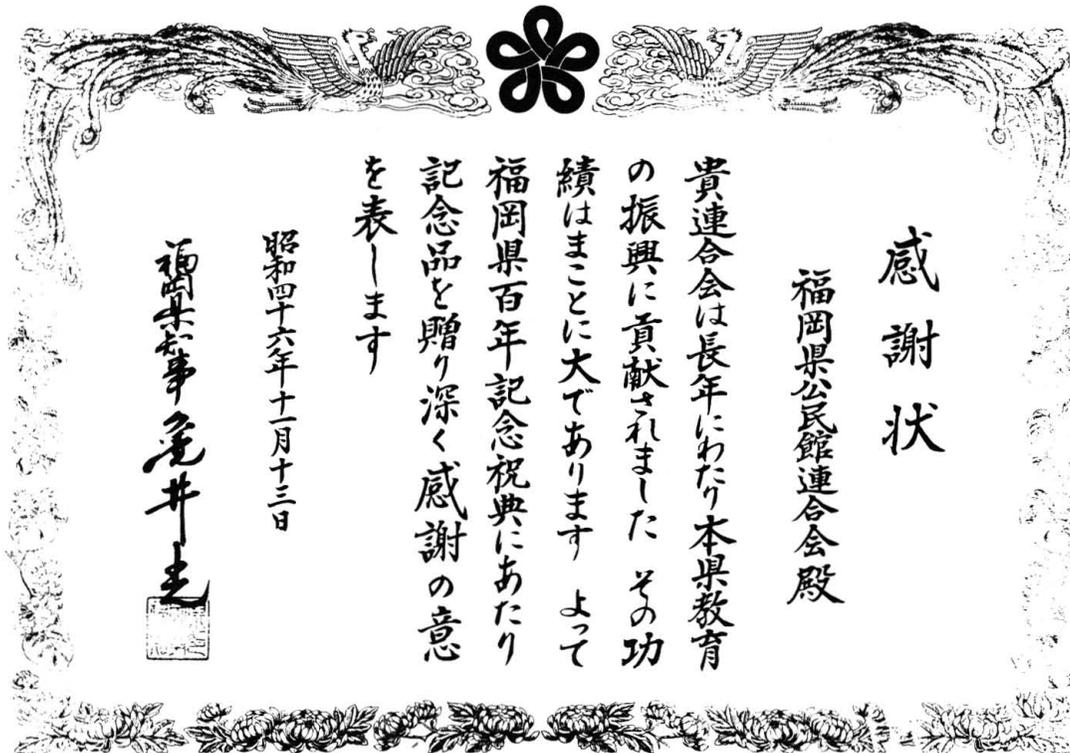
このように、公民館施設の整備充実については、なみなみならぬ意欲をもってすすめられてきております。さらに、社会教育法の改正が活発化し、多方面から検討が加えられて、成文化の機が熟してきています。公民館が設置されて以来私たちが叫びつづけてまいりましたことが、ようやく現実への曙光がみえてきたということがいえます。しかしながらこのことは、悲願の一端が達成せられたということで、理想には程遠く目的達成のためには多くの問題が残されています。さらに、決意を新たにし、総意を結集して公民館の必置制、公民館職員の身分保障、施設の国庫補助など、法改正の中にもりこむ与論を高め、悲願実現へさらに一步すすめる努力が必要であります。

第 20 回大会は、この意味から将来を志向する新しい公民館の幕あけの時であり、再出発の起点であるということができます。

大会のテーマとしてあげています「住民の日常的学習に応えられる公民館の体制」について考え、「新しい地域社会を形成するための今日的役割り」を明らかにするため、現場の具体的事実の中から問題を掘りさげていただき、今後の公民館の新しい活動の方向を、話しあいの中でたしかめ、明日からの実践に生かしていただくよう期待いたします。皆さんの積極的な参加をお願いしますとともに穫りある大会にもりあげていただきますようお願いいたします。

最後に、この大会をおひきうけいただきました京築地区市町村ならびに教育委員会、公民館の方々に対し心から感謝申し上げます。





感謝状

福岡県公民館連合会 殿

貴連合会は長年にわたり本県教育の振興に貢献されました。その功績はまことに大であります。よって福岡県百年記念祝典にあたり記念品を贈り深く感謝の意を表します。

昭和四十六年十月十三日

福岡県事務局長 尾井 圭

昭和46年11月13日に行われた「福岡県百年記念祝典」において、福岡県公民館連合会は、公民館活動を通じて福岡県の社会教育の振興に貢献したとの理由で表彰をうけた。

.....公民館への献詩.....

ここに きよらかな
 生命の泉が湧いている
みず みずしい
 知恵の樹が萌えている
真と 善と美の
 共同の水汲場
わたしたちの 連帯の広場
 されば
ながれ 涼しき泉のほとり
 風すこやかな みどりの木蔭に
いのちの水を掬み
 生活の やすらぎを楽しみ
千年至福の 明日の幸福を願う。



第20回福岡県公民館大会開催要項

1 大会趣旨

激動の社会に対処する教育がきびしく問われ、昭和46年中教審・社教審の答申がなされた。その中で、第三の教育改革の路線が示され、生涯教育の理念に立って、家庭・学校・社会を通じ教育の再組織と整備拡充が早急にすすめられようとしている。

社会教育の拠点として公民館もこの教育改革の中で、時代に対応するため教育的な基盤の整備充実がすすめられなければならない時にきている。

このような流れの中で、本年度大会は、県公連組織20年の歴史をふまえ、住民の日常的教育要求に応えるための公民館の組織体制、事業に視点をあて、新しい地域社会を形成するための役割りを、当面する問題の中から求め、これからの公民館の実践的方向を明らかにしようとするものである。

2 大会のねらい

- (1) 住民の日常的学习要求に応じる公民館体制の確立と、今日的役割りを考えよう。
- (2) 新しい地域社会(コミュニティー)形成のため、公民館活動のあり方を明らかにしよう。

3 主催

福岡県公民館連合会 福岡県教育委員会 行橋・豊前市教育委員会 京築地区公民館連絡協議会 京都郡公民館連合会 築上郡公民館連合会 京都郡・築上郡地教委連絡協議会

4 後援

福岡県 福岡県市長会 福岡県町村長会 福岡県市議会議長会 福岡県町村議会議長会 福岡県市町村教育委員連絡協議会 福岡県社会教育委員連絡協議会 福岡県青少年問題協議会 福岡県視聴覚教育協会 福岡県新生活運動協議会 福岡県貯蓄推進委員会 福岡県農協中央会 福岡県父母教師会連絡協議会 福岡県都市市婦人会連絡協議会 福岡県青年団協議会 福岡県子ども会育成連絡協議会 福岡県社会福祉協議会 福岡県老人クラブ連合会 福岡県明るく正しい選挙推進協議会 福岡県選挙管理委員会 福岡県体力づくり推進協議会

5 期 日

昭和47年7月6日(木)～7月7日(金)

6 会 場

主会場 行橋市市民会館

分科会場 (1) 京都郡勝山町中央公民館 (4) 京都郡犀川町中央公民館
(2) 京都郡豊津町中央公民館 (5) 築上郡椎田町中央公民館
(3) 京都郡荊田町三原文化会館 (6) 築上郡築城町中央公民館

7 参加者

- (1) 地方行政関係者
(市町村長 文教関係委員 教育長 教育委員 社会教育課長関係職員 社教主事)
- (2) 社会教育委員公民館運営審議委員
- (3) 公民館関係者
(公民館長 公民館主事 事務関係職員)
- (4) 公民館利用者
(婦人会 青年団 父母教師会 子ども会 老人クラブ 一般成人グループ サークル員)
- (5) 学校教育関係者
- (6) 後援機関団体の関係者

8 大会日程

第 1 日 (7月6日) (木) 分科会

※ 各分科会毎に開催

9:00~10:00 うけつけ
 10:00~10:30 開会行事
 10:40~12:00 (1) 公民館経営発表
 (2) 研究懇談
 12:00~12:40 昼食
 12:40~15:30 分科会

第 2 日 (7月7日) (金)

9:00~10:00 うけつけ
 10:00~10:30 大会式典
 開会宣言
 開式のことば
 主催者あいさつ
 歓迎のことば
 来賓祝辞
 祝電披露
 閉式のことば
 10:30~11:00 表彰式
 11:00~12:00 郷土芸能・民謡紹介
 12:00~12:30 昼食
 12:30~13:50 記念講演

「明日を創る公民館の路線」

兵庫県西宮市教育長 刀称館 正也 氏

13:50~14:20 大会のまとめ(宣言決議)

14:20~ 閉会行事

9 分科会の構成

	部門別	分科会	会場
I	管理運営部門	① 市 部	行橋市民会館
		② 町 村 部	行橋市民会館
II	公民館経営と 事 業	③ 少年教育と公民館	築城町公民館
		④ 青年教育と公民館	築城町公民館
		⑤ 婦人教育と公民館(市部)	豊津町公民館
		⑥ // (町村部)	豊津町公民館
		⑦ 老人教育と公民館	勝山町公民館
		⑧ 同和教育と公民館(市部)	椎田町公民館
		⑨ // (町村部)	椎田町公民館
		⑩ 体力づくりと公民館(市部)	犀川町公民館
		⑪ // (町村部)	犀川町公民館
		⑫ 地域開発と公民館	苅田町三原文化会館
III	部落・町内 公民館の運営	⑬ 町内会館	行橋市民会館
		⑭ 部落公民館	行橋市民会館

大会のねらいとしくみ

1 大会の構想の背景とねらい

(1) 新しい教育改革の波と公民館

昭和46年4月社会教育審議会から「社会構造の変化に対処する社会教育のあり方」について答申がなされ、つづいて6月に中央教育審議会から「今後における学校教育の整備拡充について」の答申がなされました。同じ年に同時に、学校教育、社会教育の両面から答申がなされたことはかつてなかったことであります。それだけに重要な意味をもっているといわなければなりません。

この答申に基づいて、わが国の教育改革がすすめられていくことになり、新しい21世紀にむかう教育の布石がなされたということがいえます。

この中で、教育改革の基本は「1人1人を大切にす民主的基本精神を養ない、社会化された個性を育てること」であると述べ、よい家庭、よい社会人、よい国民、よい国際人を育てることが基本であることが強調されています。

社会教育におきましては、すでにご承知のとおり、社会教育の意義をひろくとらえ、「国民生活のあらゆる機会と場所において行なわれる各種の学習を教育的に高める活動」であるとし生涯教育の観点から再構成される必要が強調されています。

なお、これがため人間一生の成長段階における教育課題と多様な教育要求に対処する内容方法の改善が指摘され、社会教育行政の重点として、施設と指導者の飛躍的充実が提唱されております。

この答申に沿って、どのように具体化されるかは、今後の施策として学校教育、社会教育の両面から明らかになってくるものと思います。

社会教育の中心的施設である公民館活動の中で、これらの答申にのべられている理念やあり方を、どのように捕え具体化していくかは、今日的課題であり、自らの問題として考えなければならないと思います。以上の観点から「住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考えよう」を本大会の第一のねらいとしました。

2 新しい地域社会づくりの胎動と公民館

物質的な豊かさを求める経済活動が達成されたかみえる今日、私たちの住む地域社会は、いろいろな意味で根定からゆり動かされてきています。過疎と過密、自然の破壊、生活環境の破壊……。これらの現象は、単に地域社会の生活環境を悪化させたに止まらず地域共同体の空洞化・形骸化に拍車をかけ、さらには人間性のそう失、連帯性の稀薄化など、人間の根源的問題まで深く影響を及ぼしてきています。

このような、地域社会の現状の中から人間らしい生活を求める具体的な住民の活動が、生活防衛や生存権を守るという立場から組織化されてきております。

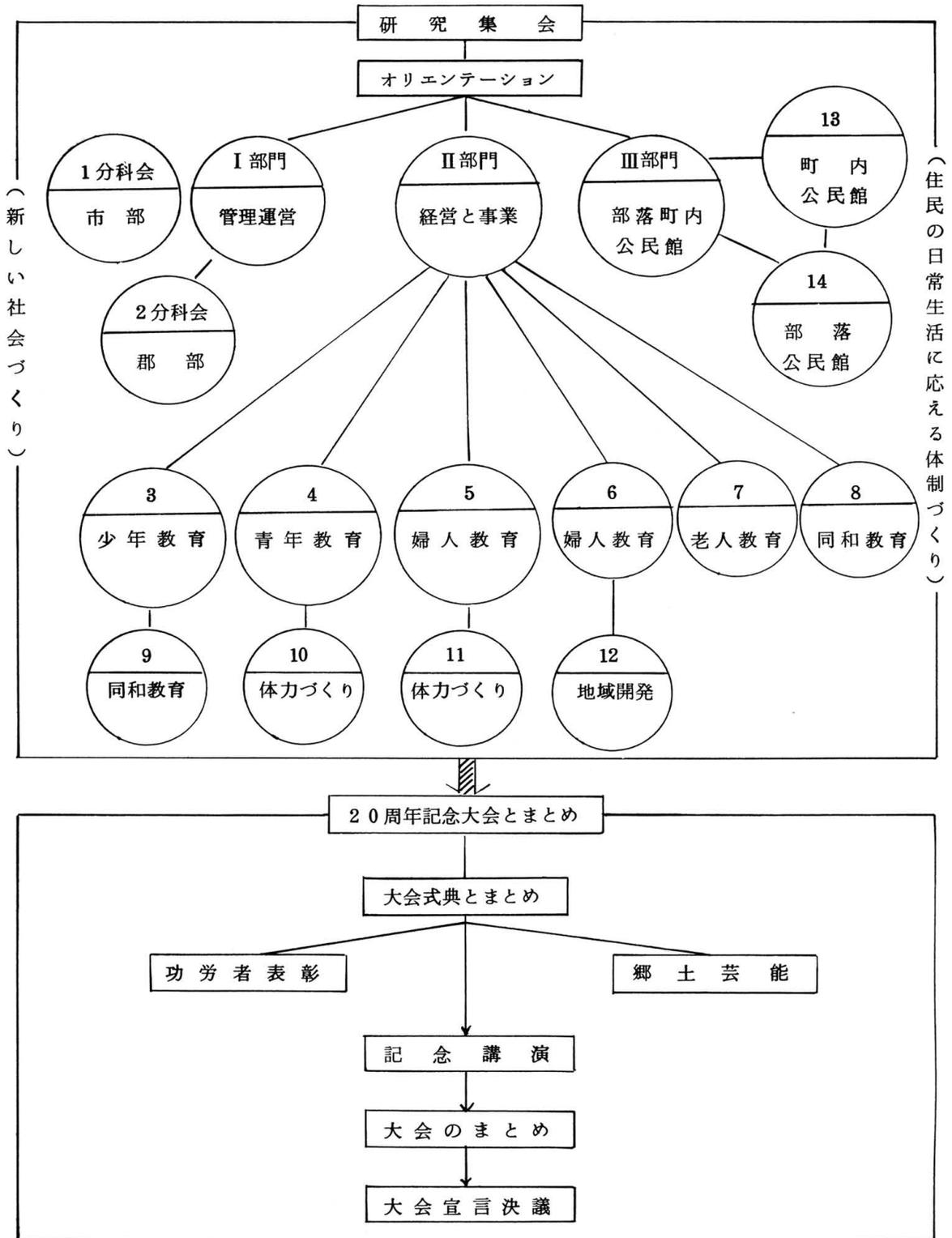
この組織は古い共同体組織にかわる新しい地域住民組織の芽生えと考えられます。

しかしながら、一般的にいえることは、今だ古い共同体の中に無関心で埋没しているか、地域住民の欲求変化に対応できぬまま崩壊し、新しい地域組織が形成されていないのが現状であります。

住民の民主的連帯にもとづく、地域社会の創造は70年代の課題であります。

公民館の設置目的にてらし、コミュニティセンターとして新らしい地域づくりに課せられた役割は今

(大会の全体構成は次のとおりであります。)



日程大きいことはないと思います。この意味から「新しい地域社会（コミュニティ）形成のため、公民館活動のあり方を明らかにしよう」を本大会の第二のねらいとしました。

3 大会のしくみ

大会の構成は、研究的性格をもつ分科会と公民館関係者の総意を結集する大会としての性格を合せもった日程を編成しました。

① 研究集会

第1日は、大会研究集会とし三部門14分科会を構成し、会場を地元市、町村公民館に分散し研究討議を行ないます。分科会の前半は各公民館の運営状況につき、地元公民館の経営発表を中心として後半はそれぞれのテーマにより研究討議をします。

第1部門は、性格上市部と郡部の二分科会とし行政的な立場から公民館の管理、運営について各地域の問題状況を中心に、住民の教育要求に対処する教育条件の整備管理の適正化と運営の効率化について、今後の方向を明らかにする。

第2部門は、経営者と利用者の立場から事業領域別に10分科会を構成し事例発表を中心として、利用者として公民館に対する諸要求ならびに各教育上の問題と今後のあり方につき討議し、公民館経営者としては、施設における教育を、利用者側の要求をうけどのように経営するかを明らかにする。

第3部門は、部落町内公民館の運営に当たっている関係者を対象として、地域の自治に住民を積極的に参加させ新しい地域づくりの拠点として、部落町内会の果す役割について明らかにする。

各部門分科会とも、討議が発表と情報交換のみに終ることなく問題の焦点をしぼり、具体的に明日の公民館活動に生かされるよう期待します。これがため助言者の適切な指導助言をお願いいたします。

② 県公連大会20周年大会とまとめ

第2日は、行橋市の主会場において、県公連大会20周年を記念し大会式典を開催します。

長年地域公民館活動に功労のあった職員27名と適切な運営により活発な活動を行ない功績をあげられた公民館15館を表彰いたします。終って、郷土民踊を地元のご好意により披露いたしますのでご鑑賞ください。

昼食後、兵庫県西の宮市刀称館教育長さんから都市公民館の実践をふまえ「明日を創る公民館の新路線」につき記念講演をしていただきますのでご期待ください。

最後に、前日の分科会の諸問題をまとめ、今後における公民館の方向について総まとめとし、これを本大会の宣言決議に集約し、おたがいに明日の公民館の充実発展に邁進することを誓いながら散会いたしたいと存じます。

大会プログラム

第 1 日 7月6日(木)

- 9:00 受付
- 10:00 開会行事
- (1) 開会のことば
 - (2) あいさつ 教育長
 - (3) 歓迎のことば 市町村長
 - (4) オリエンテーション 福公連理事
(大会のねらい、しくみ、日程説明)
 - (5) 閉式通告
- 10:40 公民館の運営発表と研究懇談
「わが町の公民館事業と運営」
- 町の概要
- 施設設備・・・職員体制
- 運営状況・・・予算
- 事業内容
- 今後の課題と問題点
- 12:00 昼食 (施設見学)
- 12:50 分科会研究
- (1) 問題提起
 - (2) 研究協議
- 15:30 閉会行事

第 2 日 7月7日(金)

- 9:00 受付
- 10:00 大会式典
- | | | | |
|---------|---------------|----|----|
| 開会宣言 | 大会準備委員会委員長 | 山中 | 募 |
| 開式のことば | 福岡県公民館連合会事務局長 | 大和 | 正己 |
| 主催者あいさつ | 福岡県公民館連合会長 | 青山 | 了 |
| | 福岡県教育委員会教育長 | 森田 | 実 |

来賓祝辞	福岡県知事	亀井	光
歓迎あいさつ	行橋市長	金子	忠
祝電披露	築上郡公民館連合会長	松本	二一
閉式のことば	京都郡公民館連合会理事	奥	一

10:30

表彰式

11:00

レクリエーション

12:00

昼食

12:30

記念講演

「明日を創る公民館の新路線」

兵庫県西宮市教育委員会教育長 刀称館 正也

13:50

大会のまとめ

(宣言決議)

14:20

閉会式

閉会あいさつ 福岡県公民館連合会副会長 坂田 亀次郎

万才三唱 行橋市教育委員会教育長 末 永 一郎



昭和 47 年 度 公 民 館

番号	市郡名	氏名	所属	役職名	在職期間
1	福岡市	きぐりくはちろう 笹栗九八郎	福岡市田島公民館	館長	自 37. 4. 1 至 47. 4. (10年間)
2	久留米市	とよだかつあき 豊田勝秋	/	公民館運営審議会 委員長	自 28. 10. 1 至 47. 4. 22 (18.5)
3	大牟田市	かじやのり 加治屋 隆	大牟田市公民館 甘木支館	主事	自 37. 6. 9 至 現在 (10)
4	北九州市	はしけいし 林 敬之	/	北九州市立 志井公民館長 (前)	自 35. 5. 1 至 47. 3. 31 (11)
5	"	おおばたけじろう 大庭 武次郎	昭和公民館	館長	自 32. 4. 1 至 47. 4. 22 (15)
6	"	ふしげとよじ 福重豊次	済見公民館	館長 (門司区公民館連 絡協議会 副会長 も歴任)	自 36. 12. 1 至 現在 (11)
7	直方市	おおとしりいち 大 年 利 市	/	直方市 中央公民館運営審 議会委員	自 39. 6. 12 至 現在 (8)
8	田川市	みぞぐちとしお 溝口 敏 夫	新町公民館	主事	自 39. 4. 1 至 47. 4. 1 (7)
9	飯塚市	のざわせいじ 野沢 静 治	飯塚市教育委員会	社会教育課長	自 30. 9. 1 至 現在 (17)
10	甘木市	はら いさむ 原 勇	甘木市中央公民館	館長	自 35. 7. 31 至 現在 (11.9)
11	八女市	おがわじゆんいち 小川 順 市	/	八女市公民館 運営審議会委員	自 34. 5. 1 至 47. 3. 31 (13)
12	筑後市	よとみぞ たつみ 横 溝 巽	筑後市中央公民館	館長	自 31. 4. 1 至 47. 4. 1 (16)

優良役職員表彰一覧

推 せ ん 理 由
<p>公民館長として、公民館創設期より地域における社会教育活動の基礎づくりに鋭意専念された。とくに公民館舎建設を手始めに各種講座を確立する一方社会教育関係、団体の育成助長に多大の貢献をした。</p>
<p>氏は公民館運営審議会委員に永年従事し、社会教育に対する卓抜した識見と情熱的な態度をもって市の社会教育全般にわたって輝かしい実績をあげ、本市社会教育推進の中心的人物として活躍され、かつ又本県の社会教育にも積極的に参与されることも多くその功績が著しく顕著であり社会教育活動の推進者として欠かせない人物である。</p>
<p>永年、公民館職員として努力し公民館活動の推進につとめた。</p>
<p>昭和35年志井公民館長に就任以来、11年11月の永きにわたり広大な対象地域、公民館施設の不備を克服し、管内類似公民館2館と連れいし、とくに婦人文化教養の向上、子どもの健全育成に関する事業を行ない成果をあげた。また円満な人格と卓越した指導力で管内諸団体の連けいを密にし、住民の連帯意識を高めることに寄与した。</p>
<p>昭和32年4月1日、旧若松市で最初に類似公民館を建設し、公民館活動の先鞭をつけ爾来15年間常に民主的な運営がなされ、館に対する熱意と努力は高く評価するもので、本市社会教育の発展に貢献することである。</p>
<p>公民館長ならびに自治協会長として地域諸団体および住民との結びつきもよく、積極的に事業にとりくみ、その人格識見ともにすぐれ、地域住民の信望も厚く、その業績は高く評価される。</p>
<p>当市における公民館のあり方について、その方向づけに努力され専任館長の配置、公民館専用職員の充足等の実績をあげ、施設完備のため極めて熱心に凡ゆる機会に奮闘努力なされた。</p>
<p>中央中学校区公民館連絡協議会長、市公連副会長、市公民館運営審議会委員等、社会教育活動に専念その功績は大きくお地域の信頼を集めている。</p>
<p>市役所入所以来、17年間一貫して社会教育畑で送り、本市社会教育の振興に多大な功績を果した。積極的なビジョンを基本とする社会教育理論は他の関係者の指標である。又人格的にも非常に秀れ住民の信望も厚く部下からも強い支持を受けている。管理職としての能力も強く本市社会教育指導者として欠くことの出来ない人物である。</p>
<p>11年余の永きにわたり社会教育の推進に献身的に努力し、地域公民館活動の振興に多大の功績を収めた。</p>
<p>1 諮問機関としての性格をたえず明確にし、住民と中央公民館の位置を正常化し、住民のための公民館経営の基礎を確立した。 2 会長として各委員を指導把握し、館長を側面より熱心に協力した。</p>
<p>1 部落公民館開催以来16ケ年に亘り公民館長としてその指導運営に尽粋し、その実績向上実に顕著である。 2 筑後市公民館非常勤主事に就任以来、子供会、青年会、婦人会、老人クラブ等の指導に当り、その功績実に顕著である。 3 上記の実績認められて筑後市中央公民館長に抜てきさる。</p>

13	大川市	さけ み くに お 酒 見 国 雄	大川市立 大川公民館	館 長	自 37 4. 1 至 47 5. (10)
14	行橋市	おお とも きょう じ 大 友 教 慈		元行橋市教育委員会 社会教育主事	自 36 7 1 至 47 3 31 (11)
15	中間市	く どう ひさし 工 藤 久		垣生町公民館長 市公連副会長 市公民館運営審 議会委員長	自 37 4. 1 至 現在に至る (10)
16	大野城市	もり やま ちよう ぞう 森 山 長 造		公民館運営 審議会委員	自 31. 4. 1 至 47 4. 25 (15)
17	宗像郡	おお しま やす こ 大 島 安 子		公民館運営審 議会委員	自 41. 4. 1 至 47 3 31 (6)
18	遠賀郡	い とう よし なり 伊 藤 良 成		公民館運営審 議会委員	自 37 4. 1 至 47 4. 24 (現在) (10)
19	鞍手郡	まつ い やすよ 松 井 ヤスヨ	若宮町公民館	公民館主事	自 37 6. 1 至 47 4. 25 (現在) (10)
20	嘉穂郡	よこ た はち ろう 横 多 八 郎		公民館指導係	自 35. 6. 14 至 47 4. 20 (現在) (12)
21	朝倉郡	くさ ば しげ ゆき 草 場 蕃 幸		部落町内公民館長 本館支店長	30. 4. 1 37 3. 31 44. 4. 1 47 現在に至る (11)
22	浮羽郡	まい だ かず ひろ 芥 田 和 弘	吉井町公民館	主 事	自 34. 4. 1 至 47 3. 31 (13)
23	三潞郡	お がた まつ ぞう 緒 方 松 蔵	塚崎公民館	館 長	自 28 4. 1 至 47 3. 31 (21)
24	八女郡	お がわ とし ひろ 小 川 敏 弘	上陽町教育委員会	公民館主事	自 37 2. 1 至 47 7. 7 (10 2)
25	山門郡 三池	かわ の せつ こ 河 野 節 子	山門郡 瀬高町	公民館主事	自 35. 11. 1 至 47 4. 20 (11.5)
26	田川郡	みず がみ のり のぶ 水 上 義 延		町社会教育委員	自 36 4. 1 至 47 4. 1 (11)
27	京都郡	あい ば とみ すけ 間 馬 富 祐		町村会教育委員	自 30 4. 1 至 46 11. 30 (16)
28	築上郡	こし じ のぶ あき 越 路 信 章	椎田町教育委員会	社会教育主事	自 37 4. 16 至 47 4. (10)

<p>都市化しつつある新市の公民館運営の困難さに当面しながら鋭敏なジャーナリストとしてのセンスと かつての団体の長として運審委員としての豊富な経験と知識は公民館長として就任されるや更に館の経 営事業活動面で特筆すべき実績を示し、加えて不屈の信念、熱情、すぐれた指導力は地域住民の共感を 呼び多大の成果をあげた。その功績は極めて顕著である。</p>
<p>1 各種の話し合いや学習活動を積極的にすすめ近代的な市民づくりや環境づくりに尽力した功績はまこと に顕著である。2 地域内の老人と話し合い老人クラブを結成し、その育成につとめ活動を通して老人 の健康増進や生活の向上に尽力し、その功績は顕著である。3 公民館改造及び部落公民館の設置促進に 努め校区民の社会教育の拠点として推進に尽した功績が顕著である。</p>
<p>多年にわたり地区町内公民館長として住民の社会教育に貢献。特にスポーツ少年団活動、青少年非行 防止に努力すると共に私設中間市郷土資料館、林芙美子文学碑等を建立、中間市の文化向上に寄与した。</p>
<p>議員として実績もさることながら、社会教育に関して注目すべき理論をもち、特に、本市における社 会教育諸施設の建設促進の原動力となり、その手腕は高く評価される。また、郡社会教育委員連絡協議 会長、県社会教育委員、評議員としても永年にわたる功績を残している。</p>
<p>常に積極的に事に当り、婦人教育を中心に他団体機関とも連絡をとりながら実績を挙げた。</p>
<p>すぐれた識見と実行力に富み、体育レク関係では部の第一人者で町民体育大会開催の中心的役割りを 果たすなど社会体育の振興により健康で明るい町づくりを推進、青少年の健全育成についても積極的に活 動がなされた。また長期的な展望に立って、社会教育、体育推進について施設の重要性を主張、学校運 動場の整備や中央公民館の建設に尽力近代的な設備をもった公民館の完成をみた。</p>
<p>人格高潔で誠実かつ責任観念極めて強く、職務のためには私生活をなげうって職務に専念されてきた。 (昭和36年11月教職に在った主人が急死され当時5才の長男を抱えた未亡人として若宮町の実家に帰り、 その後、若宮町公民館職員として採用された。幼児を家庭に置き、土曜、日曜、祭日等の休日でもさだ めでない不規則な勤務実態にもかかわらず公私の区別を厳然とし、日夜職務に専念された。生きかたは まさに敬服の極みである)勤務態度は極めて優秀であり、且つ永年社会教育の充実に尽された業績は顕 著である。</p>
<p>性温厚にして、よく実践力に富み、そのすぐれた指導内容と豊富な知識は公民館事業の大きな推進力 となっている。</p>
<p>s30年4月より7年間分館主事として、又s44年4月より現在に至るまで部落町内公民館長として部落町内 公民館活動に多大の貢献をなした。なお44年4月より杷木地区支館長として、支館および本館活動を地域 発展のために充実した。</p>
<p>o14年間本町公民館主事として活躍し卓越した指導力を発揮し、青少年団体各種文化団体の育成強化に 多大の功績をあげ本町公民館活動の中核となって後輩を指導した。o県教育委員会社会教育課の要請に より各種研修会等の司会者、助言者となり県下公民館活動に貢献した。</p>
<p>21年の永い間、終始一貫公民館事業に打ち込み、情熱を傾けて活躍した。</p>
<p>上陽町における職員体制は公民館長が非常勤職員で社会教育係 東公民館主事が1名という現状のなかで他町村に先 がけて社会体育の振興に尽力し、現在では体力づくり指定地区の困難な事業に精進している。また、公民館活動家庭教育 学級の推進と充実についても同様のことがいえる。青少年教育については青年団体の指導はもちろんのこと、青少年 補導の面でも警察からの委嘱をうけ8年間も継続して行なっている。44年度からは、郡における公民館主事会の会長 として町村の公民館活動について側面的に助言指導を行ない町村間の連絡調整の役割をにない郡の社会教育の振興に貢 献している。</p>
<p>瀬高町公民館主事として10年余の長い間、婦人団体の育成、社会教育諸学級の開設発展に寄与し、 地域婦人活動を通して食生活の改善普及に尽力し、その成果が著しい。又昭和46年度県婦人教育研究員 の依頼をうけ、その任に恥じない幅広い活動を続けている。</p>
<p>本人は上記の関係機関団体の役職員として、人格、識見が高く長年にわたり社会教育を推進し、努力 し、その功績はまことに大である。昭和45年12月20日町中央公民館全国表彰記念式典に当り町教育委 員会より表彰された。</p>
<p>公民館主事社会教育主事として永年にわたり子ども会婦人会、青年団体の育成指導、成人教育での中 国語講座の開設など、その活躍が顕著であり、荻田町及び京都郡内公民館活動の中心的役割を果たした。</p>
<p>温かな性格とすぐれた指導力で住民の信望をあつめ、豊かな知識を積極的な意欲をもって公民館事業 の推進に努力をかさね、各種社会教育団体の組織化各種学級の開設等に全力を注いでいる。また今回桂 田町中央公民館建設に当って大きく貢献した。</p>

昭和 47 年 度 優 良

番号	市 郡 名	公 民 館	所 在 地	館 長 名	施 設 状 況			
					敷 地 面 積	建 物 延 面 積	構 造	建 築 年 月 日
1	福 岡 市	田隈公民館	福岡市西区大字野芥 844の1	あり よししんすけ 有 吉 新 助	479.3	352.06	木造二階	S29.10
2	久留米市	東国分公民館	久留米市国分町 741	こ だま せんご 児 玉 精 吾	661	425.9	鉄筋 コンクリ ート	S44.105
3	大牟田市	船津町4丁目 西公民館	大牟田市船津町 4丁目5の1	つかもと みつやす 塚 本 光 保	142	100	木造平屋 1階建	S26.6 S46.10 増改築
4	北九州市	畑公民館	北九州市門司区 大字畑903番地	の ずえ いせい 野 末 驥	1,071.07	247.23	モルタル 平屋(一 部二階)	S42.4.30
5	"	きよみず 清水公民館	北九州市小倉区清 水町3丁目	とだ にぎえもん 戸田仁左衛門	200	360	鉄筋 2階建	38.4.25
6	"	あひげ 有毛公民館	北九州市若松区 有毛	たか た とうくろう 高 田 藤九郎	391.7	291.2		
7	"	引野区公民館	北九州市八幡区 引野2丁目	ふく だ とも のぶ 福 田 友 信	647.99	215.37	木造平 屋建瓦 及鉄板	S 37 6.6 竣工

公民館表彰一覧

設 備 状 況							推 せ ん 理 由
テレビ 2	16ミリ 映写機 1	テーブ コーダー 2	ステレオ 1	電 気 オルガン 1	コピー 1	図 書 冊 1,150	本市合併以前から今日に至るまで青年学級等を継続開設し、とくに社会同和教育の推進についてはいち早く総合的な計画を樹立し、きめこまかな学級活動をつみ重ね、さらに、スポーツ教育、家庭教育学級、政治学級等が継続開設され、地域社会へ貢献するところがきわめて大きい。
黒 板 2	調理台 3	調理の ための 設 備 6式	テレビ 1	映写機 1	撮映機 1	録音機 2	本館は44年10月に地域住民の基金により建設された公民館で施設設備は最も優れている。又事業面においては部単位の活動を行い公営結婚式や公民館の日曜解放によって住民との結びつきを密にし公民館の機能を活用しながら着実な活動を続け優秀な成果をあげている。
黒 板 2	会議用 机 10	テレビ 1	プレーキ 1	野球用具 ケット ボール 1 式	石油ス トープ 2	事務机 1	<ol style="list-style-type: none"> 1 町内公民館として運営が民主的であり、事業も活発に行われている。 2 施設の整備にも意を用い、増改築を図った。 3 住民あげての環境美化運動 地域の特性からくる青少年対策の推進等の内容は他の範とするものである。
事務室 1	日本間 1	炊事場 1	屋上放送 トランペ ット(時 報チャイ ム付) 1				都心の周辺で市街化調整区域の新住宅増加の困難な運営に努力し、新入市民と旧来市民の融和の工夫を20余年の歴史の上に伝統と新創の活動が円滑に展開されている。
広 間 50 ㎡	和 室 9 帖	和 室 10 帖	和 室 8 帖				昭和38年開館以来、都心部において困難とされる地域諸団体活動の核として連絡調整の役割を果たし、加えて結婚改善、婦人文化教養講座、子ども対象事業の実施などにより、地域社会教育の推進に寄与してきた。
黒 板 2	学習机 30	事務机 1	調理室 有	カスレンジ 2	石油 ストープ 2	長 机 30	広地域のため公民館を中心に 地域に分館を設け放送施設を有し連絡網の完備で総ての集会所も会合も時間厳守されている。特に8ミリ映写により行事並に研究課題も記録を見ながら反省し、改革され、又住民間の親密度は他に類を見ないで、子供の育成及敬老会等は全て青年層により実施され自主性を発揮し老若間の対話も家庭的でいかに公民館活動が地域住民に密着しているかが伺われる。
オール 黒板長 机椅子	和 室 床の間 付	和 室 座 机	調理室 調理台 調理 設備	倉 庫	管 理 人 室	事務室 使 所	<ol style="list-style-type: none"> ①施設設備が類公としては特に秀れている。 ②運営組織が整い全住民の意志を反映して経営されている。 ③新興住宅地帯としての地域課題を中心にすえた事業活動を展開し成果をあげている ④運営担当の役職者が類公運営研究に極めて熱意を持っている ⑤財政が安定していること

8	飯塚市	牟田公民分館	飯塚市大字潤野字平原 1131～1	おがわ まなぶ 小川 学		120	木造	S 46.5
9	大川市	大川市川口公民館 くま 館九網分館	大川市大字九網 30番地の1	うえ きまさ ゆき 植木正幸	214.5	101.65	木造瓦 葺平屋	S 40.8.5
10	中間市	徳若公民館	中間市大字中間 4422番地の1	たかの せんいち 高野 専一	1,142	212	木造 平屋	S 44.3
11	宗像郡	ねり はら 練原分館	宗像郡津屋崎町大字 勝浦字練原 3526	たかやま ひで お 高山 英雄	550	106	木造 平家	S 44. 6.10
12	鞍手郡	いにし 新多分館	鞍手郡小竹町新多 362-1	くに ひろまさ お 国 広 政 夫	566	155	木造	T 10
13	嘉穂郡	桂川町公民館	嘉穂郡桂川町大字土 居 368 の 2	やち こ ひろ 八 児 勝	3,246	865	鉄筋 二階	S 43. 6.30
14	八女郡	吉常分館	八女郡広川町吉常	はら ぐち かず お 原 口 一 男	927,695	309,295	鉄筋 二階建	S 47 1.23
15	田川郡	添田町 いばら 伊原地区公民館	田川郡添田町大字 添田 2609	しげまつ たけし 重松 猛	220	176	木造 平屋建	S 46.8

ホール 44.6	会議室 13.2	料理台 24.8	利室 24.8	その他 12.6				貧しい環境の町内であるにもかかわらず浄費や勤労奉仕で町内公民館を建設し住民全員が生きがいとして本当に楽しい公民館活動を展開し効果をあげている姿は他の模範である。
黒板 1	高机 1	座机 10	長ゴザ 7	放送設備 1	ピンポン台 1	調理器具 1		分館役員の積極性と計画性はよく住民の総合的な社会教育活動への参加協力態勢を促進し、各部組織の円滑な動きが環境衛生活動、地域連帯性の確立高揚に多大の実績を示し、市内町内分館の中でとくに光った活動を続けている分館である。
黒板 3	調理台 2	放送機 一式	演台 一台	ストーブ 二台	扇風機 二台	机 14台		従来の公民館(約15坪)が手せまになり、地区内全戸の4年間の寄付募金運動で300万円の建設費を捻出、現在地形を利用し貸ガレージ13戸、年収30万円と各戸60円の公民館費により運営をつづけている。新館開館以来あらゆる地区内の諸会合にフルに利用され教育活動も盛んであり、よく公民館を中心に地区住民の心が一つにまとまっている。
炊事施設 1	こども遊具 4	球具 1	机 12	基盤 1				年間を通じ分館の常時活動を行い、立派な施設と運動場遊具を有し、部落民の分館活動に対する意識が強く優秀なリーダーを持っている。
机 20	ミシン 5	図書 100円	運動器具 一式	遊戯 プラ ンコ他 一式	黒板 1			小竹町でも古い分館で教育、文化、体育等に住民が活動しており特に国広政夫氏は20年もの永い間分館長として貢献している。
調理台 7	黒板 4	机 82	椅子 385	蔵書数	テープレコーダー ステレオ その他			公民館施設としては本郡内で初めての近代的施設設備のととのったもので他町に大きな示唆を与えた。社会体育を中心とした地域住民の主体性を尊重した近代的運営がなされている。
老人室 湯沸室	調理室 大広間	図書室	浴場 事務室	会議室 青少年 の家	応接室 遊園場	放送室 砂場		吉常区域は大きな世帯をもちながらよく融和と協力の区として活動してきている。それだけに運営組織も民主的に行われている。殊に区財産の処分については区の融和と協力のため分館建設のことについて全会一致で議決され地域の実情に立脚した公民館をつくりたいという区民の願いにより1500万円の莫大な資金を投じて建設をみた。このことは区民の公民館に対する理解と認識によることで社会教育に熱意をもっている区民である。従って、この分館施設を通じて分館の機能を発揮し、人づくり町づくりができる分館で、町ではモデル分館した指定し指導的役割を果たすように期待している分館である。以上のように八女郡内では他に見られない見事な分館である。
書架 4	図書 300冊	机椅子 50人分	カラーテレビ 1	テープレコーダー 1	卓球台 1	同上施設 12年		当館は施設設備並に運営がすぐれており区民に広く利用され、公民館活動もきわめて活発で、町内における模範的地区館である。

メ モ

— 分 科 会 —

1 分科会のすすめ方

- (1) 会場責任者が分科会司会者の紹介を行なう。
- (2) 司会者は助言者、記録者等の紹介を行なう。
- (3) 分科会研究のねらいとすすめ方について確認を行なう。
- (4) 問題提起者の発表
- (5) 発表に対する質疑と討議の柱の設定
- (6) 討議の柱による研究討議
- (7) 討議のまとめ
- (8) 閉 会

2 分科会における話しあいのうえで考えておきたいこと。

- (1) 大会の趣旨、分科会のねらいを共通理解をして話しあいをすすめよう。
- (2) したがって、話しあいは単なる理想論や、情報交換にとどまることなく、公民館の現実を十分ふまえた話しあいをすすめよう。
- (3) そのためには公民館活動推進上の問題点、障害点を現場実践の中から正しく把握し、これらの解決、打開策についても具体的に出しあってみよう。
- (4) 発言が特定の人にかたよることなく、参加者みんなで考えあってみよう。

16ミリ映画フィルムのご案内

福岡県貯蓄推進委員会

当委員会では社会教育、生活改善などをテーマとした16ミリ映画フィルムを数多く準備し無料でお貸ししておりますので、公民館での婦人学級、青年学級など各種集会にご利用下さい。なお、貸出ご希望の際は、下記までお申し出願います。

○日本銀行福岡支店

福岡市中央区天神 4-2-1(〒810)
電話 福岡74-2031(代表)

○日本銀行北九州支店

北九州市小倉区紺屋町13-13(〒802)
電話 北九州 531-3581(代表)

フィルム紹介

題名	対象	上映時間	内容
家庭の年輪	カラー 劇(一般)	64分	団地アパートを背景に、今日の家庭内における老人の座、その訴え、これをとりまく人達などを描き、「あなたにも老後がある」ことを認識させ、老後に備える長期生活設計の必要性を訴える。(文部大臣賞)
豊かなくらし	カラー 解説 (一般)	28分	大量消費時代といわれる現在、各種の新製品は豊富に、生活内容もきわめて多様性をもつようになってきたが、その生活の実態はどうであろうか。この映画は、生活の知恵として大切な貯蓄の問題を平易に解説するとともに、最近とくに家計支出の中に占める割合の高くなった雑費に焦点をあて、自主的に生活設計をおし進めることが豊かなくらしの基本であることを説く。(文部省選定)
人のくらしの 百万年	カラー マンガ (一般)	18分	「ものを蓄え、ふやして有効に使う」という知恵が、わたしたちの暮らしをいかに進歩発展させてきたか、また将来どのように進歩するのだろうかについて、楽しくわかりやすく解説したマンガ映画。(文部省選定)
職業への道	カラー 劇 (都市 青少年)	37分	都市に職場を求めて集る青少年がどのような体験を経て成長するかは今日大問題である。青少年の転職問題を背景に中小企業経営者の苦労と、そこに働く若年労働者が職業への悩みを迷いをおして成長していく姿をえがいたもの。
沖縄の母たち	カラー 記録 (一般)	31分	沖縄の基地周辺に住む母たちの子どもに未来をかける姿を、昔からの伝統的な踊りや美しい風土をおりまぜながら紹介。(文部省選定)

(このほかにも多数あります)

——貯蓄の芽育ててくらしの根を張ろう——

分科会の構成と討議の柱

部 門	分 科 会	討 議 の 柱
1. 公民館の 管理・運営	1. 市 部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育行政と公民館との関連 2. 都市公民館の適正配置と機能分担 3. 公民館の職員体制組織はいかにあるべきか 4. 望ましい公民館運営審議会委員のあり方
	2. 町 村 部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理・運営の基本的考え 2. 管理・運営の技術 3. 管理・運営の問題点 4. 住民の公民館に対する考え方
2. 公民館経営 と事業	3. 少年教育と公民館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自主的子ども会活動育成 2. 子ども会育成会の役割 3. 子ども会をめぐる関係諸機関団体の連携
	4. 青年教育と公民館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青年グループの育成と組織化をどうするか 2. 青年学級の今日的意義と進め方
	5. 婦人教育と公民館 (市 部)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 婦人団体の学習活動と公民館との関連 2. 公教育としての婦人学級と公民館との関連 3. グループ、サークルを組織化するための公民館の役割 4. 勤労婦人の学習組織化をどうするか
	6. 婦人教育と公民館 (町 村 部)	同 上
	7. 老人教育と公民館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館と老人クラブとのかかわりあい 2. 公民館と高齢者の学習要求 3. 公民館の高齢者教育への条件整備
	8. 同和教育と公民館 (市 部)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会同和教育を公民館ですすめる上での問題点 2. 社会同和教育をすすめるための具体策
	9. 同和教育と公民館 (町 村 部)	同 上
	10. 体力づくりと公民館 (市 部)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯体育を進めるために住民の自発的な体力づくり意欲を盛り上げるためにはどうするか <ol style="list-style-type: none"> (1) レクリエーションのあり方 (2) 住民意欲をもたせる方策 (3) 日常生活の中での体力づくり具体策
	11. 体力づくりと公民館 (町 村 部)	同 上
	12. 地域開発と住民 運動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域開発と自然・文化財保護 2. 地域開発と町づくり
3. 部落町内公 民館の運営	13. 町内公民館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自治活動と部落町内公民館の性格と役割 2. 部落町内公民館事業 3. 公立公民館と部落町内公民館との関連 4. 行政要求への対処 5. 新しい地域社会形成に果たす今後の公民館のあり方
	14. 部落公民館	同 上

分科会の役割分担

部門	分科会	分科会総責任者	助言者	
I 管理・運営	1. (市部)	北九州市戸畑中央公民館長	北九州市戸畑中央公民館長 坂本毅平	
	2. (町村部)	坂本毅平	久留米市教委社会教育主幹 吉瀬純一 県社会教育課長 大和正己	
II 公民館経営と事業	3. 少年教育と公民館	福岡市香椎公民館長	九州産業大学助教授 猪山勝利 大野城市社会教育課長 岡崎隆三	
	4. 青年教育と公民館	中尾荘兵衛	大牟田市教委社会教育主事 高口道之 県社会教育課青少年教育係長 徳田倫甫	
	5. 婦人教育と公民館(市部)	飯塚市中央公民館長	北九州大学教授 新村豊 福岡教育大助教授 後藤信子	
	6. 婦人教育と公民館(町村部)	石坂久仁夫	県婦人教育研究委員 国生寿 福岡市教委社会教育主事 田中道夫	
	7. 老人教育と公民館	甘木市三奈木公民館長 西勉	県社会保育短大助教授 船曳宏保 久留米市教委社会教育主事 長門石藤 県社会教育課企画主査 後藤久	
	8. 同和教育と公民館(市部)	大野城市中央公民館長	県同和教育研究協議会長 林力 県解放同盟副委員長 高田繁	
	9. 同和教育と公民館(町村部)	井原信一	県社会教育課参事補佐 坂田不二夫 県社会教育課同和教育係長 大津勇	
	10. 体力づくりと公民館(市部)	嘉穂郡稲築町公民館長	福岡教育大助教授 厨義弘 元県教育委員 金子了	
	11. 体力づくりと公民館(町村部)	久家貞美	県体育課社会体育係長 白水一真	
	12. 地域開発と公民館	山門郡瀬高町公民館長 佐田進	県推協 水摩安正 県社会教育課参事補佐 波佐間圭造	
	III 部落館の内運営	13. 町内公民館	北九州市戸畑区中央公民館長	北九州市熊谷公民館長 林克馬 九州産業大学講師 羽江忠彦
		14. 部落公民館	坂本毅平	八女郡広川町公民館長 中村寿太郎 吉井町教委社会教育主事 斉田和弘

司 会 者	記 録 者	会 場 責 任 者	問 題 提 起 者
直方市教委社会教育主事 武 末 新 徳	行橋市教育委員会主事 城 戸 紘次郎 二ノ丸 信 行	行橋市教育委員会 学務課長 山 野 克 彦	北九州市八幡中央公民館長 小 野 隆 雄
宗像郡玄海町教委社会教育主事 桑 野 勇	行橋市教育委員会主事 藤 川 勇 別 府 悦 次	行橋市中央公民館長 安 藤 悟	山門郡瀬高町教育委員会 教育長 浜 武 健二郎
教育庁築上出張所社会教育係長 宮 崎 茂	新吉富町公民館主事 山 岡 由 夫 築城町公民館主事 葉 山 勝	築城町公民館長 末 次 征 二	嘉穂郡穂波町 子ども育成会
福岡市教委社会教育主事補 光 野 端 義	大平村教育委員会主事 小 川 勗 岩 尾 みどり	築城町公民館主事 紫 川 香 華	宗像郡福間町教委社会教育主事 小 幡 健次郎
北九州市木屋瀬公民館長 入 口 澄 夫	京都郡青年団長 楠 森 淳 二 豊津町女子青年団員 中 村 登代美	豊津町教育委員会 桑 田 仁 視	筑後市教委社会教育主事 田 中 和 馬
糸島郡志摩町社会教育主事 福 光 登 雲	豊津町青年団長 川 辺 伝 市 豊津町青年団員 植 森 悦 子	豊津町教育委員会 社会教育主事 岩 本 貞 吉	朝倉郡杷木町 金 子 雪 枝
飯塚市教委社会教育主事 上 原 敏 明	勝山町教育委員会 社会教育係長 勝山町教育委員会主事 井 上 三 三	勝山町教育委員会 事務局長 梅 林 百 合 矢	久留米市御井町公民館主事 末 次 三 男
甘木市教委社会教育主事 倉 掛 正 則	吉富町公民館主事 別 府 春 生 吉富町公民館主事 瀬 口 久 子	椎田町中央公民館長 古 賀 武 夫	福岡市壱岐公民館 神 野 直 人
田川郡大任町教委社会教育主事 太 田 保 一	椎田町教育委員会書記 片 山 益 朗 吉富町公民館主事 矢 頭 清	椎田町教育委員会 社会教育主事 越 路 信 章	朝倉郡夜須町教委社会教育主事 脇 田 保 裕
小郡市教委体育主事 組 坂 武 成	犀川町公民館主事 木 村 寿 夫 犀川町教育委員会主事 荒 卷 重 夫	犀川町教育委員会 社会教育主事 古 西 貞 夫	八女市企画室 松 延 繁 太
教育庁三潞出張所社会教育係長 広 重 俊 一	犀川町教育委員会主事 野 口 富 雄 犀川町教育委員会主事 村 上 次 子	犀川町教育委員会 教務課長 一 木 秀 己	鞍手郡小竹町教委 教育長 久 保 梅 二
教育庁山門出張所社会教育係長 野 片 義 博	刈田町小波瀬公民館長 増 田 政 昭 刈田町教育委員会 社会教育係長 井 上 克 己	刈田町教委教務課長 門 富 豊 治	大野城市教育長 阿 部 哲 郎
大牟田市教委社会教育主事 西 村 寛	角田公民館主事 鳥 谷 一 八 郎 岩屋公民館主事 友 松 操	行橋市教育委員会 指導主事 白 石 寿	直方市赤地町内公民館 榎 木 シズエ
田川郡添田町教委社会教育主事 中 島 彬	合河公民館主事 長 谷 山 顕 雄 八屋公民館主事 出 水 重 臣	行橋市教育委員会 解放教育指導室長 竹 下 須美男	粕屋郡古賀町公民館米多比分館 主事 村 山 武

— 分 科 会 —

第1部門 公民館の管理運営

公民館が生涯教育をすすめる拠点として、住民の日常的学習要求に応え、新しい地域社会づくりのセンターとしての役割を果たしていくために、早急に解決されなければならない諸問題を話し合い、地域に即した具体的方法を明らかにする。

1. 一般行政、教育行政、公民館の関係と役割について。
2. 公民館の管理の適正化を図るための問題点はな

にか。

- ア 公民館の配置と職員構成
 - イ 望ましい公民館の管理体制
 - ウ 住民利用のための措置
3. 公民館運営を効率化するための問題点はなにか。
 - ア 公民館運営審議会のあり方
 - イ 公民館相互の協力関係
 - ウ 地域指導者の組織化

第1分科会（市部）

都市公民館における管理運営の諸問題

北九州市八幡中央公民館長 小野 隆雄

1 社会教育行政と公民館の機能、業務分担の明確化について

法では教委の業務を「事務」、公民館のそれを「事業」と表現しているが、その内容の例示は必ずしも言葉の使い分けを明瞭に理解することはできない。社会教育の行政体制が確立するのはよいが、それに伴って両者の関係が明確化していつているか検討すべき問題である。

2 公民館施設の巨大化と統合、集権化の傾向について

これには二つの問題点がある。

- ① 公民館そのものの施設の巨大化に伴う過疎配置という問題
- ② 他の行政施設や公共施設と併置・供用施設として設置されるという点である。これは公民館の独自性をどう生しうるか、他の施設とどう協調し公民館の目的を果たすかという問題を

含んでいる。

3 社会教育関係施設の専門分化と公民館の役割の明確化

全公連は「公民館の在るべき姿と今日的指標」の労作をものしたが、必ずしも十分な説得力を持つものであるかどうか疑問である。

「公民館ラッキョウ論」を充分克服し得ないでいるのは私一人であれば、幸いである。

4 公民館職員体制の不確立

- ① 3.に関連して、公民館の職員の専門化の道は遠い。むしろ、現状は、人事異動の一般化と短期勤務傾向にあるのではないか。
- ② 職員数の不足。公民館業務の質と量の科学的評価測定が困難な点もあって、公民館施設規模と業務の質量に対応した数が確保できない。
- ③ 公民館職員の待遇、身分の保障の不安定性。
- ④ 文部省の派遣社会教育主事制度は本当に社会

教育の振興に役立つものかどうかの検討はされねばならない。

5 公民館利用者の広域化と公民館の対象区域性の問題

- ① 文部省は設置基準で対象区域を設定しているが、その意味と利用者の広域化をどう受けとめて公民館の管理運営をしてゆくか。

- ② 公民館利用の広域化は、都市化現象の公民館への影響の一つかもしれない。その奥には、いわゆる地域連帯性の稀薄化があろう。

新しいコミュニティ形成の必要が強調されてきたが、公民館は、その地域性に立って、役割をどう設定すべきであろうか。

第2分科会（町村部）

公民館の施設・設備についての一考察

山門郡瀬高町教育委員会

教育長 浜 武 健二郎

はじめに

昭和24年に社会教育法が制定されて公民館の目的および事業が明記され、昭和34年に同法の一部改正にもなつて「公民館の設置及び運営に関する基準」が定められ今日に至っている。

「基準」は公民館の理想的水準を示したものとはいいたいが、公民館として少くともこれだけは必要であるという基本的条件を示すものであり、公民館の設置者である市町村はその実現に向つて積極的に努力する責務を有するとし、その第1条に「公民館の設置者はこの基準に従い、公民館の水準維持、向上を図ることに努めなければならない」と規定している。また国及び県の責務についても社会教育法第23条の2第2項にその権限と責務が明記されているが、市町村における公民館の実態はどうであろうか。

ことあるたびに、社会教育の中核的機関としての公民館の重要性が強調され、事実国庫補助金も年々増額されてきてはいるが依然として地方的格差が大きく、本館のデラックス化や増加に対して支館（分館）は減少するなど問題を生じているのが現状である。社会教育審議会の今回の答申にも、施設の現状

としては「その絶対数は少なく地域間の普及状況には格差がある。また専門職員の不足、施設設備、資料の不備、運営上の配慮不足などのため、本来の目的にかなつた活動を充分展開できないものが少なくない」ことをあげ、社会教育行政の当面の重点として「人的面では社会教育主事（公民館主事を含む）、物的面では公民館の整備充実を進める必要がある」と指摘している。

このような情勢の中で本町の現状と問題点を提示してみたい。

(1) 公民館の施設・整備状況

(イ) 中央公民館

昭和28年に建築された一部2階建の建物で中学校の講堂と兼用しており、事務室の外、階上の和室(1)と階下の会議室(1)がその施設のすべてであり、設備としては机、椅子、黒板、放送機具類を備えているだけである。

(ロ) 支 館

小学校区単位に小学校内に設置しているが、名目だけで、各小学校の講堂、空教室を借用して家庭教育学級等を開設し利用している形態である。

(2) 職員配置状況

中央公民館に非常勤の館長1名と主事2名が配置されており、支館にはそれぞれ非常勤の館長が任命されている。

(3) 問題点

概観していえることは、その施設・設備の貧困と関係職員の不足である。そしてこのことが本町社会教育の推進にとって大きな障害となっていることは否定できない。

(イ) 施設・設備の貧困

公民館が計画的、かつ、継続的にその活動を展開するためには施設・設備が重要な条件であり、趣味や問題関心が極めて多様化している地域住民にとって、一人でも気楽に行ける憩いの場、或いは他との連帯をはかる社交の場、そして文化的・体育的、そして教育的要求をみたしうる学習の場を合せ持った、多面的な魅力をもつ施設と、運営基準第4条にある関係設備備品が必要であるとき本町の公民館が「基準」に遠く及ばないというこ

とは恥ずべきであり、かなしい事である。

(ロ) 職員の不足

量的不足が招いた結果として、役割分担の不明確さがある。教委・職員(行政機関)と公民館職員(事業実施機関)の兼務の問題、さらに資質の向上と人事異動の非現実性の問題も含めて、今後充分検討されねばならないことである。

おわりに

大ざっぱに問題点をあげたが、その原因となっているものは、地方自治体の宿命ともいべき財政力の弱さと、公民館の意義や価値に対する理事者の理解の不足に集約されるのではなかろうか。ともあれ学校教育偏重主義が依然として強い今日、「必要性の強調」だけでは問題の解決にならないと考えられる。社会教育法の改正、国庫補助金の大巾増額等に対し国が本格的に取り組み、強力な施策を講ずることを期待するものである。

第2部門 公民館経営と事業

公民館事業を大別すると、公民館が地域の実情に即して、社会の要請と住民の教育要求にもとづいて公民館が実施する独自の、主体的な事業ならびに、地域の社会教育関係団体等が行なう事業に対する施設の提供による教育事業がある。

この部門では、生涯教育の視点から人間成長の各時期に対処する公民館の諸事業をどのように編成するかという公民館側の立場からと、公民館を利用す

る各層の公民館に対する願いを中心として今後の公民館経営と事業のあり方を明らかにする。

共通的に次の事項が想定される。

- (1) 公民館をどう理解しているか。
- (2) 公民館を利用する上での問題点
- (3) 新しい地域社会の形成と正しい世論をつくるために公民館を拠点として、少年、青年、婦人、一般成人は何をやるべきか。

第3分科会

子ども会育成の方策をめぐって

嘉穂郡穂波町子ども育成会

町の概況

本町は旧筑豊炭田の東北に位し、周囲は丘陵に囲まれ、西部の一地区を除き平坦で、遠賀川の支流たる穂波川が町の中央を貫流し、流域は穂波平野をなし、南西に開ける農業を主とする地帯と、東北の丘陵地帯に石炭産業及び関連産業を主とした商工業地帯とに区分されていたが、急速に押し寄せたエネルギー革命の波によって打ち砕かれ、町の命脈たる石炭産業は、昭和40年に至り遂に当町から全くその姿を消し、人口は急激な減少をきたし、町経済はかつてない大きな打撃を受け、かつ閉山地域共通の若年層人口の流出という過疎化現象を起こし、それは今なお目前の事象として続いているのが現状である。

組織と運営

昭和30年4月に、子ども会指導者連絡協議会を結成し、部落子ども会相互の連絡を計り、組織未結成地区の結成促進、月例子ども会指導者実技講習会を開催、指導者養成等実践活動を主として行ない、地域における活動としては、巡回子ども会又は、懇談

会等を開き、一般地域住民の子ども会に対する認識を深めると同時に指導者の掘起しにつとめてきた。年間行事計画についても、協議会の主体性を尊重し、両者で協議し策定、実施している。

さて、地域指導者が子ども会を組織的に見るとき、「子どもの組織」だけを子ども会であると考えのではなく、この「子ども組織」と、常時子ども達に接触し、子ども達が積極的に自分達の組織を運営して行くことが出来る様に、指導助言を与える「指導者」と「環境」等を整備してゆく「育成会」の三者を考えて行かねばならない。そして三者はしっかりその位置づけ、役割をふまえて、地域ぐるみの組織とすることが望ましい姿であることは理解するが、上記に記述した地域の実態の中で、苦慮しているのが現実である。

指導員会

昭和36年に子ども会活動の内容、方法、技術を研究するグループとして発足し以来自己の研さんのもとより、完全なボランティアとしての立場に立って

活動の指導にあたっている。この指導グループの存在は、町子ども会活動の推進力とも言えよう。

ジュニアリーダーの養成

子どもは遊ばないではいられない。この遊びを通して、人と人が協力する方法や、愛情や、団結をおぼえ仲間との交わりの中に人格の形成が行なわれ、又仲間との遊びを通して自主性や社会性が成長する。かかる見地より、よき遊び仲間としての年齢差の余りない、第一線指導者の養成を継続的に行ない、地域子ども会活動のイングループリーダーとして活動し、その経験の積み重ねが、将来指導者となって行く基礎づくりで、今後の期待が大きい。しかしながら、地域子ども会におけるジュニアリーダーの位置

づけと、活動については、地域指導者の認識（活動的、論理的）との関係が考えられる。今後の町における指導者養成の中で認識を深めなければならない問題の一つである。

他に本町の子ども会活動内容について、つぎのような問題の解決に取り組みねばならない。

- 行事的活動をいかに脱却するか
- 余暇的活動の枠にとどまらないで、これをどのように広げていくか。
- 生活現実をふまえた日常的活動をどのように編成していくか
- 子ども会活動を子ども自身がいかに計画し編成していくか

第4分科会

青年教育の問題点

宗像郡福岡町社会教育主事 小幡 健次郎

1 青年を広く捉えるには、余りにも少い職員数

青年教育の対象は、住民の中の全ての青年である。しかし、現実には、ごくひと握りの青年しか、捉えられていない。しかも、青年学級生＝青年団員という形の所が町村部では殆んどではないだろうか。

これでは、本当にダメな訳だが、職員体制も、これもまた殆んどのところ、担当者はひとりである。しかも他の仕事を沢山持っている。その上青年を相手にするのは夜でなきゃ出来ない。これで、何の教育、「自主学級云々……。」といたくなる。社教行政の立ち遅れはとくにひどいと思う。

全く、職員体制、施設設備、どれを取っても「教育」といえる、教育のできる環境ではない。

2 青年学級等で何をどう取り上げるべきか

この事で常に悩む。一般教養、職業技術、地域社会のこと、種々あるように見える。しかし「教育」というからには、人格の向上、意識の変容を目指す

ものでなければならない。しかし、現実には青年達は、楽しいこと、面白いことがないと、わざわざ、仕事上りの疲れた身体を公民館には運んでくれないのである。その結果、浅く広く、あたらずさわらず式の学級になり易い。

青年たちの欲求と、こちらの意図するものとの間の、いわば需要と供給が一致しないことのジレンマに悩む。

3 特定団体（特定政党）の青年たちや学生運動家等の参加をどうしたらよいか

もちろん拒否できないのが建前であるが、今までの経験から言えばやりにくいのも事実である。しがたない我々の手では、どうもうまく処理できないであろう。

考えの異なる人は当然いて然るべきであるが、それも意図次第でプラスにもマイナスにもなる。一般青年が迷惑するようなのは、当局としても、はっき

りした考えを持たなくてはなるまいと思っているが……。

4 国公立大教員や官公庁職員への謝礼は安く、一定基準を

困るのは、講師謝礼が高くなる一方で、下ることのないことである。青年達が、少なくとも、何かを学ぼう、身につけようとテレビに背を向けて殺風景な公民館へ来るのである。

もっと頼み易くして欲しいと思う。それぞれ先生

方には学識の特色もおありだと思うが、青年学級（講座）では、安い金額で、一定の基準額（もちろん、講話講演、指導だけの）は決められないものだろうか。特に国公立大教員や官公庁職員など公務員を招請する場合、これが欲しい。

あの先生はいくら、この先生はいくら、こんなことまで考えるのは、ちょっとわびしい気がするとは思いませんか。

第5分科会

婦人教育と公民館

筑後市教育委員会社会教育課

社会教育主事 田中和馬

1 筑後市の概況

筑後市は、福岡県の南部、筑後平野の中心に位置しております。昭和29年4月町村合併によって人口約4万人の新市として発足しました。

当市の産業は、2,500町歩の経営耕地を持つ農業を中心として、工業、商業、サービス業などが着実な発展をつづけております。とくに近年九州縦貫道インターチェンジ乗入口工事の進行に伴ない本市に進出する企業が相次ぎ、市の産業構造にも大きな変化を与えつつあります。田園都市から中小工業都市への転換、いままさにその岐路にたっているのが本市の現況であります。

2 婦人学級の現況

(1) まちの政治を見つめよう学級

- (イ) 公民館開設指導学級 1 (婦人大学)
- (ロ) 婦人団体自主開設学級 7学級

(2) 暮らしの学級

婦人団体開設(市費補助)学級 7学級

(3) 生活学校(市費補助 14万) 3学級

- (イ) 羽犬塚生活学校(昭42年開設)
- (ロ) 筑後生活学校(昭43年開設)

(ハ) 筑後南生活学校(昭45年開設)

3 公民館開設学級としての婦人大学

(1) 婦人大学開設の経過

- (イ) 昭和36年、婦人会幹部による自主的なグループ学習が発生の端緒
- (ロ) 昭和38年5月、名称も婦人大学となり日常的な政治学習を重点とした学習へ、39年、会員の募集も婦人会員のワクをこえて公募され、現在のような自主運営制度(三回以上無届欠席者除籍、学級生への連絡も婦人会組織依存でなくハガキ通知、学級の運営は婦人会とは別に独自の運営委員会で運営、会費年200円徴収)
- (ハ) 昭和41年県選管、教委の「まちの政治をみつめよう学級」設置の呼びかけに応じて、身近かな政治である地方自治=市政とくらしのつながりを学び主権者意識を育てる学級を継続している。

4 婦人大学のもつ問題点

- (ア) 教養主義の傾向が依然として強い。講師をよんだ学習会は参加者も多い。
- (イ) 主権者意識の変容まで到達しているか。

(ウ) 助言者問題について

(エ) 運営上の問題点

5 学習の波及効果

卒業生による地域でのオピニオンリーダーとしての役割

6 公民館の役割

(ア) 施設の開放

(イ) 運営面における指導助言

(ウ) 経費の補助

婦人学級に参加して

朝倉郡杷木町 金子雪枝

栄養教室OG会のあゆみ

今から十年前といえますと社会情勢の変化も今程めまぐるしくはなかったと思いますけれど、だんだんにインスタント食品等が多くなってきて栄養のバランスが乱れていることが全国的に指摘されていたと思います。

このことを重視し杷木町では39年に公民館と保健所の共同事業として婦人学級で栄養教室が開設されました。

テキストによって食生活の基礎理論を勉強し、次いで講義に必要な調理実習などもしました。

ひととおりの学習過程を修了したのですがこれぎりでは何か物足りないという皆の話しあいで、皆勤した学級生15名で41年に栄養教室OG会を結成しました。

指導と助言は公民館と保健所をお願いしておりますが、勉強はすべて自主的なものです。

計量になれることから始まり、バランスのとれた食事、インスタント食品、冷凍食品、食品添加物、成人病と食事、消費生活の合理化など勉強の材料は限りなくあるものです。

OG会と他の学級のかかわり

この学習意欲はこの学級のみにとどまらず大きく広がってきました。

色野菜の確保は蔬菜園芸グループを作り、その他

栄養教室、幹部学級、文学鑑賞グループ、書道グループ等が次々にできましたが、OG会の面々はこれらの学級にも積極的に参加して、グループの核となり、リーダー的存在であります。

私の部落ではこの学級に刺激を受け、「いぶき会」というグループが生まれ8年の歩みを重ねております。

当町婦人の現状から

私は学級生になって8年、現在三つの学級に席を置いておりますが、8年間を振り返り、たどってみて、今私は私なりにいろいろな事を考え、案じております。

それは学級生が年々少なくなって一部の人の限られてしまってきたことです。

この原因にはいろいろなことがあげられるでしょう。

まず婦人の自覚のまずしさもありましょうが、その要素は現在社会そのものにあるのではないのでしょうか。

物価の値上りや消費生活は山間部でも都市とさほど格差のない状態です。

それなのに山間部になる程、収入はあがりません。

それで何からか、いくらからでも収入を得ようとさまざまな作物が作られます。

農外就労者がふえていきます。

又、内職者がふえていきます。

これらはすべて労働過重につながり、婦人学級どころではありません。

部落での集合さえ昼間はむずかしくなってきました。

金、金におわれ、仕事、仕事に明け暮れる生活は、自覚のまずしさにますます輪をかけて、金の執念にとりつかれた盲者のような婦人達が、ますます多くなっていくのではないのでしょうか。

社会人としての意識にかけた、自分よがりの生活態度が子供達に与える影響の大きさは、決して軽視できるものではないと思います。

社会教育はこのような底辺の人達をどうやって教育の場に向けさせるのか、今投げかけられている大きな、そして重大な問題だと思うのですが……。

社会教育はアドバルンでなく、スローガンでなく、地域的背景や婦人の生活事情をつぶさに把握し、キメ細かな施策を配慮してほしいものと思います。

第7分科会

御井町老人クラブの活動の姿

久留米市御井町公民館主事 末次三男

1 老人教育は、エリート教育ではない一般老人層を対象とする。各自の能力、体力、気力等を自覚させ、学習においても持続性のあるもの、行動的な学習を主体とし、各自相応の生き甲斐を見出させる事であると思う。

環境の整備の点でも楽しんで参加するような魅力あるものが必要である。例えば、聴力・視力の衰えに対しマイク、照明、暖房冷房の施設だとか、学習時間帯を老人向きにする等の考慮も必要である。然し、老人でも社会生活をする一員として当番制を作り、可能な軽作業等は義務づける必要がある。

学習も高度な理論ではなく、話し合い学習等を多くし、各人に学習参加の意識を持たせる学習活動の促進を計る事が大切である。

2 老人教育の事例、長寿会と言うのがこのクラブの名称で老人の心身の健康長寿を祈念し、明るく楽しい仲間作りを目標にしている。従って運営に当っては行動的な活動を重視している。公民館としては長寿会の活動を自主的に発展向上させるために、長寿会を母体として高令者学級開設の委嘱や政治啓発学級の委嘱を受けた。引き続き昨年度は公民館での

自主学級として老人学級を継続して来た。今年はクラブ組織の中の老人学級として長寿会自体が教育活動を実施することにした。公民館は指導助成の立場に置いた。

3 長寿会の組織運営の概要

(1) 幹部会 校区連合会の下に6単位のクラブがあり、単位の会長6名と連合会の会長副会長庶務会計の10名で構成し諸般の企画運営に当る。

(2) 役員会 各単位の班長まで約35名毎月第3土曜日午後1時定例会を持ち、連絡事項を中心に話し合いをする。

(3) 総会 毎年4月下旬、各種団体長等を招き盛大に実施する。会員の出席も250名程度。

(4) 臨時総会 45年度10周年大会実施、本年は新年祝賀会実施、参加者140名程度

4 自主活動の事例 世のため人のため、まだ温存している各自の能力を、積極的な生き甲斐に発揮してもらおう事を祈念している。

(1) 自主学級学習についての講師は会員の中の有識者或は地元の有志にお願いしたが、本人自体も講師として奉仕する事に無限の喜びを感じていられる。

森田太平氏、古賀寿氏、水田栄養士、樋口幸雄氏、藤城衛氏等

(2) 年間通じて毎朝6時半のラジオ体操、寒風肌を刺す厳寒季も壮年者をしのぐ元気で毎年6、7名の皆勤者がいる。しかも5年、3年も継続している熱心さである。

(3) 歩け歩け運動、毎月第3日曜日が定例日、午前10時出発、帰着後公民館で中食(弁当持参)、午後意見発表、時には民踊なども飛び出す事もある。(クラブ員の楽しみの一つである。)

(4) 文化部活動として、(イ)民踊教室があり現在では四十数名、講師は会員の北原、吉野さん。(ロ)花卉園芸教室二十四名、昨年度は花園作りより始め、花の種蒔、花卉一般より接木、盆栽作りまで地元樋口氏に指導してもらった。本年は花期折々に種まき、移植、手入れ等について年間20回位の指導をうけ花一ぱい運動に発展し花のある町としたい念願。

(5) 昨年の老人文化創作展に二人の入賞者があった。

墨絵 北川力松翁 85才

久家俊資氏 74才

第8分科会

同 和 教 育 と 公 民 館

福岡市壱岐公民館 神野直人

1 福岡市地域公民館の体制

- (イ) 概ね小学校区単位に68の地域公民館
- (ロ) 職員 非常勤嘱託館長 1名
専任職員 1名
管理人 1名

2 壱岐公民館の同和地区における同和教育の現状

- (イ) 識字学級 3学級
- (ロ) 文部省委嘱団体育成事業 1
- (ハ) 社会同和教育振興会による
生花講座 3
茶道講座 1
民謡講座 2
料理講座 1

(ニ) 地域懇談会

(ホ) 役員研修

概況 壱岐館区は福岡市の西部に位置し近年まででは純農村地区であったが、近年住宅が建ちこんで来て都市近郊としてベットタウン化しつつあるところである。この地域に約600戸の同和地区があり、その多くが失対事業、日雇労働に従事する人が多く、生活のきびしさがある。

3 本公民館では十年前より同和教育の実践を公民館活動の重点事業の一つとして展開してきた。その中で昭和42年文部省委嘱事業の中から識字学級を開設し、6年目を迎え、多くの問題を克服しながら着実な歩みを続けている。その歩みについて述べてみたい。

同和教育は今日の日本の社会の中に根強く残っている不合理、矛盾、偏見きまわる差別をなくし人間尊重を根底に科学的にかつ合理的に事象を考えていく人間形成のための学習をねらいとする。実施している識字学級の運営の中で講師としての壱岐小の推進教員を中心とした教員の協力と地域全体(解同支部、婦人会支部、町内会)の取組みが着実な歩みの柱ではなかろうか。さて学習内容については下記の通りである。

(イ) 計画→学級生の要求に答え、解放への能力をひきだすもので一人一人の能力に応じた計画を編成する。

(ロ) 実施 毎週土曜日おおよそ夜間3時間程度

(ハ) 目的 ①市民的権利と自由を実現していくため

- の正しい市民性をつちかう。
- ②科学的に物事を考えていく態度と能力の育成をはかる。
 - ③日常使用する用語の文章、字句を修得する。
 - ④毎日の生活課題を合理的に解決する能力を身につける。
 - ⑤同和問題の正しい認識をはかる。
 - ⑥生活にうるおいと希望をつくる。

(イ) 啓蒙 学級だよりの発行

(ロ) 今後の課題 親しみやすい学級運営

このような展開の中で地域の実態を適確に把握し、地域の実状に学び、婦人の生活課題をとらえながら学習することによって部落解放とどう結びつけるものになるか常に考えなければならない。更に高度、多様化しつつある学習欲求に対処し現実をふまえた学級経営にあたっては職員の質の向上、量の増大は是非必要ではなからうか。

第9分科会

夜須町公民館のとりくみと課題

1 夜須町の概況

総人口 9,883 人・総世帯数 2,043 世帯

同和地区人口 913 人

同和地区数 6 地区（内 1 地区未組織）

2 住民意識

夜須町は福岡市へ約30分、昼間人口約 6,000 人、大きな社会問題である。出稼ぎの波をもちにかぶっている反面、県下 1.2 を争う耕作反別を有する純農村地帯である。このことは、内部的矛盾をもちながら、農村特有の保守性を温存している。同和問題については、「自分たちは、差別はしていない。今さら、同和問題をとりあげることじたいが差別を繰り返すことになるんだ。」このような、過去のあやまった認識が中心をなしている。

このことは、言葉や行動による差別がないから、差別はないという。それでは、内向的な心の差別はないのだろうか。事実、識字学級の中で地区の母親から就職時の差別についてのうたえ、結婚時における差別問題と、差別が現存している。また、実態的な差別についても、数多くの現実がある。ある地区の中学生が作文の中で、「どうして、自分の部落だけ、朝出勤時にネクタイをしめている人が

朝倉郡夜須町教育委員会

社会教育主事 脇田保裕

少ないのか」という疑問、耕作反別が著しく少ない、健康診断によると大部分の人が病気を持っている。このことは、心理学的・実態的にも、夜須町の中に差別の体質が、現存していることを意味している。

3 現在までの取りくみ

同和教育の取りくみは、昭和44年度から教育委員会・公民館主催の各種学級、講座に位置づけしてきた。

「今さら、同和問題をどうして」という気持が根強くあった。しかし、「橋のない川」上映運動を機に部落問題がうきばりにされてきた。

昭和45年4月、学校同研の発足。実践・研究するうち、学校に於ける正しい同和教育のいきづまり、地域社会に内在している差別意識（住民意識）の変革の必要性が強調された。夜須町社会教育の中に同和教育を明確に位置づけ、基本的人権の確立にもとづいて、差別の実態を正しく認識し、そこから学び実践することにより明るく豊かな差別を許さぬ夜須町づくりを目的とした夜須町社会同和教育推進協議会が発足した。36分館を中心に、住民意識の変革と人間の変革のための学習会を開催することを中心に、

次のような活動を展開しています。

○指導者の養成のため、推進員を中心とした町の指導者層の研修会

○識字学級への積極的な参加

〔あらゆる場、あらゆる機会をとらえての学習会の開催、及び、あらゆる団体と連絡しての同和問題の浸透

○公民館開設の各種学級への位置づけ

○公民館に於ける諸集會事業に同和教育を盛り込んでいく。

○各団体の行事の中に、同和教育を盛り込んでいく。

4 今日までの取りくみの中での問題点

公民館の中での学習会、婦人会校区別研修会、青年研修会、公民館分館の学習会の取りくみの中での反省点

○部落問題の理論なりは理解出来るが、主体的に問題をうけとめることができない。

○「なんで、いまさら」という考え方がつよい。知らないものまでが知る。

○公民館の事業の中に、同和教育を具体的にどのような形で位置づけたらよいか。(主体性がうすく、

時間と場所が限られる。)

○どうして、同対審にでている国民の課題となるか。(自分との関連性がはっきり理解できない。)

○指導者不足が、はなはだしい。

同和推進教員が中心になり、各種の学習活動を推進している現状だが、社会教育における真の力になりえない面がなかろうか。指導者の研修、養成が必要になってこよう。

○民主団体である解放同盟への偏見、分館単位の学習会などで、解放同盟の参加があると発言をみない。

5 課題(公民館事業)

私たち一人一人が、自分の問題として、主体的に考え、解放へ向って運動をめざすためには、日常生活の中で自分のこととして、家庭のこととして、自分の子供のこととして、どのようにうけとめ、どのように取りくみを創造し、学習にのせることが、公民館の課題であり、事業でもありうる。即ち、基本的に、公民館が働らく住民サイドに立った事業、学習の創造とは一体どんなことかを創造して行くべきである。

第10分科会

体力づくりと公民館

八女市企画室 松延繁太

はじめに

体力づくり運動の大きな柱の一つに、日常生活に密着した体育、スポーツ活動の重要性があげられている。最近の体育、スポーツ活動が、ややもするとスポーツ教室、スポーツクラブといった青少年層集団による活動が多く、中高年令及び婦人へのスポーツ参加の働きかけが極めて少なかったことは否めない事実である。このような現状から、本市における

体力づくりと公民館の実態を事業内容のなかで明らかにしながら、いくつかの問題点を提起したいと思う。

体力づくりの現状

本市における体力づくり運動の推進は、主として社会教育行政のなかで行なわれてきたと言ってよい。しかも、その事業内容は、国県の補助事業によるものを中心にしたもので、先にも指摘したように、ス

スポーツ教室、スポーツ活動事業といった勤労青少年層を対象にした諸事業に重点が置かれていた。その結果、勤労青少年層によるスポーツ活動への参加は、行政による呼びかけに対して事業への参加率、活動内容の多様化においてはかなりの成果をみたものの、体育、スポーツ活動における最も重要な要素とされる自発的なグループ活動への進展及び民間のスポーツ活動事業者の養成などは、ほとんど閑却されていた。このことは行政の立場として、さらに社会教育推進の中心となる公民館事業が、単なる事業の消化という傾向にあったことを猛省しなければならない。さらに重要なことは、スポーツが勤労青少年層への働きかけに終始したに過ぎず、市民全体参加の事業内容という考え方に立っていなかったところに今後の課題を残している。例えば、婦人バレーボール大会の開催にあたって、婦人団体幹部のスポーツに対する理解が不十分であったため、若い婦人層の熱心な要望にもかかわらず、大会などの話しあひすら困難を極めた場合もあったことを指摘しなければならない。

事業の展開

このような現状から、昭和46年度から、体力づくり推進事業に対して本格的な運動の推進に取組み、

その組織体制を地区公民館活動と結びつけることにより、市民の体力づくり運動に関する理解を深めていくよう試行した。初年度（昭46年度）には、「健康と体力の維持増進をはかるために公民館はどのような活動をしたらよいか」というテーマを設定し、それぞれの地域の特色を生かして、積極的に事業の推進に当った。それらの事業の主な内容をあげると、①体力づくり巡回健康相談事業、②壮年体力テストの実施と体力診断、③親と子のハイキング、④町内別少年ソフトボール大会、⑤婦人レクリエーション技術講習会、⑥栄養教室の開催、などがあげられるが、これらの事業を通して地域公民館の体力づくり運動の推進をはかった。

体力づくり運動の問題点

先にもふれたように、体力づくり運動は、自らがすすんで行なうものでなければならないことは言うまでもないことであるが、今後の事業展開をすすめるための問題点として、次のことを留意しなければならない。①社会体育行政の拡充、体育指導委員の不足、民間のスポーツ指導者の組織化、参加者負担の原則によるスポーツ教室、スポーツクラブの開設、これらが地域公民館活動の支柱として有機的に運動が展開されていくことが望ましい。

第 11 分科会

小竹町における社会体育

鞍手郡小竹町教育委員会教育長 久保 梅 二

小竹町は面積 14.14 km²、古くから炭坑の町として栄え、最盛期には大小あわせて14の炭坑が立ち並び、人口も 22,000人を数えて繁栄を極めました。昭和32年頃から始まったエネルギー革命の影響をうけ、縮小閉山が相つぎ、昭和44年4月には大手の古河鉱業目尾鉱業所も閉山し完全に火の消えた炭坑の町になってしまいました。“町づくりは住民の健康から、

と明るい幸せな住みよい健康な町づくり保健運動を強力に進めてきました。

1 社会体育施設

社会資源としての体育スポーツ施設は社会文化の一つのシンボルです。今後の社会体育振興のための行政政策それはまず施設の充実整備、身近なところに気安く使える施設をつくることです。

公共社会施設（町立）			公民館関係社会施設		学校開放			県
町営グラウンド	中央公民館	町体育館	分館数	社体保有館数	小中学校数	条件付	備考	サイクリング道路
2	1	1	19	7	4	4	学校に	1
11,418㎡ 11,200㎡	483㎡	595㎡			支障のない限り責任ある指導者がいること			10.93km

2 社会体育指導者

よき体育指導委員、スポーツ指導者の充実（質と量）は正しい体育の発展にとって不可欠の条件です。

優遇措置はなされていませんが各分館における社会体育の指導者（体育部長、部員、スポーツ愛好者）の活動を忘れてはなりません。

体育指導委員年令別職業別構成		昭46.9現在
体育指導委員……………12人		
人口 11,817人（男5,553人、女6,264人）		
① 性別……男性…12人	女性…0人	
② 年令別	49才～45才……………5人	
	44才～40才……………5人	
	39才～35才……………1人	
	34才～30才……………1人	
③ 職業別	教 員……………6人	
	地方公務員……………4人	
	会 社 員……………1人	
	商 業……………1人	
◎ 体育指導員の災害補償……条例化されていない。		
(他団体との取り扱い上の関係で検討中)		

昭32.10.1	3人
昭36.5.10	7人
昭39.4.18	8人
昭43.4.1	10人
昭46.4.1	12人
現 在	12人

社会体育担当課、係の名称及び職員数							
課 名	係 名	定 員	定員外	計	専 任	兼 任	うち体育免許状を有する者
教育委員会	社会教育係	6人	0人	6人	0人	6人	0人
社会教育課長補佐以下6名							

スポーツ振興審議会		
設立年月日	委員数	委 員
昭37.3.31	5人	団体代表(1) 町議代表(1) 学識経験者(2) 婦人代表(1)

指 導 組 織		
名 称	構成員数	活 動 概 況
体 育 指 導 委 員 会	12	スポーツに関する指導助言協力及び実技指導
小 竹 町 体 育 協 会	64	社会体育事業の企画、体育の普及徹底
ス ポ ー ツ 振 興 審 議 会	5	スポーツの施設設備の整備、スポーツ事業の実施奨励
体 力 づ くり 推 進 協 議 会	27	体力づくり事業の企画
小 竹 町 医 師 会	9	体力づくり健康相談（壮年体力テスト）
体 力 づ くり 推 進 委 員 会	17	体力づくり運動の啓蒙促進
小 竹 町 教 育 委 員 会	10	体力づくり推進
公 民 館 運 営 審 議 会	11	社会体育事業の啓蒙促進
公 民 分 館 長 会	19	〃
子 供 会 育 成 連 絡 協 議 会	18	体力づくり運動の啓蒙と実施
保 育 園 連 絡 協 議 会	5	〃
婦 人 会 役 員 会	24	〃
直 方 保 健 所		栄養改善、乳幼児検診、胃検診

3 経費（社会体育予算）

計画のみでは意味がないし、法律だけでも社会体育は振興しません。財政的裏付がない以上、どうし

ても目的を達成することは不可能です。経費、これこそ社会体育活動の糧であり原動力です。

年度	教 育 費			社 会 体 育 費	
	町予算総額	教育費	%	社会体育費	補助金 <small>金額</small> 対象団体数
昭 46	413,559千円	55,825千円	13.49	1,333千円	$\frac{5}{19}$ (千円) (分館)
昭 47	568,542	84,907	14.93	1,512	$\frac{5}{19}$ 〃

	体育指導委員	報酬額1人当り(円)	費用弁償額1人当り(円)
昭和46年度	12人	16,000	8,000
昭和47年度	12人	16,000	8,000

4 プログラム

あらゆる場所、あらゆる機会に、社会体育のできる用意がなされなければなりません。地域社会の責仕は、社会体育が行なえるような機会を用意することです。

む す び

社会体育振興の特効薬はありません。

理屈を抜きにして地道に、それぞれの場所で、地

域住民の本当のことを本気で、本当に身をもって努力すること。そして、スポーツの自発的実際の活動の中に、住民が生活の喜びと楽しみを見出すように仕向けていくところに、社会体育に関係する者の仕事の分野があると思います。

- (1) スポーツをやりたいが場所のない人には施設や場所を。
- (2) 誰か世話してくれる人が欲しいという人に対し

ては、指導者、リーダーを。

- (3) 何か機会があれば参加したいという人のためには、種々の行事を計画し、誰でも参加しやすいようにプログラムを用意する必要があります。

理屈や強制では、社会体育は進歩しません。これを機会に、施設や組織、指導者、グループ、プログラム等全般にわたっての在り方について総点検し、現実を直視してみましょう。

第12分科会

地域開発と公民館

大野城市教育委員会教育長 阿部哲郎

1 本市の現状

本市は、地理的に福岡市の南部に位し、その距離的、時間的条件がもたらす都市化現象は、近年とみに激しいものがある。最近6か月の人口動態をみると、月平均200人の増加となっており、4万人口を数えるのは、ほぼ48年8月末頃であろうと予測される。しかも、この地理的条件を背景とした民間デベロッパーによる宅地造成が盛んに行なわれている現状をみると、この現象がますます大きくなることは既定の事実であり、本市における社会教育は、このような課題をみつめながらその急激な変貌に対処しなければならない、極めてきびしい状況にある。

2 公民館の視点と施設

このような地域的背景の中で、特に注目すべき点は新旧住民の「意識のズレ」であり、「地縁・血縁」の多分に排他的な要素であろう。このことは本市のみにとどまらず、多少なりとも都市化の影響をうけている地域が持つ、当面解決しなければならない共通の課題である。町づくりの基本は人間関係にある。人と人とのコミュニケーションを育てる作業の中に、コミュニティの望ましい方向があり、町づくりへの確信がある。住民があらゆる会合、集会の場を通して共通の理解を深め、社会連帯意識と自他共存の生活感情を育成し、コミュニティ・オーガニゼーション（共同社会がみずからその必要性和目標を発見し、順位分類し、そしてそれを達成する確信と意志を開

発し、必要な資源を内外に求めて実際行動を起す。このようにして、共同社会が団結協力して実行する態度を養育する過程）…マレー・G・ロス、岡村重夫訳「コミュニティ・オーガニゼーション」…を身につけ、積極的、能動的な社会参加を果たすためには、それら関係施設の充実も必要不可欠かざらざるものとなる。〔本市においては、自治省の指定による南地区モデル・コミュニティが着々と整備されており、他の地区についても計画されている。また、施設の充実については、公民館等の建設負担に関する条例が大巾に改正（最高375万が1,000万に）されたが、紙面の都合で割愛する。〕

3 教育施設としての公民館

社会教育のねらいは人間尊重であり、生涯教育の態勢確立であり、住民の自治能力の向上であるが、住民の自発的な自己学習を立て前として、地域生活に根ざし、生活文化を高め、地域連帯を強める事業をそれぞれの地域課題の上から展開するためには、その方法や手段に高度な専門知識や、技術や、時間を必要とする。人物、物的諸条件の整備こそ社会教育の最終のねらいとする生涯教育の場の確立であり、公民館が教育施設として機能する要件である。

4 おわりに……

……本市における社会教育計画は、以上の基本的考え方に基づいて教育施策の中に位置づけられているが、将来は、市制施行を契機に配置された社会教育指導員、充て指導主事等を含めた行政・実施機関のスタッフによる詳細な情勢分析を行ない、更に充実した地域課題解決の方途を講じていきたいと考えている。

第3部門 部落・町内公民館の運営

はげしく変わりゆく地域社会にあって、住民に最も身近で、利用しやすい施設として、また、地域の自治に住民を積極的に参加させ、新しい地域づくりをすすめる拠点としての部落町内公民館の果たす役割は今後ますます重要なものとなると思われる。

そこで、この部門では、部落町内公民館ですすめ

られているさまざまな実態を卒直に出し合いながらコミュニティづくりに果たす役割を明らかにしたい。

- (1) 自治活動と部落・町内公民館の役割
- (2) 部落・町内公民館の事業
- (3) 公立公民館との関連
- (4) 新しい地域社会形成に果たす今後のあり方

第13分科会

直方市赤地町内公民館について

直方市赤地町内公民館 榎木 シズエ

1 赤地公民館の概況

当館は昭和43年3月産炭地振興法の適用地として建設されて、本年度で4年を経過、農村町、旧炭坑地、工場の四地域より成る小部落の中央に位する公民館である。

(1) 世帯数及人口

138世帯 516人(男子235人 女子281人)

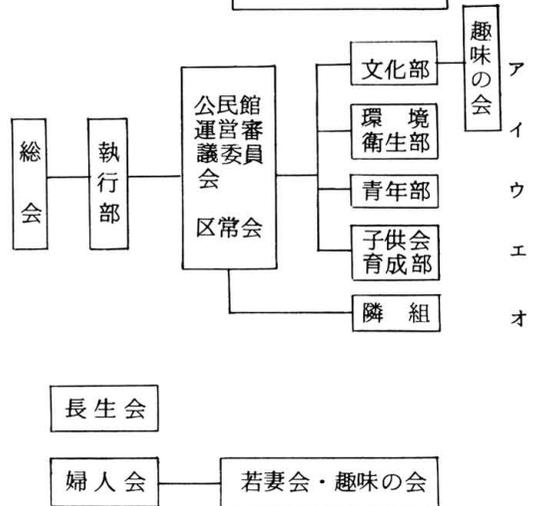
(2) 職業別世帯数

職種	公務員	商業	会社員	自営業	工員	技能職	店員	兼業農家	失対関係	無職
戸数	8	8	16	8	31	4	4	25	27	5

(3) 人口構成

	高令者	成人	青年	学高生・校生	中学生	学童	乳幼児
人数	36	350	25	11	22	40	32

2 組織と機構—スライドにて説明



ア：広報活動 文化祭挙行

イ：清掃日設定 督励 防犯燈管理 殺虫消毒作業

ウ：教養学習 レクリエーション 行事参加

エ：野外訓練 レクリエーション 学習会

オ：共同募金 献立 公民館 行政への自主的参加

- 役員構成
 - イ 執行部 館長(区長) 副区長 主事 書記
会計 文化 環境衛生 青年
子供会育成の4実践部長 9名
 - ロ 運営審議員会審議員 各隣組長 10名
審議員(隣組毎1名) 10名
防犯組合長 1名
 - ハ この外に 顧問 1名 会計監査 2名
- 行事計画
 - 5日 執行部会
 - 10日 定例審議員会
 - 第1土曜(夜)青年部会

- 第3土曜(夜) } 婦人部研修会
- 第3日曜(昼) }
- 隔週第2日曜日 長生会研修会
- 27日 婦人会定例会
- 必要に応じ 各部会

3 今後に残された問題

- (1) 役員の業務遂行上の負担の問題
- (2) 役員の任期の問題
- (3) 都市化されつつある環境の中で次第に薄れ行く住民相互の連帯性や協調性の問題

第14分科会

公民館分館活動について

粕屋郡古賀町公民館米多比分館主事
村山 武

米多比分館活動の概要

1. 地域環境
 - ① 鹿児島本線古賀駅より東に5軒、東は犬鳴山脈にかこまれ、西は玄海灘をのぞむ山間地である。
 - ② 集落として従来よりあった上米多比と下米多比、昭和44年度に建設された町営住宅林田団地に分れている。
 - ③ 世帯数139戸 人口600人
 - ④ 農家非農家の別
専業農家20 兼業農家47 非農家72
2. 分館内の社会教育施設
 - ① 上米多比分館 昭和35年5月改造
 - ② 下米多比分館 昭和25年建設
 - ③ 林田集会所 昭和46年建設
 - ④ 米多比児童館 昭和39年建設
 - ⑤ 米多比運動場 昭和28年設置
3. 分館における社会教育関係予算(S47)

- ① 米多比区における一般会計支出総計 2,146,611
- ② 社会教育費 259,500
- ③ 中央分館(児童館)費 224,000
- ④ 古賀町公民館分館活動補助事業中
米多比分館実施分
 - 分館活動育成事業 20,000
 - 家庭教育学級 25,000
 - 分館整備事業 20,000
- ⑤ まちの政治を見つめよう学級 25,000
- 4. 分館における社会教育団体
 - 米寿会(老人クラブ)
 - 松葉会(舅会)
 - ほほえみ会(姑会)
 - 米多比婦人会
 - 上米多比婦人会(睦会 泉会 弥生会 若妻会)
 - 下米多比婦人会(白百合会)

林田母の会
 米多比青年団
 米多比子供会育成会
 米多比子供会
 林田子供会育成会
 林田子供会
 小野小学校PTA
 古賀中学校PTA
 米多比児童館
 米多比児童館運営委員会

5. 分館の活動方針

- イ グループの組織化と育成
 年令別により全住民のグループの組織化をはかり、そのグループが自主的に活動することにより住民の一人一人に生涯教育の場をあたえる。
- ロ 行事の各団体の共催により住民の連帯感の強化

6. 分館の事業

- イ 敬老会 米多比区 青年団 婦人会 老人クラブ
- ロ 区運動会 各種団体
- ハ 盆踊り 婦人会 青年団 子供会
- ニ 健康教室 老人クラブ 舅会 姑会
- ホ 生活改善 婦人会 青年団
- ヘ 素麺流し 姑会 舅会 子供会 老人クラブ
- ト 舞踊教室 婦人会 姑会
- チ 成人学級 婦人会 子供会育成会
- リ 政治学級 姑会 舅会

二 古賀町として分館活動にどう取り組んでいるか。

1. 社会教育基本調査

調査の目的 方法 内容 結果

2. 指導者の養成と充実

- イ 分館主事会の充実
- ロ 体育委員の設置
- ハ 分館長、分館主事、報酬の確保

3. 施設の充実

- イ 公民館類似施設整備町費助成基準の改定

ロ 分館の社会教育備品町費助成

4. 古賀町社会教育活動費（分館事業分）補助金。

イ 補助条件と方法

ロ 補助対象事業

分館高令者学級活動費補助	4
分館家庭教育学級活動費補助	2
分館成人学級活動費補助	2
分館活動育成費	26
社会体育モデル分館活動費補助	8

5. 県費補助事業

イ 補助対象事業

婦人学級	2
識字学級	2
同和地区子供会等育成事業	1
国民体力づくり推進地区事業	

三 分館活動の問題点

1. 分館指導者

イ 教育くさくない教育

社会教育は義務教育ではないのだ

- ロ 指導者でなくモチベーション(動機づけ)アドバイス(有効な助言)

ハ 住民の実態を知り、欲求を知る。

2. 住民自身による自己教育

イ 自主的運営……役員の輪番制

- ロ 自主財源……会費をとってこそ意義がある。

ハ 補助金……善用をする。

3. 町の指導及び補助金の援助

イ 町の職員 指導者 講師の充実

- ロ 補助金の善用

四 米多比分館の活動実際例 スライドにて

1. グループ活動について

2. 子供会の活動について

3. 子供会の文化活動指人形げきについて

— 資 料 —

福岡県公民館連合会年表

	昭和22年～昭和24年	昭和25年	昭和26年	昭和27年	昭和28年
重点事項	県公民館連合会結成のための、準備に重点をおく。	県ならびに郡、市公連の組織整備の促進。	公民館の運営、青年学級の設置など基礎確立に重点をおく。	青年学級の県費補助の獲得と公民館主事の身分の確立ならびに福公連事務局の充実に重点をおく。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館等社会教育施設、災害復旧費国庫負担法の成立につとめ本県罹災公民館2,400万円獲得。 ○ 青年学級振興法の制定促進、市町村青年学級の振興助長。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ※ 福岡県主事会誕生。 ※ 第一回公民館主事会結成。 ※ 各郡市公民館連絡協議会結成のための活動が活発化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 第1回公連準備会 ※ 第2回公連準備会 ※ 福岡県公民館連絡協議会結成総会 ※ 県公民館設置状況調査ならびに公民館名簿作成配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 大川市において第2回九公連大会開催。 ※ 青年学級ならびに公民館の県費補助要請。 ※ 福公連理事会開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 専任事務局書記を設置。 ※ 知事、教育庁、公民館代表者による公民館会議を開催。 ※ 第一回全国公民館大会（東京）開催出席する。 ※ 公民館青年学級補助署名請願運動を実施。青年学級県費補助400万円獲得する ※ 公民館主事の身分調査実施、待遇改善の運動を全国的に実施。 ※ 知事懇談会を実施 ※ 公民館並びに青年学級の振興について、福岡県議会、知事に陳情予算の獲得につとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 青年学級主事研究会開催（福岡市） ※ 生徒会を中心とする青年学級運営研究会を開催。 ※ 第二回全公連大会（日光） ※ 青年学級振興法の成立促進について全国運動として、署名運動を実施。 ※ 公民館職員研究会を開催する。 ※ 青年学級家庭科研究会を開催女子青年学級の振興につとめた。 ※ 第1回福岡県青年学級振興大会を開催。 ※ 県費補助（公民館建設青年学級運営費）増額のため知事懇談会を開催。 ※ 公民館水害復旧対策委員会を設置し水害復旧につとめた ※ 研究指定青年学級主事会を開催。
公民館大会				第1回福岡県公民館大会（社会教育会館）	第2回福岡県公民館大会。
全国表彰	浮羽郡水繩村公民館 嘉穂郡内町公民館	鞍手郡宮田町中央公民館	甘木市中央公民館	田川市方城町公民館	八幡市八幡中央公民館
会長名	福岡県公民館主事 会長 林 克 馬	同	同	県公民館連絡協議 会長 斉藤 仙太郎	会長 吉田 繁

	昭和29年	昭和30年	昭和31年	昭和32年	昭和33年
重点事項	新生活運動の機運のたかまりと共に本県においても、県民運動として、生活運動を公民館が中核となって推進した。公民館建築費県費補助金の獲得に努力し翌年度予算に県費170万円計上された。	町村合併が進行するにつれて、市町村の財政窮乏のしわよせが社会教育にくる傾向を是正し、社会教育の中心施設として名実ともに進展するよう職員の相互研修を行なう。	研修事業を少くし、渉外活動に重点をおく。公民館単行法の促進を図るとともに、新市町村の組織運営、施設の充実につとめる。	公民館運営技術の研究、社教法改正の促進を重点とした。	都市社会における公民館の機能と施設設備の充実を重点とすると共に社教法改正案の成立促進に努力した。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ※福岡県青年学級振興協議会を併設し全国青年学級振興協議会に加入。 ※分館研究集会を開催。 ※各都市別に福岡県生活自立運動推進大会を開催し生活自立運動の推進につとめた。 ※都市公民館研究集会を大川市において開催する。 ※生活自立運動指導者講習会を開催。 ※町村青年学級研究集会を開催（県下4地区） ※町村公民館研究集会を開催。 ※都市公民館運営研究会を戸畑市において開催。 ※都市公民館運営研究会を福岡市において開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ※公民館職員の研修会開催。 ※青年学級主事研修会開催（県下五会場） ※都市部公民館研究集会を開催（県社会教育会館） ※福岡県青年学級振興大会を県社教会館において開催。 ※第四回全国公民館大会（東京）単行法の制定と新生活運動の推進が中心議題であった。 ※九州地区公民館大会に参加（鳥原） ※公民館職員研修会を開催。 ※第3回全国公民館大会に参加した（富山県富山市） ※研究指定公民館、青年学級を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第五回全国公民館大会（大阪市）に参加 ※第六回九州地区公民館大会開催（佐賀市） ※公民館主事代表者研究協議会を開催、主事会結成の機運がたかまった。 ※公民館建設、社会育主事設置促進について運動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※公民館運営技術講習会を開催（社会教育会館） ※第六回全国公民館大会（別府市） ※公民館単行法研究協議会開催（県下4地区） ※婦人会と公民館との共同研修会を開催（婦人会館） ※公民館主事郡市代表者会開催、主事の勤務内容、身分給与等その向上につとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ※公民館振興研究会を開催し、社教法改正に伴う公民館の振興策について研究する。 ※話し合い運動指導者研究集会を開催（県社会教育会館） ※社会教育法改正案の早期成立の運動を展開。 ※公民館並びに青年学級新生活運動予算獲得のため陳情並びに知事、教育長懇談会を開催。
公民館大会	※第3回福岡県公民館大会を筑紫郡二日市において開催（社教法施行五周年記念）（テーマ）公民館振興青年学級振興、生活自立運動推進	※第4回福岡県公民館大会（大牟田市）	※第5回公民館大会を飯塚市において開催し、教育委員会発足後における公民館の振興につとめた。（テーマ）公民館の整備、事業の大衆化、総合化。	※第6回福公連大会開催（豊前市）（テーマ）町村合併と地方財政再建の中で公民館の組織運営	※第5回全国都市公民館大会を開催、県公民館大会を兼ねて実施する。（八幡市）
全国表彰	築上郡太平村公民館	戸畑市戸畑中央公民館	三潞郡三潞町公民館	嘉穂郡嘉穂町公民館	糸島郡志摩村公民館（準優良）
会長	会長 吉田 繁	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆

	昭和34年	昭和35年	昭和36年	昭和37年	昭和38年
重点事項	社会教育法制定10周年を機に都市公連との組織の提携と青年学級公民館関係職員の資質の向上を図る。	社教法改正により公民館設置基準が法制化され、これが実現のために施設設備整備の促進。	公民館設置基準に沿い、市町村の公民館適正配置を促進する。	社会教育の総合的推進拠点として、公民館の施設設備を促すために都市公連の活動を軸として、連繫を強化し当面する問題の解決に努力する。	社会構造の変化がはげしくなり、地域社会を建設する公民館活動のあり方を中心に公民館主事の資質の向上を図る。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ※全国公民館大会（石川県小松市） ※公民館職員研修会（県社会教育会館） 公民館の新しいあり方と運営技術について理解を深め施設による社会教育の効果的すすめ方を学習する。 ※第10回九州公民館大会（熊本県熊本市） ※県外優良公民館視察研究会（熊本市宇土） ※公民館主事会結成準備会 	<ul style="list-style-type: none"> ※公民館主事会結成総会 ※公民館運営研究協議会（県下六地区） ※県議会、知事予算陳情 ※青年学級経営協議会（県社会教育会館） ※公民館主事初任者研修会（県社会教育会館） ※公民館主事研究集会（県下4地区） ※県公民館職員研修会（県社会教育会館） ※第11回九州公民館大会（鹿児島県鹿児島市） ※第9回全国公民館大会（愛媛県松山市） 	<ul style="list-style-type: none"> ※第2回公民館職員研究集会（社会教育会館） ※第10回全国公民館大会（栃木県藤原町鬼怒川） 	<ul style="list-style-type: none"> ※青年学級指導技術講習会（県社会教育会館） ※第2回県青年学級生大会（県社会教育会館） ※第11回全国公民館大会（北海道帯広市） ※第13回九州公民館大会（宮崎県日南市） ※第3回公民館職員研究集会（県社会教育会館） ※公民館事業ならびに施設設備調査 	<ul style="list-style-type: none"> ※第3回福岡県青年学級生大会（県社会教育会館） ※第14回九州公民館大会（佐賀県佐賀市） ※第12回全国公民館大会（広島県広島市） ※第4回福岡公民館研究集会（福岡市県社会教育会館） ※九州地区公民館活動研究協議会（大分県別府市） ※公民館施設運営協議会（北九州市八幡区）
公民館大会	<ul style="list-style-type: none"> ※社会教育法施行10周年記念第7回福岡県公民館大会（福岡市中央公民館）（テーマ） 公民館10年の歩みを省み、新しい時代に即応する振興策 	<ul style="list-style-type: none"> ※第8回福岡県公民館大会（大川市）（テーマ） 公民館運営の科学化と技術化を促進し、設置基準に即して公民館の当面する問題の研究。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第9回福岡県公民館大会（直方市）（テーマ） 文化センターとして、住民の実生活に即した社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動の経営のあり方を求めて。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第10回福岡県公民館大会（行橋市）（テーマ） 楽しく学び、豊かな暮らし、文化をつくるために公民館はどうしたらよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第11回福岡県公民館大会（北九州市戸畑区）（テーマ） 新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するために公民館のあり方を求めて。
全表彰	該当なし	該当なし	築上郡吉富町公民館	該当なし	朝倉郡杷木町公民館
会長	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆

	昭和39年	昭和40年	昭和41年	昭和42年	昭和43年
重点事項	公民館の体質改善をはかり、新しい時代に即応する体制を確立するために、組織運営の強化を図る	公民館施設設備の整備と職員研修的公民館経営の刷新を図る	公民館現場の問題と要求を会の組織運営に反映させることにつとめる。 市郡公連の活動を助長し県公連との有機的な連けいを強化する。	急激な都市化に対応する公民館の役割を明らかにするために、市郡を中心として研究体制を整備し研究討議をすすめ全体的にその機運を醸成する。	○「公民館のあるべき姿と今日の指標」を確立するために資料を中心として研究体制を整備し研究をすすめる。 ○市郡公連を中心として継続的研修をすすめる。
活動概要	<p>※第13回全国公民館大会 (三重県津市)</p> <p>※第15回九州公民館大会 (大分県別府市)</p> <p>※第5回公民館職員研究集会 (県社会教育会館)</p> <p>※公民館職員等県外研修派遣 ○兵庫県西宮市 ○鳥取県倉吉市</p> <p>※公民館主事の身分待遇改善などにつき県、国に陳情</p>	<p>※優良青年学級生表彰(青年研究集会、社会教育会館)</p> <p>※公民館経営研究グループ委嘱 ○福岡市月曜会 ○筑紫早良郡公民館研究会 ○嘉穂郡主事研究グループ</p> <p>※公民館実態調査実施</p> <p>※福岡県公民館連絡協議会を福岡県公民館連合会と改称</p> <p>※第16回九州公民館大会(福岡市西銀大濠研修所) (テーマ) 公民館の位置づけと役割について。</p> <p>※第14回全国公民館大会 (佐賀県佐賀市)</p>	<p>※公民館経営研究グループ研究委嘱 ○北九州市八幡区 ○嘉穂郡主事研究会</p> <p>○筑紫、早良郡主事研究会</p> <p>※県公民館職員研究集会 (テーマ) 公民館のあるべき姿と今日の指標をめぐって</p> <p>※公民館実態調査</p> <p>※第15回全国公民館大会 (山形県山形市)</p> <p>※第17回九州公民館大会 (熊本県熊本市)</p> <p>※公民館職員研究集会 (静岡県御殿場)</p> <p>※公民館職員県外研修派遣 ○貝塚市尼ヶ崎 ○大分県朝地町宮崎</p> <p>※公民館建築等、国県予算増額陳情</p>	<p>※地区別研究協議会(山口県山口市)</p> <p>※公民館職員県外研究派遣 (大阪府下公民館)</p> <p>※公民館職員研究グループ研究委嘱 ○北九州市小倉区 ○大牟田市 ○嘉穂郡主事研究会 ○筑紫早良郡主事研究会</p> <p>※公民館実態調査</p> <p>※第18回九州公民館大会 (鹿児島県鹿児島市)</p> <p>※第16回全国公民館大会(徳島県徳島市) (テーマ) 公民館のあるべき姿と今日の指標をめぐって。</p> <p>※県外研修派遣1名 (国立社会教育研修所)</p> <p>※県公民館職員研究集会(県下4ブロック)</p> <p>※県外研修派遣3名 (国立社会教育研修所)</p>	<p>※第19回九州公民館大会 (長崎県長崎市)</p> <p>※第17回全国公民館大会 (兵庫県西ノ宮市)</p> <p>※公民館職員県外派遣2名 (国立社会教育研修所)</p> <p>※地区別研究協議会(香川県高松市)</p> <p>※県公民館職員研究集会初任者研修(県社会教育会館)</p> <p>※公民館職員研究グループ研究委嘱 ○田川郡公民館主事会研究グループ ○三潁郡公民館主事会研究グループ ○宗像郡公民館主事会研究グループ ○甘木市公民館主事会</p>
公民館大会	<p>※第12回福岡県公民館大会 (福岡市市民会館) (テーマ) ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために。</p>	<p>※第13回福岡県公民館大会 (筑後市公民館) (テーマ) 変ぼうする社会における、住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割</p>	<p>※第14回公民館大会(田川市) (テーマ) 住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう。</p>	<p>※第15回福岡県公民館大会 (豊前市市民会館) (テーマ) 今日の生活をみつめ、明日の生活を築くために公民館はどのような役割を果たすべきか。</p>	<p>※第16回福岡県公民館大会 (北九州) (テーマ) 公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて。</p>
全国表彰	嘉穂郡唯井町公民館	北九州市八幡区黒崎公民館	該当なし	該当なし	田川市中央公民館
会長	会長 守田 道隆	福岡県公民館連合会 会長 守田 道隆	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆	会長 守田 道隆

	昭和44年	昭和45年	昭和46年	昭和47年
重点事項	<ul style="list-style-type: none"> ○施設未整備町村整備促進。 ○福公連・市郡公連の組織強化を図るための研究を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○渉外活動に重点をおき、公民館振興のための補助金の増額、法改正等の活動を強化する。 ○福公連、市郡公連の組織強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○連合会組織の強化につとめる。 ○公民館職員相互の研修強化。 ○渉外活動の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ○連合会の組織の強化。 ○公民館職員の相互研修活動の促進。 ○渉外活動の強化。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ※公民館初任者研修。 ※地区別公民館研修。 ※公民館職員研究グループの委嘱 ※公民館組織問題研究会の開催。 ※公民館主事県外派遣事業。 ※公民館実態調査。 ※第18回全国公民館大会（兵庫県西ノ宮市） 	<ul style="list-style-type: none"> ※公民館職員研究グループの委嘱。 ※公民館主事県外研修派遣。 ※地区別公民館研修会の開催。 ※公民館予算増額運動の展開。 ※第19回全国公民館大会。（島根県松江市） 	<ul style="list-style-type: none"> ※福岡県公民館史編さん委員会設置。 ※地区別公民館職員研修会。 ※公民館主事県外研修の派遣。 ※公民館研究委嘱。 ※第20回全国公民館大会（石川県金沢市） ※公民館施設国庫補助10億7000万 ※県費補助1館当り50万円が100万となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ブロック組織の確立。 ※知事教育長懇談会 ※地区別公民館主事研修会 ※公民館職員研究グループの委嘱 ※補助金増額のための陳情運動。 ※公民館施設国庫補助14億7000万円となる。
公民館大会	<ul style="list-style-type: none"> ※第17回福岡県公民館大会（筑紫郡太宰府町）（テーマ） 急激な社会構造の変化に対処するこれからのあり方を確立しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第18回福岡県公民館大会（久留米市）（テーマ） 未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第19回福岡県公民館大会（飯塚市）（テーマ） ○1人1人が大切にされる市民社会を育てるための教育をすすめよう。 ○住民の学習にこたえられる施設設備の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第20回福岡県公民館大会（行橋市）（テーマ） 住民の日常的学習要求にこたえる公民館体制の今日的役割を考えよう。
全国表彰	筑後市中央公民館	田川郡添田町中央公民館	該当なし	未定
会長名	会長 守田道隆	会長 守田道隆	会長 青山了	会長 青山了

（※昭和47年度は予定）

京 築 地 区 の 公 民 館 事 業 と 運 営

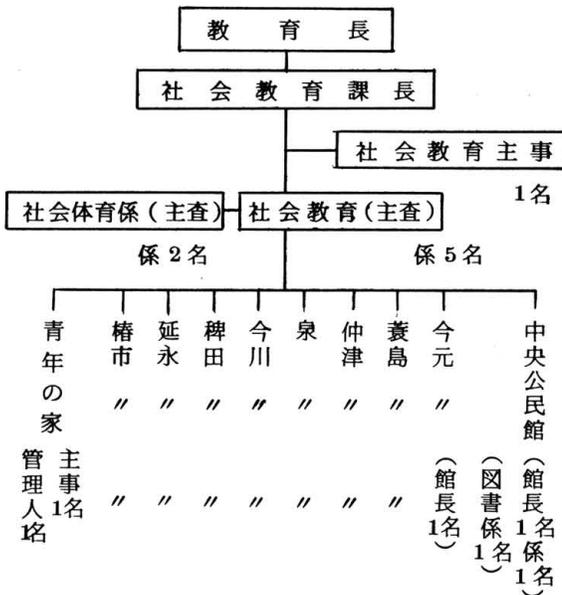
行 橋 市

1 行 橋 市 の 概 要

福岡県の東部に位する本市は、古代より美夜古と伝えられ、南西に青い城壁とうたわれた北豊の連山に囲まれ、東北は波静かな周防の海に開けてきた。昭和29年10月10日に行橋町ほか9ヶ町村が合

併し、人口50,000人の行橋市政を施行し山と川と海のある自然に恵まれた本市は周防灘プロジェクトの拠点となり近代都市として大きく変貌しつつある。

2 職 員 体 制



等好ましくない現象をおこしている。このような中で、本市の社会教育現状と問題点を再検討するとともに、社会の動向に対処し、「生涯教育」の視点から、社会教育のあり方を「新しく創造、開拓」し、社会教育行政の条件整備と、活動の拠点として社会教育施設の整備充実につとめ、市民の教育要求に対応して、学習機会の拡大と内容の充実をはかり、一般行政と関係機関団体との連絡提携を密にし一人一人が大切にされる市民社会を育てるため、市、地域（校区、部落等）の実態に即した社会教育及び活動の推進につとめる。

2 目 標

- (1) 創造性豊かな人づくりと、明るく美しい住みよい町づくり運動
- (2) 市民の健康増進をはかるためのスポーツの普及振興

3 重点努力事項

- (1) 青少年教育の振興と充実
 - 子ども会、スポーツ少年団、中友会育成充実
 - 青年団体、グループ活動の組織化と育成
- (2) 成人教育の振興と充実
 - 婦人学級、家庭教育学級の充実（老人大学設置）
 - 婦人会活動の近代化

昭和 47 年度行橋市社会教育振興計画

1 主 旨

社会の急激な構造変化にともなって本市においても中高年令層の人口増加、核家族化や、子どもの数の減少や、家事の合理化に伴う主婦の余暇増大、働く婦人の増加、ひとびとの物質的な生活は豊かになり、情報接触の幅はひろがり、物心両面での行動選択の範囲は著しく拡大した。

しかしながらその反面、いわゆる個性の喪失、人間疎外、地域連帯意識の減退、公害、交通災害

- P T A活動の充実
 - (3) 明るく美しい町づくり運動推進
 - 花いっぱい～コスモスライン設置、花のポット設置
 - 社会生活のルールを守る運動の展開
 - (4) 体育、スポーツ、レクリエーション活動の推進
 - 市民の体力づくりと、スポーツの生活化、体育団体の育成強化
 - (5) 社会同和教育の推進
 - 同対審、同対特別措置法にもとづき、市民的課題として同和教育を推進
 - (6) 社会教育関係施設の整備充実
 - 公民館、青年の家、図書室
 - (7) 市民文化の高揚と文化財保護
 - 市民の芸術文化への創造活動
- 4 社会教育方法の刷新**
- 市、校区及び市民の生活実態の把握、社会の進展に即応する体制を確立し、魅力ある活動や学習を展開し併せて社会教育の総合的推進につとめる。
- (1) 社会教育団体相互の連携強化
 - (2) 他行政機関及び団体との連携をはかる。
 - (3) 京築地域視聴覚ライブラリー保管「教材」の計画的利用。
- 5 社会体育の推進**
- 市民の健康を増進し、体位の向上をはかるため体力づくりとスポーツの普及振興につとめ、実践

母体（中央、校区、地域）と指導者（中央、校区地域）の強化、充実をはかり、併せて、体育施設を年次計画により整備、建設し、明るい健康な家庭や、たくましく躍進する健康都市「行橋市」づくりにつとめる。

- (1) 体育諸団体の育成強化
 - イ 市体育協会
 - ロ 校区体育振興会（委員会）
 - ハ スポーツ少年団
 - ニ その他のスポーツ関係団体、クラブ等との連絡調整及び育成強化
 - (2) 市民の体力づくりとスポーツの生活化
 - イ 市民体操の普及
 - ロ スポーツの普及種目の選定（ソフトボール、バレーボール、なわとび、バスケット、ピンポン、フリーテニス）
 - ハ 体力づくり、社会体育実践地区選定（行橋校区、泉校区、今川校区）
 - ニ スポーツ教室開設
- ※ 種 目
- (イ) 水 泳
 - (ロ) 婦人バレーボール
 - (ハ) 野外活動
- (3) 市民対象の各種体育行事及び競技大会等の実施
 - (4) 指導者の養成と組織化

3 施 設 ・ 設 備

(別表1) 公 民 館 設 置 概 要

公民館名	職員数	規 模	独 立 併置別	対象 校区	対象区域 人 口	主 な 事 業 内 容
中央公民館	館長1 職員2	鉄筋コンクリート 317㎡	併 置	行橋	18,612	婦人、青年、家庭生活学級文化活動、体力づくり、子ども会、結婚式、老人クラブ、新生活運動
稗田 //	// 1	木 造 139.6㎡	独 立	稗田	2,846	婦人、青年、家庭学級、文化活動、体力づくり、子ども会、老人クラブ、新生活運動、スポーツ少年団

公民館名	職員数	規模	独立併置別	対象校区	対象区域人口	主な事業内容
延永公民館	館長1	木造 144m ²	併置	延永	5,020	婦人、青年、家庭学級、文化活動、体力づくり、子ども会、老人クラブ、新生活運動、スポーツ少年団
蓑島 "	(兼) " 1	木造二階 117m ²	独立	蓑島	1653	" "
仲津 "	館長1	木造 260m ²	独立	仲津	6,980	" "
椿市 "	" 1	木造 56.4m ²	独立	椿市	2,300	" "
今元 "	" 1	木造二階 231m ²	独立	今元	3,828	" "
泉 "	" 1	木造二階 182.3m ²	併置	泉	4,950	" "
今川 "	" 1	木造 499m ²	併置	今川	2,354	" "

市民会館施設概要

建築年月日	昭和39年9月30日	事業費	158,829,000円
位置	行橋市大橋2307番地	大ホール	1,300名
建坪	2,758m ² (834坪)	別館	会議室6室、和室3室、サロン1
構造	鉄筋コンクリート造	図書室	1室 視聴覚ライブラリー

(別表2) 公民館利用状況

公民館名	建設年度	月間平均利用者数	年間利用者数	備考
中央公民館	昭和39年	2835人	20,000人	講座、学級会議、展示会、公共利用
稗田 "	" 32	250	2500	"
延永 "	" 29	270	2,000	"
蓑島 "	" 33	110	1,000	"
仲津 "	" 30	460	5,000	"
椿市 "	" 38	280	2,000	"
今元 "	" 32	210	3,500	"
泉 "	" 33	260	3,200	"
今川 "	" 15	140	2,000	"
合計		4,815人	41,200人	

4 事業内容

1. 少年教育

- (1) 子ども会 130単位 4,364人
- (2) スポーツ少年団 13団体 160人
- (3) 青少年補導委員会

2. 青年教育

- (1) 青年団協議会 6団体 220人
- (2) 青年学級 4学級 145人

3. 成人教育

- (1) 婦人会 9校区 6,000人
- (2) 婦人学級 14学級 535人
- (3) 家庭教育学級 7学級 270人
- (4) 政治教育学級 1学級

(5) 老人教育 老人クラブを対象

- (6) 同和教育 識字学級 5学級
補充学級 17学級 婦人学級 15学級

○集会所事業 2地区

(7) 社会教育推進協議会

(8) 市、公民館長研究会

(9) 明るく美しい町づくり運動

(10) 市民文化祭の開催

(11) 文化財調査及び保護活動

(12) 市民文化教養講座

4. 社会体育

体力づくり 市民体育祭

スポーツ教室 水泳教室

5. 青年の家

市内大字文久の白砂、青松の景勝地に昭和32年建築され46年度は10,000人の利用者がある。

6. 図書室

中央公民館内にあり、入館者は8,000人

(46年度)

7. 視聴覚ライブラリー

中央公民館内にあり

○フィルム利用 2,151本

○視聴人員 181,124人

○16%フィルム 142本

○8% 116本

○映写機 3台

5 予算

昭和47年度行橋市教育委員会

社会教育予算

一金 46,166,000円

○社会教育費 36,772,000円

○社会教育総務費 24,979,000円

○公民館費 9,098,000円

○青年の家費 2,695,000円

○保健体育費 8,394,000円

○保健体育総務費 2,565,000円

○市民プール運営費 6,829,000円

6 今後の課題と問題点

公民館が地域住民の生活に密着し住民の自主性にとづく学習と交流の場として、その期待にこたえるためには行政として、

(1) 施設設備の充実

(2) 指導者及びボランティアの確保

(3) 学習活動が十分できる予算

以上3点は当然、考慮すべきことであるが学習集会の拠点となる施設は独立した教育機関として機能をもっているのは80%であり、まだ小学校内に併置されている施設があるので独立館として整備しな

なければならない。また、教材、資料が不備貧困であり、魅力のある学級活動を防げている。

次に市民の学習要求、団体育成等、生涯教育活動推進の助言指導としての専門職員及びボランティアの確保につとめることが急務である。

特に本市においては活動力のある指導者が得にくいことが公民館事業の促進に問題点があるようだ。

「社会教育を行う者」としての社教主事や公民館職員は常に急激な社会の変容に処して地域課題の必要性を把握し学習者の高度にして多様化していく要求に応じるため、自ら研修し魅力ある市民教育活動を展開して明るく豊かな人づくり町づくりが、できるよう努めることが大切なことである。

豊前市

1 豊前市の概要

福岡県の東端周防灘に面した豊前平野物資の集散地である。面積108.9平方Km人口32,049(46.10月現)県営宇島港を中心に東西に伸びた海岸線には九電築上火力をはじめ大・小会社、工場数社が立ち

ならんでいる。現在建設中又は計画されているもの数社がある。背面(南方)には山岳仏教の求菩提山、つくししやくなげの犬ヶ岳が聳えている。

2 公民館の設置状況

公民館 項目	施設 面積	図書数		職員配置				対象地区		備考
		室数	図書数	館長	主事	事務職員	職員数	地域類型	人口	
中央公民館	(m ²) 435	1	3,024	常勤 1	(非常勤) 2	1	4	-	-	都心部
(地域)岩屋	4578	1	100	-	(") 1	-	1	農・林業地域	1,352	
(")合河	450.1	1	130	-	(") 1	-	1	"	2,071	
(")横武	313.5	1	60	-	(") 1	-	1	農業地域	2,181	
(")千束	234.3	1	230	-	(") 1	-	1	"	3,011	
(")黒土	506	1	100	-	(") 1	-	1	"	2,585	
(")三毛門	459.4	1	667	-	(") 1	-	1	"	3,437	
(")宇島	43.5	-	-	-	(") 1	-	1	工商混合地域	4,574	都心部
(")八屋	43.5	-	-	-	(") 1	-	1	"	7,857	"

項 目 公 民 館	施設 面積	図 書 数		職 員 配 置				対 象 地 区		備 考
		室数	図書数	館長	主 事	事務 職員	職員数	地域類型	人 口	
(地域) 山 田	(m ²) 435	1	60	—	(非常勤) 1	—	1	農・林業地域	2,363	
(") 角 田	680	1	70	—	(") 1	—	1	"	2,618	
計				1	12	1	14		32,049	

3 運 営 の 状 況

関 係 機 関	事 務 局	委 員 数	備 考
教 育 委 員 会	社会 学務 教育課	4	
社 会 教 育 委 員 会	社会教育課	5	
中央公民館運営審議委員会	中央公民館	16	
地域公民館	"	138	八屋16.千束14.宇島14.横武10.合河12. 岩屋14.黒土15.山田16.角田14.三毛門13.

4 昭 和 4 6 年 度 社 会 教 育 事 業

事 業	内 容	事 業	内 容
1. 社会教育の 振興助成	社会教育団体事業助成 文化団体助成 体育団体助成	4. 社会教育活動 振興事業	こども会行事 青年団行事 婦人会行事 新生活関係行事 老人クラブ行事
2. 教育機会提供	青年学習サークル活動 婦人学級 家庭教育学級 成人教育講座 青年政治文学講座 社会「同和」学習会	5. 文化財関係	視聴覚教育 芸術文化活動 文化財保護
3. 指導者研修	こども会リーダー 青少年関係者 婦人団体 社会「同和」関係 公民館関係者		

5 昭和46年度（当初）教育予算

対比区分 費目	昭和46年度 当初予算	構 成 比		人口1人当り 金 額
		対一般会計	対教育費	
一般会計予算歳出合計額	1,589,512千円	100%		49,672円
教 育 費	109,615	6.9%	100%	3,425
内 社会教育費	22,628	1.4%	20.5	719
訳 (公民館費)	(14,338)	(0.9)	(63.3)	(448)

6 今日 的 課 題

(1) 公民館関係者

公民館の中には地域社会の発展や住民の福祉の増進に寄与し本来の使命を達成しつつあるものもあるが他方、立派な施設と専任主事を有する公民館が多額な経費を投入しながら、住民の期待に答えられないでいる例もある。之らは特定の団体のみ注視し重点をおいたり結婚式場としての役割しか果たしていないものもある。公民館関係者の中には社会教育というものゝ効果が、にわかに現われるものでないとの理由で現状を是認して厳しい自己反省を怠り関係者の報酬や人手不足が不振の原因である、として理事者の無理解を非難する人がいる。以上のような不足を補うだけで問題の解決にはならない。

要は公民館関係者の厳しい自己批判による体質

改善と活動実践こそ急務と思われる。

(2) 理事者について

公民館の行う事業が「住民の生活に密着している」という感じに乏しいのではないか。そのことは「ないよりはあった方がよい」式で恰も行政の出先機関的に考えられているのではないか教育施設としての公民館の積極的機能無視が現状職員の人選や配置や待遇に現われているように思われる。

こうした理事者の無理解と関係職員の観念が互いに作用しあって今日的課題を生みだしたものと思われる。

以上公民館関係者と理事者が原初にたちかえり公民館の果たす役割の重要性について再認識することが急務ではなからうか。

京都郡苅田町

1 苅田町の概要

苅田町は福岡県の東部に位置して、北は北九州市西と南は行橋市に続いて京都郡の田園地帯と接する面積40.14平方Km、7145世帯、27384人の町である。

南北に走る国道10号線と国鉄日豊本線に沿って市街地がひらけ、北西部はカルスト台地平尾台に連り地下資源に恵まれている。南西部の田園地帯は農業園芸、酪農が盛んであり、又、特に古墳が多いのも特徴であり、一名史跡の多い古墳の町とも呼ばれています。

東部の海に面した地域は昭和43年4月、国際貿易港に指定された苅田港を中心に臨海工業地帯を形成し、現在、電力、セメント3社、合板、鉄工各種の工場が立地し操業中であります。又、昭和48年

4月には阪神及び四国を結ぶフェリー基地が完成予定であり、西瀬戸内臨海工業地帯の拠点としての発展が約束されております。

<付> 人口動態

3.31現在	世帯数	男	女	計
昭和40年	6,172	12,839	13,167	26,006
41	6,218	12,845	13,142	25,987
42	6,317	12,767	13,172	25,939
43	6,485	12,882	13,316	26,198
44	6,676	12,946	13,424	26,370
45	6,823	13,007	13,466	26,473
46	6,982	13,244	13,663	26,907
47	7,145	13,558	13,826	27,384

2 施設設備と職員体制

(1) 公民館の設置状況

苅田町は三カ町村の合併によって成立した町で

あるが、公民館も三つの地区館を設置している。

但し中央館は設置していない。

項目 館名	施設		職員配置		対象地区		備考
	構造	面積	館長	職員	地域類型	人口	
中央	木造2階建	76335㎡	1	2	工、商業混合地域	19,498	
小波瀬	木造平家建	15027㎡	1		農業地域	5,138	
白川	鉄筋2階建	38755㎡	1		農業地域	1,965	

(2) 職員の状況

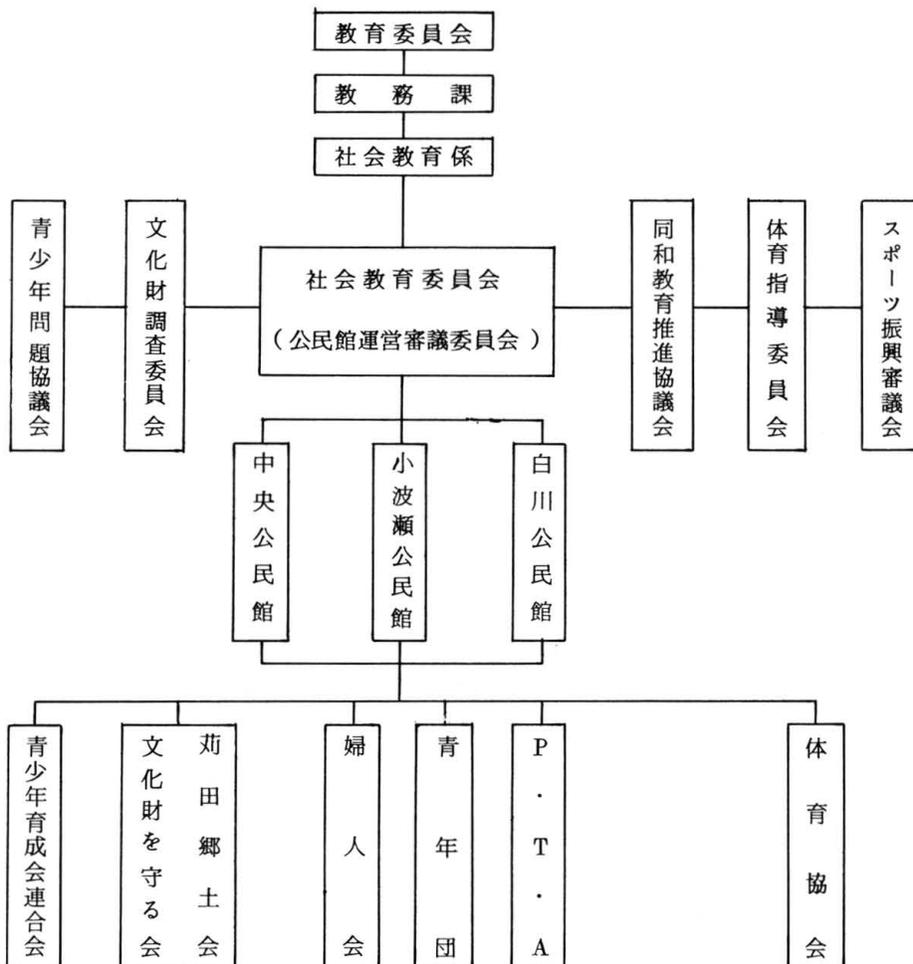
(第1表) 職員

職名	性別	年令	社会教育歴	勤務年数	備考
社会教育係長	男	41	1	16	嘱託
社会教育主事	男	36	6	8	
同和教育主事	男	28	1	9	
体育係	男	58	1	1	
中央公民館長	男	40	1	18	
図書係	女	31	5	11	
用務員	女	58	7	10	
小波瀬公民館長	男	38	4	18	
白川	男	46	18	19	

(第2表) 青年学級講師

学級名	項目	性別	年齢	勤務状況	勤務年数
中央青年学級		女	36	常勤	7
		女	37	常勤	7
		女	70	週2回	24
		男	53	週1回	10
		女	49	週1回	6
小波瀬青年学級		女	40	常勤	8
		女	47	週1回	5
		女	41	週1回	3
		男	55	週2回	10
白川青年学級		女	34	週2回	10

<付> 苜田町社会教育関係機構



3 事業内容と予算

公民館の事業については、町内三地区館で分担実施しているが、特記すべきものとしては昭和23年に青年団により開設されて以来、現在まで続いている青年学級と、46年度開設の中国語講座がある。

この他、家庭教育学級、婦人学級を開設し、同和教育では、同和教育講座の全部落開催、識字学級、補充学級も年間計画により実施している。

次に社会教育関係の予算は下記の通りである。

<付> 社会教育財政

(第1表) 昭和46年度の教育費予算別対比

対比区分 費目		昭和47年度 当初予算	構成比%		人口1人当り の金額	備考
			対一般会計	対教育費		
一般会計予算才出合計額		1,270,939	100		4,6411	(人口) 27,384
教育費		119,909	9.5	100	4,378	
内 訳	教育総務費	12,818	1.0	10.7	468	
	小学校費	32,479	2.6	27.1	1,186	
	中学校費	23,113	1.8	19.3	844	
	社会教育費	16,201	1.3	13.5	591	
保健体育費		35,298	2.8	29.4	1,289	

(第2表) 社会教育予算内訳 (単位 千円)

目	当初予算	47年度予算	46年度予算	備考
1. 社会教育総務費		14,231	17,095	
2. 成人式費		401	400	
3. 公民館費		1,569	837	
1. 保健体育総務費		35,182	29,083	※ 同和对策費のうち 教育費 4,555
2. 町民体育祭費		116		
1. 同和对策費		7,0317	39,947	

(第3表) 主たる開設講座の予算

講座名	項目	県国庫補助	町費	計	備考
青年学級		300,000	1,042,000	1,342,000	3
青年教室		60,000	173,000	233,000	2
婦人学級		80,000	53,000	133,000	2
家庭教育学級		120,000	81,000	201,000	3
中国語講座		40,000	320,000	360,000	2
同和教育	識字学級	218,100	280,000	498,100	2
	補充学級	84,500	720,000	804,500	4
	婦人学級	57,000	140,000	197,000	2

(第4表) 社会教育関係団体補助金

青少年育成会連合会	1,100,000		青年団	200,000	(予定)
婦人団体	400,000		体育協会	507,000	

4 今後の課題と問題点

1. 現在三つの地区館を併列しているが、実施機関の中心としての中央公民館を設置して「社会教育行政」との分離を図りたい。
2. 各公民館に館長を置いて主事を兼任させている現状であるが、専任の主事と事務職員を増員したい。
3. 都市化が進んでいる中での公民館事業のあり方を模索して、公算型の学級講座への移行を目指したい。団体依存のものについては漸次改善を図りたい。
4. それぞれ公民館に青年学級を併設しているが花嫁学校的色彩が濃い。これについても青年の希望をとり入れて改善していきたい。

京都郡犀川町

1. 犀川町の概要

イ 地 勢

本町は福岡県の東部、京都郡の南部に位し、東は築上郡、西は田川郡、南は大分県、北は行橋市に境し、東西7Km、南北21.5Km、総面積98.13Km²の細長い、クサビ形をした地域で、標高は南高北低で13m～1,220mの間において、急峻な山岳に囲まれている。源を英彦系に発する今川が、北部を東流し、秋川が東部を北流している。周囲4Kmの本庄池と共に町内の肥沃な耕地を灌がいでいる。又林野面積は7,380haで総面積の75%を占め、特に南

部伊良原地区は材木生育に適し、優良林業地帯を形成している。行橋より英彦山に通ずる国鉄田川線は北部を西北に走り、犀川、崎山の二駅がある。北東部伊良原から行橋へ「西鉄バス」がある。本町は古来から名所旧蹟も多く、伊良原の原始林を始め、奇岩、奇石が聳立し壮観な蛇淵、景観すぐれた野峠天狗ラインと共に耶馬溪、日田の英彦山国定公園の一部に包含されている。

ロ 土地利用の状況

区分	総面積	耕 地				山 林				採草地	宅 地	その他
		1136	082	022	1246	国有林	公有林	私有林	計			
面積	98.13Km ²	1136	082	022	1146	5.76	2.45	66.42	74.66	0.36	1.05	9.65
比率	100%	11.6	0.8	0.2	12.6	5.9	2.5	67.7	0.4	0.4	1.1	9.8

ハ 沿 革

犀川町は明治22年、町村制施行に伴い、東西南の各犀川村が発足、その後明治38年2月3村が合併して犀川村となった。昭和18年から町制を布いて昭和31年9月、犀川町、城井村、伊良原村

と合併し、面積98.13、県下第四位の広大な面積をようし、人口10,115人（昭和45年度国勢調査）世帯数2,458戸の犀川町が誕生した。

ニ 人口及世帯数の移り

年次	世帯数	人 口			昭和35年を100とする人口比率	1世帯当り人口
		総数	男	女		
昭和25	2,532戸	13,196人	6,443	6,753	109	5.2
昭和35	2,541戸	12,190人	5,861	6,329	100	4.8
昭和45	2,538戸	10,115人	4,752	5,363	83	4.0

2. 社会教育

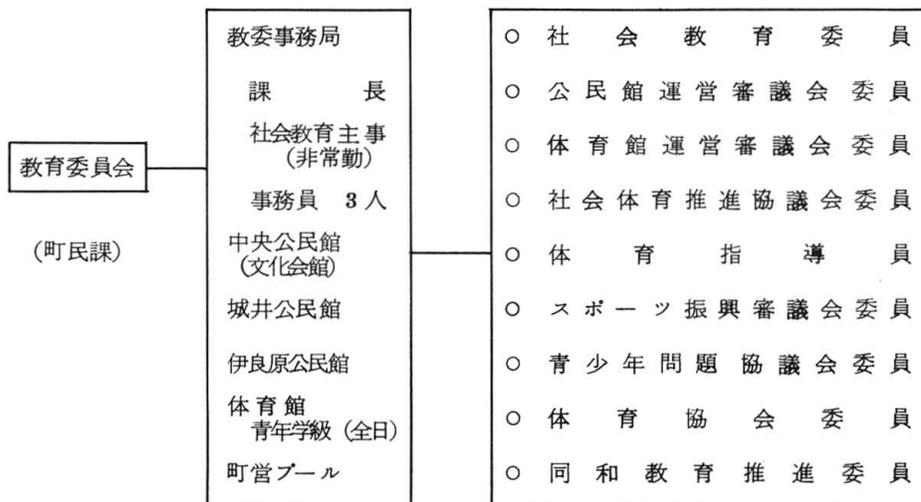
町民の教養を深め、スポーツを通じて、健康保持と体位の向上をはかる社会教育活動は年々盛んにな

ってきた。

尚社会体育研究委嘱町として、住民の日常生活の中にスポーツを浸透し、明るい健康な社会建設のた

め研究をすすめている。生涯教育の理念に立つ、生涯体育をめざして、体力づくりに、社会教育の主力を注いでいる。

イ 社会教育の機構



ロ 社会教育施設の状況

S 46年

施設の名称	職員数	規模	設備	維持費
中央公民館 (文化会館)	専任3 兼3	別表参照	設営中 ミシン7台 図書842 その他	1,776千円
城井公民館	専任1	79㎡	食器・調理用具	支所と併置
伊良原公民館	専任1	131㎡		同上
体育館	専任1 兼1	1,200㎡	体育用具一式	3,069千円
町営プール	設営中につき省く			

ハ 社会教育予算(47年度)

- 一般会計 (855,174千円) : ○ 教育費 (224,140千円)
 ○ 教育費 (224,140円) : ○ 社会教育費 (59,490千円)

ニ 社会教育の進め方(例)

年度初めに年間計画を樹立
 教育長、社会教育主事、事務局担当者
 公民館長
 社会教育委員で審議
 年次計画案の説明会

婦人会長、福寿会長、子ども育成会長
 選挙管理委員長、青少年問題協議会長
 青年部代表(花和会、炎の会、4Hクラブ)
 年間計画案を修正して、各種機関に応じた計画
 案を樹立して、特色ある自主活動を開始する

昭和47年度行事計画案

	学級数	主なる目標	体力づくり	備考
婦人会活動	3学級	1.奉仕活動 (公営結婚) 2.修養 (婦人の地位の向上) 3.愛の一声運動	簡易バレー 卓球、民踊、バトミントン教室 栄養管理	伊良原地区は簡易バレーを主とする
こども会活動	18支部	1.未結成部落の結成促進 2.図書館利用と健全な遊び 3.奉仕活動	剣道教室 水泳教室 バトミントン教室 サッカー教室	上伊良原、犬丸に結成を依頼 同和地区子ども会に力を入れる
青少年活動	青年学級 健全育成部 補導部 炎の会 花和会 4Hクラブ	1.健全なスポーツと花嫁修行 2.生産活動と奉仕活動 3.小グループの育成と青年団結成	1.体力測定 2.体協主催の各種競技会に参加 3.水泳教室	勤労青少年を励ます方法 家庭の日の強化推進
家庭学級活動	3学級	1.教育ママに対する問題の解明 2.進路指導と母親の任務	1.町民体操	親子体操 クラブの結成を促進する
選挙啓蒙活動	町の政治を見つめよう 学級 自主2 指導3	1.町の政治に関心をもつ 2.公明選挙の啓蒙活動 3.身近な政治問題を解明する	1.若手有権者の指導をなす 体力づくりに参加させて	婦人の啓蒙より青年層に力を入れる
同和教育	識字学級 3学級	生花、茶道、調理の育成もなす 月2回	町民体操 簡易バレー	人権尊重 教育の平等
老人活動	3支部 犀川、城井 伊良原	1.老人福祉問題の研究 2.老人の在り方 3.保健栄養の研究	生涯体育から考えて老人スポーツの在り方 歩け歩け運動	町民課と連携して活動する

以上は紙面の関係で骨組のみ記す。

3. 今後の課題

学習供用施設の竣工により、町中央部の諸活動には便であるが、人的資源に問題がある。特に図書館司書の活躍が必要と思う。

- イ、青少年の生活の広域化と補導をどうすればよいか。
- ロ、婚礼、葬儀が日を追つてあてになる生活改善策をどうするか。
- ハ、過疎地域で山間部住民の転出が激しい、林業農業だけでは生活が困難である。如何なる社会教育をなすか。

ニ、若い婦人（働ける）は、会社さし向けのマイククロバスで工場に出稼をする。鍵子並に勤労婦人の社会教育はどうするか。

- ホ、婦人会役員の年齢と生協取扱物品の問題にからむ役員選出難をどう解決するか。
- ヘ、福寿会、母子会、青少年問題協議会は町民課である教委との関係はどうするか。
- ト、新設プールの管理と体力つくりの関係は如何にするか。

4. 体力つくりと体協行事計画（参考資料）

月	事業名	月	事業名
4	春の町内野球大会（第10回）	10	郡民体育大会、町民体育大会
5	第3回町内バトミン大会	11	第3回町内サッカー大会
7	郡野球、ソフトボール大会	11	第9回町内マラソン大会
7	町内水泳大会（第1回）	12	郡市駅伝大会
8	第5回町内子供会ソフトボール大会	1	第5回町内卓球大会
9	第7回町内女子バレーボール大会	1	第5回町内剣道大会
9	第5回町内男子バレーボール大会	3	体協理事会、総会
9	郡球技大会（排球、卓球）		

※ 体力つくりの年間計画は別に配布予定



学習等供用施設
平面図



京都郡勝山町

1. 勝山町の概要

(1) 沿革

京都郡の中北部に位置する本町は、昭和30年3月1日に諫山村、久保村、黒田村の旧3カ村が合併発足した総面積3,445Km²、人口6,359人、世帯数1,511戸を有しており、東に接する行橋市を除いては、三方を山で囲まれた、概ね掌形をした、農業を基幹産業とする町である。

近年、我国工業の急速な発展に伴う人口の都市集中化のしわ寄せから、本町も漸次過疎化の一途を辿っているが、町の中央を東西に貫通している国道201号線が昭和42年に全面的に拡幅改良されるや、交通の便は一段と良くなり、公害のない町として北九州工業地帯のベットタウン、あるいは肥沃な耕地から生産される生鮮食糧の供給基地として、ようやく脚光を浴び始めている。

また、観光面においても、つづら折の峠で、交通難所の一つに数えられていた旧国道201号線の通称「七曲峠」は桜の名所としても知られており、頂上からの眺望はまた格別で、京都平野を一望し、晴れた日には周防灘を隔てて遠く四国の山々をも眺めることができる。その他、巨岩の中に祭られた「胸の観音」、国指定の豪壮な古墳「橘塚古墳」、寝松で有名な「安勝寺の老松」等々、町内各所に名所旧蹟が散在しており、一方、温暖な南部山麓では、数年前から柑橘園の開発が進められており、将来は観光農園化することも計画されている。このように公害から逃れて、澄み切った青空の下で、緑の山野を散策する北九州市民の憩いの場として、今後の発展が期待されている。

(2) 地形の特色（土地利用状況）

区分	総面積	田	畑	宅地	林野	果樹園	その他
面積	3,445 ha	836	68	83	1,946	70	442
比率	100%	24.3	2.0	2.4	56.5	2.0	12.8

(3) 人口の推移（国勢調査）

年次	世帯数	人口			指数	平均世帯人口
		総数	男	女		
30年	1,309 ^{世帯}	6,947 ^人	3,453 ^人	3,494 ^人	100%	5.31 ^人
35年	1,320	6,707	3,315	3,392	96.5	5.08
40年	1,387	6,698	3,298	3,400	96.4	4.83
45年	1,511	6,359	3,092	3,267	91.5	4.21

2. 社会教育の現状

(1) 公民館（教育委員会事務局）職員の機構

職名	教委職員との関係	性別	年齢	町職員 在職年数	教委職員 在職年数	備考
中央公民館長	教育長	男	60	年月 —	年月 12.10	
主事	事務局長	男	42	19.3	5.1	
主事	社会教育係長	男	35	9.6	0.3	
書記	学校教育係主任	男	27	7.0	2.0	
雇	学校教育事務	女	19	—	1.4	
	老人憩の家管理 社会教育事務	女	24	—	0.10	
用務員	—	女	26	4.0	4.0	
公民館主事	—	男	74	—	0.7	非常勤
諫山分館長	諫山小学校長	男	54	—	4.3	
久保分館長	久保小学校長	男	53	—	3.3	
黒田分館長	黒田小学校長	男	53	—	3.3	

(2) 予算

区分 費目	昭和47年度	構 成 比		人口(6,484人)	備考	
	当初予算額	対一般会計	対教育費	一人当りの金額		
一般会計 歳出予算総額	359,770円	100.00%	—%	55,486円		
教育費	37,574	10.44	100.00	5,795		
内 訳	教育総務費	6,399	1.78	1,703	987	
	小学校費	14,757	4.10	39.28	2,276	3校
	中学校費	6,654	1.85	17.71	1,026	1校
	社会教育費	8,726	2.42	23.22	1,346	
	保健体育費	1,038	0.29	2.76	160	

(3) 施設・設備

イ、中央公民館

(施設)

構造	規模	敷地面積	床面積	建築費総額	建設年月日
鉄筋コンクリート	2階	2,571 ^{m²}	611 ^{m²}	24,520,000円	43年3月31日

(備 品)

視聴覚教材	8mm映写機	16mm映写機	テープレコーダー	放送機器	ステレオ	テレビ
数 量	1	1	1	1	1	1

ロ、公民分館

分館名	構造及び規模	敷地面積	床面積
諫山分館	木造平家建	143㎡	103㎡
久保分館	木造平家建	63㎡	51㎡

(4) 中央公民館と分館との関係

社会教育推進の拠点として、町民に深く浸透する公民館活動を通じて、文化生活の向上と教養ある人間造りを目ざして昭和43年3月、総工費2,452万円、延面積611㎡の中央公民館が建設され、社会教育団体の研修や各種学級等を開設し、相談事業、その他において一般利用者も毎年増加している。

一方、分館の活動は、地域の生活基盤になつて行なわなければならないが、分館活動に対する育成指導は、体制的又は施設設備等も不十分である。利用者も主として婦人会、子ども会、老人クラブ等の会合に多く使用されている。管理運営については、分

館は小学校内に併設しているので、分館長は当該小学校長が兼務している。

問題点

- ① 現有施設の分館は規模も小さく、100㎡以下の建物であり、小学校の併置館で十分な施設機能が果せない。
- ② 分館活動を推進して行くためには、町づくり、地域づくりを自主的、自治的に実践するグループ作りを育成して行かなければならない。
- ③ 公民館活動に対する理解者、協力者、活動家が少ないため、一般住民のものとなつていない。

(5) 老人クラブの活動

① 組 織

町老人クラブ

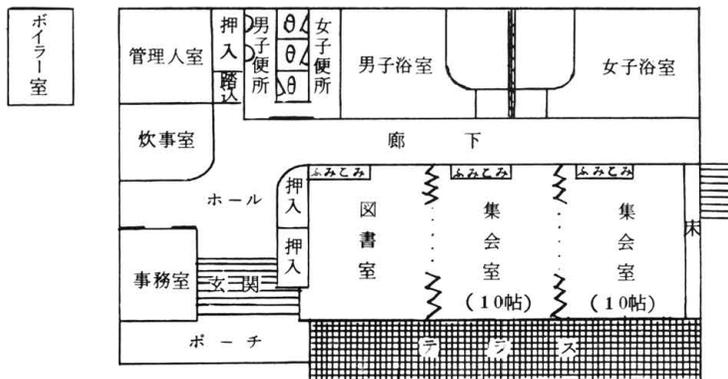
会 長 1人
副会長 2人

支 部

17支部

最少構成人員 男 5人 女 5人 計 10人
最大構成人員 男 26人 女 35人 計 61人
平 均 男 13人 女 18人 計 31人





施設名
 勝山町老人憩の家
 床面積
 1981875^{m²}
 工期
 着工昭和45年12月10日
 竣工昭和45年3月31日
 総工事費
 9,200,000円

(平面図)

② 活動の実態

老人クラブの結成と相俟って、県費助成により、老人憩の家を中央公民館に隣接して建設し、特に浴室も設けている。また、何分にも利用者が老人であることから、町でマイクロバスを購入して利用者の送迎をするなど利便も図っている。なお、憩の家の開館は昨年度までは申し込みのあつた日のみであつたが、本年度からは利用者の人数の多少にかかわらず、いつでも利用できるよう日曜、祭日以外は毎日開館して使用に供している。

憩の家では、入浴をして心身ともにほぐれたところで、映画の観賞や主事の講話を聞き、お互いの情報交換もして会員の親睦を深め、一日を有意義に過ごしている。

又、各支部においても、月々例会を開いてお

り、種々活動をしており、民謡教室を開いたり、レクリエーションを兼ねて施設作りのための軽作業に汗を流すなど、老人の自主的な活動で運営されている。

○今後の課題

① 施設面においては、一応の整備がなされたが、予想したほど有効に活用されていないきらいがあり、各種設備の充実とともに、生涯教育の理念からも、親しみやすい教養講座等を常時取り入れた学習活動も考える必要があろう。

② 現今の社会事情から、農閑期には男女とも中壮年労働者はほとんど農外収入を求めて昼間は稼に出かけており、いきおい、老人が家事労働の中心にならざるを得ないのも問題ではなからうか。

3. 47年度の社会教育計画

学級名	学級数	対象	開設日数	学習内容	場所
華道教室	3	婦人	毎週1回	池坊	中央公民館 1 分館 2
茶道教室	1	"	"	表千家	中央公民館
栄養教室	1	"	毎月1回	栄養実習 保健衛生	"

学 級 名	学級数	対 象	開設日数	学 習 内 容	場 所
盆栽 水石教室	1	一 般	毎月1回	盆栽の育て方 水石の観賞	中央公民館
高 齢 者 学 級	1	60歳以上	・	新しい時代における 老人の役割	憩 の 家
婦 人 学 級	1	婦 人	・	主婦の立場に立 って働く婦人の 問題を考えよう	久 保 分 館
家庭教育学級	2	小学1年父兄	年7回	明るい家庭と健 全な子どもの育成	黒田小学校 久保分館
政 治 学 級	1	婦 人	年6回	地方政治のしく みを学習して、 政治意識を高揚 する	諫 山 分 館
同和識字学級	2	婦 人	毎週1回	文字の学習 一般教養	同和地区集会所
同和補充学級	5	小学校児童	・	補充教育	・
同和解放学級	10	主 に 婦 人	毎月2回	生花、料理、 一般教養 解放教育	同和地区集会所 個 人 宅

4. 社会教育団体

	諫山婦人会	久保婦人会	黒田婦人会	子供会育成会	青 年 団	老人クラブ
代表者職氏名	会長 城下ユキエ	会長 太田テル	会長 木村扶喜子	会 長 木 村 清 衛	団長 北野満典	会 長 井上文右エ門
構 成 人 員	230人	270人	320人	12支部 210人	50人	17支部 528人

京都郡豊津町

1. 豊津町の概況

A 南に英彦山、犬ヶ嶽の連山を眺め、東に周防灘を控え、西に馬ヶ嶽を望み、中央に清流秋川が貫流し、風光明媚まことに公害なき地であり、小笠原藩最後の城下町として、又、1,200年余前の国分寺があり、史跡に富み、殊に小笠原藩が育徳館を創設して以来、学術文教の町として、はた又北九州のベットタウンとして、昭和30年3月豊津村、秋郷村、節丸村、合併以来、逐次田園都市と

しての形態を造りつつある町である。行橋市より5kmの地点にあり常時バス運行し交通も便利である。

イ、総面積 19.56km²
 ロ、世帯数 2,004戸
 ハ、人口 8,877人
 ニ、人口密度 1km²当り 453人

B 国勢調査人口の推移

年次	世帯数	男	女	計	人口密度 1 当り
昭和30年	1,585	3,731	4,048	7,779	396.9
昭和35年	1,790	3,939	4,311	8,250	420.9
昭和40年	2,004	4,242	4,635	8,877	452.9

C 人口の動態

年次	自然的動態		社会的動態		婚姻	離婚
	出生	死亡	転入	転出		
昭和42年	82	59	324	344	70	6
昭和43年	80	40	461	467	76	9
昭和44年	66	32	557	510	57	6

D 産業別人口の動態

分類	年次	30	35	40	分類	年次	30	35	40
		農業	2,284	2,386			2,025	金融・保険・不動産	23
林業	2	4	0	運輸・通信業	216	205	270		
漁業	6	2	0	電気・ガス・水道業		12	15		
鉱業	56	47	6	サービス業	403	348	380		
建設業	97	127	210	公務	80	111	186		
製造業	167	307	472						
卸業・小売商業	178	253	344	合計	3,512	3,824	3,941		

E 豊津町の産業

- 日毎に開拓されゆく緑の台地豊津は果樹園が開け、ブドウの産出は大きい。蜜柑、梅(330ヘクタール)、畜産も産地として芽生えを見せている。

水田については農業改善事業として基盤整備が推進され、経営規模の拡大と農業の近代化を図り、北九州の背後地として豊かな町をめざしている。北九州への一大供給として都市近郊型の産業に変わりつつある。

F 観 光

- 都塵を離れ台地は空気澄み清流に影を映して寂、その風致は言わずともがなであり、英彦山の霊峰を望み、近く国分寺の塔光を拝するところ、ここ豊津町は自然と史跡に恵まれ人々に絶好の憩の場として親しまれている。

G 史 跡

- 八景山、甲塚、郡長正の墓、秋月党戦士の墓、城下町、鍵状道路、小笠原神社、御内家跡、峰高寺、二月谷寿町、国分寺三重塔、節丸の陽石等あり。

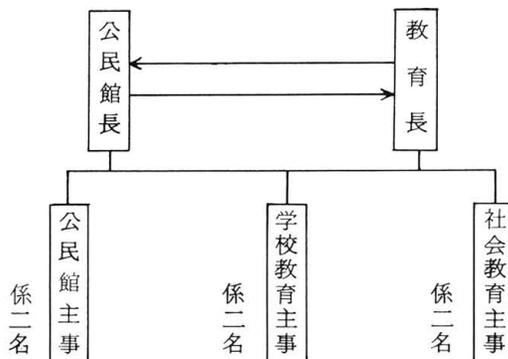
2. 豊津町中央公民館

A 築城飛行基地周辺のため、防衛庁補助による防音装置の中央公民館である。昭和46年3月に完成した。

- イ、建設位置 豊津町大字豊津1118番地
- ロ、構造規模 鉄筋コンクリート造2階建
- ハ、面積 敷地2000㎡、
1階 1188.984㎡
2階 545.845㎡
合計 1734.829㎡
- ニ、設 備 全館冷暖房設備、自動火災警報装置、消火栓ホース内蔵浄化槽設備、電気放送設備、全館防音装置
- ホ、総事業費 106,325,000円

B 公民館運営状況

職員については下記の如く暫定的な配置が望ましいのであるが、現実としては教育長、社会教育主事、公民館主事、事務員1名、漸次充実してゆく。



C 社会教育団体

団体名	婦人会			家庭教育学級			青年団	子供会	老人クラブ	体育協会	同和識字学級	同和地区学力補充学級
	豊津校区	秋郷校区	節丸校区	豊津校区	秋郷校区	節丸校区						
団体数 (支部団体含む)	14	13	8	1	1	1	1	31	14	1	6	6
人員	545	441	240	61	53	39	90	743	700	町全体	108	132

D 47年度各種団体の研修及事業目標

イ、婦人会

情報化社会における、明るい家庭づくり

ロ、家庭教育学級（3学級開設）

子どもの精神発達に伴う躰

主として小学校低学年の父兄を対象にする

ハ、青年団

○文化財の認識を深め、その保護に協力してゆく。

○交通事故防止のため、広報紙、ポスター等の強化に努力しよう。

ニ、子供会

○ジュニアリーダー研修会

○野外キャンプ研修会の実施

○育成会指導者部会実施

○ソフトボールの郡、町内試合参加

○他町子供会との交換宿泊の実施

ホ、体育協会

○県・郡・町の陸上、球技の競技に参加する

○町民体育大会の開催

○社会体育の普及・推進（ママさんバレー等）

ヘ、老人クラブ

○老人憩の家の活用

○老人病予防診断の実施

ト、識字学級

○字の練習

○社会知識の向上

○解放運動の学習

○生花学級

○料理学級

○学力補充学級（小中学生）

3. そ の 他

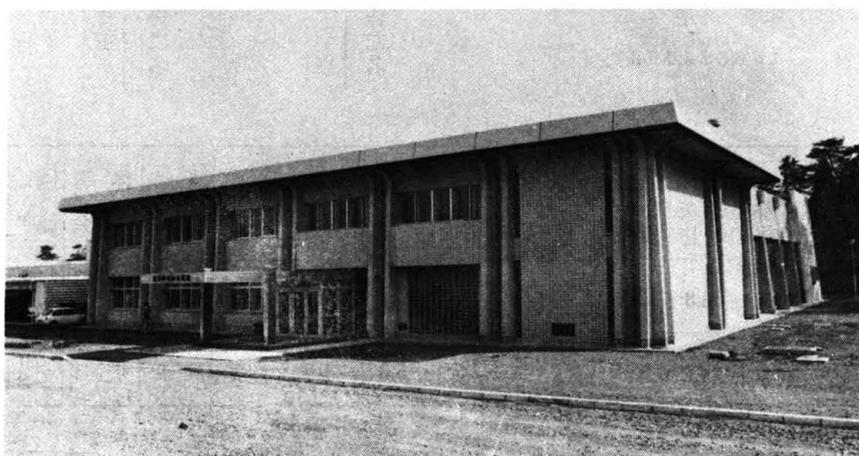
A 町民慰霊祭、花火大会

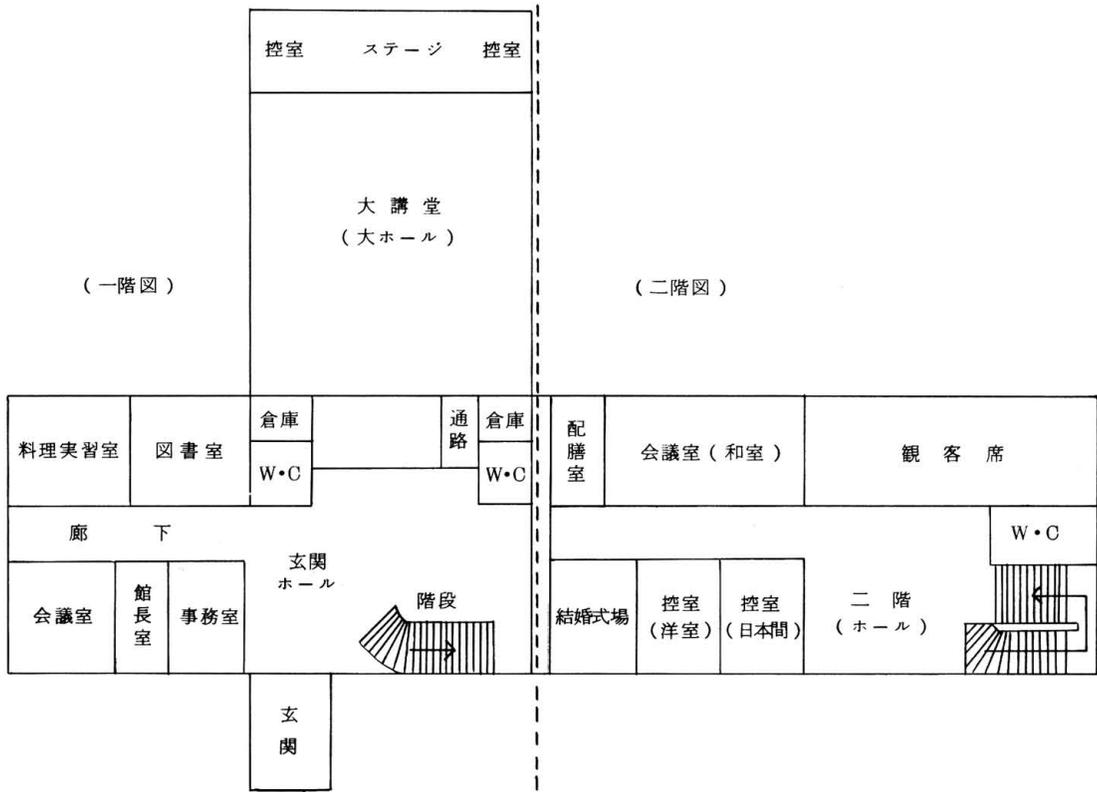
B 国分寺三重塔の塔まつり

4. 類似公民館

秋郷校区、節丸校区に設立し、各種集会、学習、協議、冠婚葬祭に活用している。

5. 豊津町中央公民館 図





築上郡椎田町

1. 椎田町の概要

本町は県の東北端、築上郡の西部に位置し、築城 葛城村、西角田村が合併して、新たに椎田町として町、豊前市に隣接した波静かな周防灘に面している。 誕生した。

昭和30年、町村合併により、椎田町、八津田村、

2. 施設設備

イ) 中央公民館

町民の永年の念願であつた中央公民館が4月11日に竣工した。

○鉄筋2階建冷暖房完備

施設の概要	構造	規模	敷地面積	建築費総額	建設年月日
	鉄筋コンクリート	2棟 (大ホール 管理棟)	5,762㎡	152,842,000円	S47.4.11

1. 別棟 大ホール 約800人収容

2. 管理棟

(1 階)

談話コーナー、事務室、応接室、会議室、研修室、視聴覚室、生活実習室、管理人室

(2 階)

図書室、講義室、準備室、和室15帖(3)小会議室

3. 職員体制

- 公民館長 1名
- 社会教育主事 1名
- 公民館主事 2名
- 事務職員 2名
- 管理人 2名
- ※ 清掃婦(パート)

4. 視聴覚備品

16 ^m / _m 映写機	8 ^m / _m 映写機	8 ^m / _m 撮影機	幻灯機	スライド機	テープレコーダー	写真機	放送機器	ピアノ	ステレオ	テレビ
2台	2台	1台	2台	1台	3台	1台	2台	1台	1台	2台

5. 予算額 54,962,000円

- ・ 社会教育費 9,647,000円
- ・ 保健体育費 45,315,000円
(町民プール建設費を含む)

6. 事業内容

	子供会	29単位	
① 少年教育	ボーイスカウト	1団	
	スポーツ少年団	1団(サッカー)	
	青年団	75名	
② 青年教育	茶道コース	毎週月曜	
	華道コース	・ 水曜	
	料理コース	・ 土曜	
	一般教養	月一回	
	婦人会	2,166人	
③ 成人教育	婦人学級	各支部開設	
	婦人政治学級	1(選管と共催)	
	家庭教育学級	7(小学校6 保育園1)	
④ 老人教育	老人クラブを対象に		
	識字学級	2(同和地区)	
⑤ 同和教育		行政部会	
	町同和教育研究会	社会教育部会	
		学校教育部会	
		軟式野球大会	
⑥ 社会体育	体育協会	町内相撲大会	
		町民体育大会	
		郡体参加	

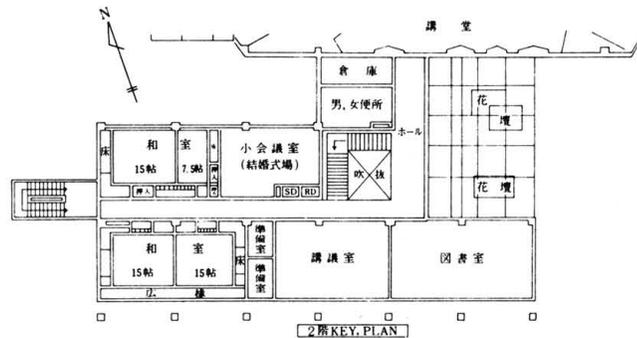
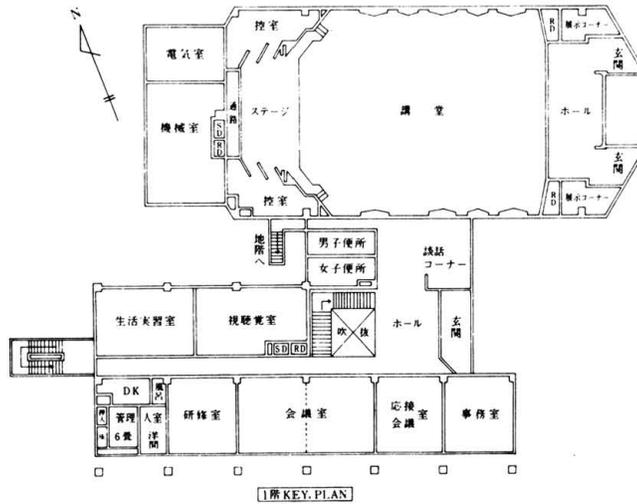
7. 今後の課題と問題点

町民のコミュニティーセンターとしての役割を果して行くためには将来町民体育館、町民グラウンド、

町民プールが計画されている。

- ① 学習の近代化、能率化のため視聴覚教材教具の充実（V・T・Rの購入）
- ② 社会教育職員の専門性と職員の増員

- ③ 地域ボランティアの育成
- ④ 社会体育組織の充実
- ⑤ 社会同和教育体制の充実



築上郡築城町

1. 築 城 町 の 概 要

築上郡の西端に位し、西は行橋市、京都郡、東は豊前市、椎田町に隣接し、三方山に囲まれ、南北約21キロメートル、東西約32キロメートルの帯状の地形をなし、面積6792km²、その65%強が山林で、人口11,960人（世帯数3,183世帯）の町である。

教育施設は小学校6、中学校2、高校1、保育園6（町立1）幼稚園1（私立）、町公民館1、同和地区集会所1、地区学習等供用施設1、類似公民館31である。

町公民館の施設設備と職員体制

(1) 公民館施設の機能

大集会室	1	会議室	3
図書室	1	料理教室	1
応接室	1	事務室	1
結婚式場	1		

(2) 公民館の設備

○ 料理教室

テーブル数は7テーブル完備しているが、現在2テーブル分の料器器具を備えている

○ 視聴覚室

視聴覚室として特別にもうけていないが、2会議室映写出来るよう暗幕装置をしている

○ 全館冷暖房と放送設備の完備

○ 結婚式場の完備

(3) 職員体制と関係委員

公民館長	公民館主事等
(1名)	(名)

○ 教育長

事務局長	事務職員
(1名)	(名)

○ 社教委員兼運営審議会委員 15名

○ 体育指導委員 5名

2. 運 営 状 況

(1) 予 算

町 費	661,197千円
教育費	210,696千円
社会教育費	26,024千円
(人件費 6,820千円)	

(2) 運営の概要

○ 運営方針 町の教育基本方針により教育委員会が行なう社会教育事業と公民館事業の全分野にわたり推進している。

○ 重点目標

- ① 社会教育関係団体活動の育成。
- ② 各種学級の開設と一般普及。
- ③ 同和教育の推進。
- ④ 社会体育活動の推進。
- ⑤ 各種講座、講演会、学習会等の開催。
- ⑥ 町史跡の編集と出版。

類似公民館の利用

町の概要で述べたように地理的に交通の便が悪いことと、町民との親密と自主的学習を推進するために部落公民館を利用して学習をすすめている。

○ 町公民館の利用状況

種 別	延 件 数
公 民 館	33
学 校 関 係	7
社 教 団 体	45
官 公 庁	68
結 婚 式	47
そ の 他	37
計	237

3. 事業内容

成人教育

家庭教育学級

町内小学校区別に6学級開設。

文化講座・講演会の開催

婦人教育

○ 中央婦人学級

町婦人会副支部長以上を対象にして、各支部における学習の推進とリーダーの養成をねらいとして学級を開設。

○ 支部学級の推進

公民館としては3支部に学級を開設し直接指導助言にあたり、他支部については要請により指導助言にあっている。

○ 築城町婦人学級

婦人会会員とは限らずに、町内に居住している40歳までの既婚婦人を対象に学級生を公募して1学級開設。

「同和」教育

○ 同和地区を対象として

文部省委嘱事業

集会所等指導事業・・・袈裟丸地区

成人及び婦人学級並びに子ども会を開設。

県費補助事業

識字学級・・・2学級

集会所指導事業・・・3ヶ所

子ども会等育成事業・・・2ヶ所

町単独事業

婦人学級の推進と青少年の育成

○ 全町民を対象として

社会教育団体への指導助言

部落差別に対する科学的認識に立って、差別をなくしていく意志と実践力をもつた人間の育成をめざすために学習を位置づける。

学級学習会等でのとりくみ

家庭教育学級等のすべての学級及び学習会等において年間2回は学習内容としてとりあげる。

講演会その他

各種諸集会を利用して一般への啓蒙と部落解放教育研究会と連けいを取り部落懇談を実施。

青少年教育

○ 青年学級と青年団の育成

公募により町公民館で1学級開設。

○ 子ども会の育成

45年度に町内の子ども会育成連絡協議会を組織し、公民館と会とが表裏一体となって育成につとめている。

○ ボーイスカウトの育成と指導

小学生6年から中学生2年の児童生徒から公募して1隊36名を組織し、2名の指導者により指導につとめている。

社会体育

町体育協会の名のもとに各事業を計画実施し、直接の指導には公民館と体育指導委員があたっているが、大きな事業については、学校教職員並びに役場職員等の応援により、社会体育の推進につとめている。

尚、町の社会体育施設がないため学校等を利用している。

○ 主な事業としては、町民体育大会、職域ソフトボール大会、青年野球大会、子ども会球技大会、青年駅伝大会等を実施している。

その他

- 町の史跡の編集と出版
- 成人式
- 敬老会
- 結婚式
- その他

4. 今後の課題と問題点

- 社会教育の充実をはかるには、次のような課題及び問題点としてとりあげられることが考えられる。
- (1) 体育施設の早期実現
 - (2) 地区館の実現と設備の充実
 - (3) 社会教育課の設置並びに職員増による社会教

育の充実

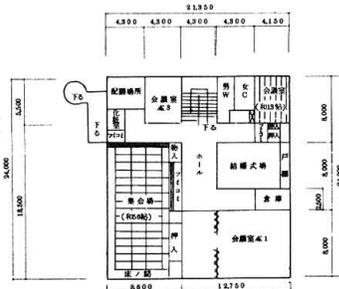
- (4) 社会教育主事の設置
- (5) 職員の研修と指導者養成
- (6) 町公民館の管理人の実現
- (7) 社教団体の育成



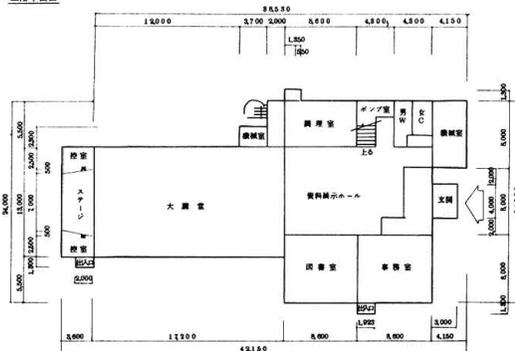
美城町公民館平面図

建築面積	
1F	761 [㎡] 861
2F	515 [㎡] 320
計	1277 [㎡] 181

建設費	
本体工事費	1式 48200000-
設備設備費	1式 12000000-



二階平面図



一階平面図

築上郡大平村

1. 大平村の概要

(イ) 位置

本村は福岡県の最東南端に位置する農山村である。東は清流山国川を境に大分県に接し、南は大平山・瓦岳・雁股山を結ぶ稜線によって天下の名勝耶馬溪に境をなし、西は南北に走る稜線をもって豊前市に、北は新吉富村を隔て遠く周防灘に面しており、日常生活においては大分県中津市が本村の玄関口となっている。

(ロ) 沿革

遠く藩制時代にこの地方は豊前国といわれ、友枝地区は小倉領（小笠原藩）、唐原地区は中津領（奥平藩）に属したといわれるが、明治四年廃藩置県によって小倉県、同九年福岡県に編入された。又明治二十二年町村制の施行により友枝村、唐原村が誕生、さらに昭和三十年四月友枝村と唐原村が合併して現在の大平村となった。

(ハ) 自然

総面積48.68Km²にわたる本村は70%が山林

(ニ) 部落別

部落別	世帯数	人口(人)	面積 Km ²
西友枝	193	847	16.22
土佐井	268	1,042	3.44
東下	127	533	3.33
東上	170	767	13.70

によって占められ、耕地は30%に当たる14.0Km²と狭いが、濃い緑と澄んだ空気に恵まれている。地形は大分県との境をなす山国川に沿った唐原地区と友枝川に沿う西友枝及び土佐井地区、東友枝川に沿う東上・東下地区の三つの地域に大別され、いずれの地域も南北に走る山脈に沿って帯状に延び、この三地域が北側を要として扇状に広がっている。

気候は一般的に温暖で、無霜期間は8ヶ月、年間降雨量は1,500mm前後で比較的少ないといえよう。

又、村内には古代文化を伝える有形・無形の史蹟が点在し、この地域が永い歴史によって築きあげられたことが推定される。中でも穴ヶ葉山装飾古墳、友枝瓦窯跡は国指定、松尾神社に伝わるお田植行事は無形文化財として県指定をうけ、郷土史会等によって調査研究がなされている。

S, 46.1現在

部落別	世帯数	人口(人)	面積 Km ²
下唐原	229	902	4.28
上唐原	192	804	3.17
百留	41	155	0.66
原井	115	481	3.88

合計	世帯数	1,335	総人口	5,531	男	2,590	女	2,941	面積	48.68Km ²
----	-----	-------	-----	-------	---	-------	---	-------	----	----------------------

(休) 産業分類別就業者数

S, 40年度

区分	総数	農業	林業 狩猟業	漁業 水産業	鉱業	建設業	製 造 業			
							計	機械工業	セシイ 工業	その他の 業
実数	3.027	1.993	6	1	8	108	283	154	12	117
構成比	100	65.8	0.2		0.3	3.6	9.4	5.1	0.4	3.9

卸小 売業	金融 保険業	運輸 通信業	電気 ガス業	サ ー ビ ス 業				公 務	分類不能 産 業
				計	対個人 サービス業	対事業所 サービス業	その他の サービス業		
204	20	90	8	248	37	54	157	58	0
6.7	0.7	3.0	0.3	8.2	1.2	1.8	5.2	1.9	0

2. 施 設 ・ 設 備

社会教育関係及び小・中学校関係

S, 46.1現在

社 会 教 育		
名 称	建物面積	対象戸数
大平村公民館	580㎡	1,335戸
金代分館	107〃	43〃
小畑分館	68〃	42〃
横川分館	109〃	48〃
仙代分館	110〃	55〃
(林田会館) 東上分館	182〃	170〃
土佐井分館	169〃	268〃
下唐原分館	166〃	229〃

S, 46.5現在

学 校 教 育				
学 校 名	学級数	児童生徒数	教職員数	
小 学 校	友 枝	6	134	10
	西友枝	6	82	8
	東 上	6	86	8
	唐 原	6 (1)	161 (6)	10
	原 井	3 (1)	36 (11)	7
計	27 (2)	499 (17)	43	
築上東中学校 (二ヶ村組合立)	15 (1)	547 (10)	32	

※ ()内数字は特殊学級関係

〇 福岡県立青少年の家

設置者	名称	所在地	設立年	職員	収容人員	構造	建物面積	敷地面積
福岡県	大平青少年野営訓練所	築上郡大平村唐原	昭34	所長 1 主事 1	ベッド 106	木造	691.3㎡	3,042㎡

主要設備	宿泊料金	食事	利用資格	もより駅	電話
テント20、炊事用具、食器110人分 農業実習用具	1人約40円 毛布1枚20円	1食60円 ～110円	主として青少年団体と そのリーダー	日豊線中津駅 西鉄バス (友枝線)	友枝局 67

〇 同和地区集会所

建物の構造及び面積		建築年月日	用途別室数および面積						
構造	面積		管理室 (1)	事務室 (1)	集会室 (1)	会議室 (1)	調理室 (1)	廊下 玄関	便所
木造平屋	126.70㎡	昭47.2.28	9.94	9.94	44.72	15.83	12.42	28.88	4.97

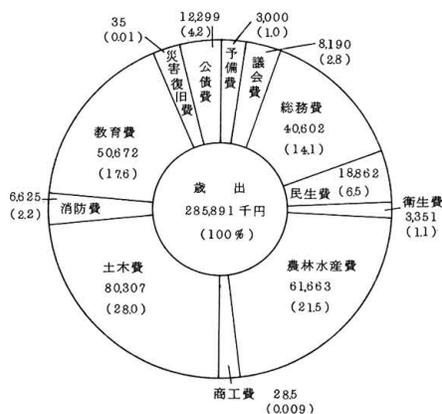
主要設備	備品
テレビ…1 幻灯機…1	テープレコーダー…1 レコードプレーヤー…1
	録音テープ…10 レコード…10
	書棚…1 黒板…2
	卓球台…1 ラケット…4
	ネット支柱…1 野球ミット…1
	グローブ…7 ファーストミット…1

※ 職員体制について

社会教育は重要視されながらも職員体制が充分とはいえない。

3. 運営状況（予算面から）

〇 昭和46年度一般会計当初予算（単位 千円）



〇 教育費の中の社会教育費について

教育関係総予算—— 50,672千円
 社会教育予算—— 9,401千円
 (18.5%)

① 社会教育総務費—— 2,426千円

うち	金額
・婦人会助成金	133,400円
・青年団助成金	96,500円
・子ども会育成会助成金	200,000円
・ボーイスカウト助成金	150,000円
・京等視聴覚ライブラリー負担金	77,100円

- ② 公民館費—— 1,544千円
- ③ 同和教育費—— 4,763千円
- ④ 文化財保護費—— 668千円

- ⑤ 保健体育費—— 195千円
- ⑥ その他

4. 事業内容

- 婦人会活動についての指導助言

婦人会は自主的に活動を行なっているが、毎月1回の定例理事会には必ず出席して指導助言をしている。ただ、各校区別の婦人会の集会や各支部毎の集会には出席できかねている現状である。

婦人会活動としては、会としての本質的活動の外、環境衛生・健康を守るための各種の運動や国民年金の集金など村行政への協力や各種行事にいろいろ協力している。
- 青年団活動についての指導助言

青年団も自主的に活発な活動をしている。特に昨年度は県青年大会に意見発表の部・写真の部・郷土芸能の部に出場、郷土芸能の部では県1位優秀賞を獲得し、そのため東京における全国青年大会に出場、この会においても優秀賞をかちとるなど輝かしい成果をあげた。

体育活動においても男子青年は郡体育大会においてバレー優勝、県体まで進んで大いに活躍した。
- 子ども会活動並びに育成会活動についての指導助言

単位子ども会の数は現在32あり、いくらかマンネリ化の傾向にあることはいなめないが、
- それでも山彦子ども会が「県子どものつどい」の会で優良子ども会として表彰を受け面目を施した。
- 婦人学級への指導助言
- 政治学級への指導助言
- 家庭教育学級は各小学校の献身的協力を得て実施している。
- 識字学級への指導助言
- 社会同和教育についての研修と指導助言
- 郡・県主催の社会教育関係の各種の研修会や会合への出席とその事後処理及び参加者募集に協力
- 村主催の各種行事への積極的協力援助
- 統計・調査等の報告事務
- 視聴覚教育関係について

※16mm映写機の免許証保持者が少ないので、免許証の所持者をふやしたい。
- 文化財関係について

村文化財保護条例が制定され、村内の各種の文化財の保護・調査・研究・資料の蒐集・資料の発行等積極的にすすめている。
- 広報「たいへい」の発行（毎月1回）村内全戸に配布している。

5. 今後の課題と問題点

生涯教育の必要性が強く叫ばれている今日、公民館の果すべき役割は極めて大きい。

まづ、職員体制の充実が第一であろう。今まで教職員の献身的協力のもとに進んできた社会教育は、今後はそれ以外からも優秀な人材を加えて、はじめ

て充実発展させることができると思う。

物質文明のかけに人間性が失なわれつつある時、学校・家庭・社会の各教育が一丸となって明るく、豊かな日本人の育成に努めねばならぬと思う。

社会教育は「人」と「物」の両面から。

築上郡新吉富村

1. 新吉富村の概要

本村は福岡県の最東端に位し、山国川を隔てて大分県に接する戸数わずか千余戸、人口4千人不足の小さな純農村である。平均耕作面積は、わずか50アール余りで、専業農家は少なく殆んどが兼業農家であり、過疎の村である。特産物がなく、農業をも

って生計を立てるのには発展性がない為、ことに若い青少年は、殆んど他出して、村にとどまっているものは、老人層と婦女子の一部という現状である。

2. 公民館の施設設備

- (1) 建設年月日 昭和42年2月竣工
 (2) 敷地面積 5.500 m²
 (3) 施設の内容 木造平屋建

室の名称	面積
講堂	106 m ²
図書室兼小会議室	35 //
小会議室兼結婚式控室	33 //
倉庫	22 //
宿直室	29 //

室の名称	面積
事務室	46 m ²
集会室兼結婚式場	59 //
廊下、便所、洗面所	120 //
料理教室	74 //
計	524 //

- (4) 建築経費総額 10.854 千円

3. 公民館の職員体制

	館長	主事	書記	事務員	計
本務	0	1	0	0	1
兼務	(教育長) 1	0	0	0	1
計	1	1	0	0	2

本務は主事1名であって、社会教育の重要性が益々要求される今日、職員体制の充実是最も急務である。

4. 公民館の事業（和昭46年度）

(1) 開設学級

学級種別	学級数	学級生徒	備 考
生活学校	1	51	第1年次
婦人学級	1	51	県費補助学級
支部婦人学級	20	700	
家庭教育学級	2	123	2学級とも県費補助学級
料理学級	2	91	
農業講座	2	89	
政治学級	4	115	自主学級

(2) 育成指導団体

イ、青年団

団員数 86名 村助成金 10万円

ロ、婦人会

会員数 747名 支部数 20
村助成金 18万円

ハ、ボーイスカウト

隊員数 34名 村助成金 7万円

ニ、子ども会並びに子ども会育成会

単位子ども会数 20 会員数 358名
〃 育成会数 20 会員数 180名
村助成金 8万円

(3) 主要行事（昭和46年度）

イ、成人式

(イ) 該当者 67名 出席者 52名

(ロ) 実施期日 昭和47年1月15日

(ハ) 記念品 富有柿苗 記念写真

(ニ) 記念植樹 それぞれ両校区出身校に植樹
(ドイツウヒ)

(ホ) 式典 宇佐神社の神前に於いて厳粛にとり行なった。

(ヘ) 服装 女子は全員洋服で出席（昭和40年より励行）之は本村の特色である。

ロ、敬老会

(イ) 実施月日 昭和46年9月23日

(ロ) 実施会場 別府市杉ノ井パレス

(ハ) 該当年令 満75才以上

(ニ) 本年度該当者 164名出席 97名

ハ、部落対抗野球大会

(イ) 実施期日 昭和46年8月14, 15日
の2日間

(ロ) 参加チーム 14

ニ、社会同和教育講習会

(イ) 開催期日 昭和47年3月8日

(ロ) 参加者 役場職員・議会議員・教育委員・小中学校教員・区長・婦人会役員等村の指導者階級並びにPTA会員

ホ、村民野外親善ハイキング（毎年実施）

月	日	場 所	参加者
9	29	久住高原方面	350名
10	6	八面山方面	190名

ヘ、公民館結婚式

生活の合理化推進の一助とするのを目的とする。昭和42年開館以来75組

5. 運 営 状 況

	千円		千円
(1) 予 算		ロ、公民館費	908
イ、社会教育総務費		ハ、保健衛生費	
○公民館主事報酬	345	○体育指導委員報酬(5名)	40
○公民館運営審議委員報酬	36	○部落対抗野球大会	38
○各種学級運営費	265	○バレーボール大会	20
○諸行事費	365	○村民野外親善ハイキング	75
○各種団体助成金	450	○郡・県民体育祭豊築武道大会	48
○村外社会教育団体負担金	186	○旅費その他	33
○旅費消耗品その他	143	計	254
計	1,790	合 計	2,952

6. 今 後 の 課 題 と 問 題 点

- | | |
|--|--|
| <p>(1) 社会教育関係職員の充実</p> <p>職員体制の処でも述べたように、主として兼任館長1、専任主事1で運営に当たっている状態である。変ぼうの激しい現状に於いては、住民の要求に答える社会教育の推進は極めて困難であり、職員の増員充実は目下の急務である。</p> | <p>ロ、リーダーの養成</p> <p>ハ、対話学習の推進</p> <p>ニ、出席率の向上</p> |
| <p>(2) 公民館の位置</p> <p>中央公民館である本館は、西吉富校区にあり地域的に偏在しているので、両校区共公民館活動が活発に推進出来るよう南吉富校区にも公民館を建設することが緊要である。</p> | <p>(6) 青少年の指導</p> <p>イ、子ども会指導者及びリーダーの養成</p> <p>ロ、青年団員の拡充、支部活動の充実</p> |
| <p>(3) 部落公民館の増設</p> <p>部落内の社会教育活動の場となる公民館建設の気運が高まり47年度は3館新設が決定している。この建設を全区に及ぼしたい。</p> | <p>(7) 成人男子の学習活動</p> <p>婦人の研修する場は多いが、男子成人の社会教育活動の部門が非常に少ない。趣味のクラブ活動等をとおして学習の場を作りたい。</p> |
| <p>(4) 本館の施設設備の拡充整備</p> <p>年と共に整備されつつあるも、なお図書を購入、視聴覚機材の整備、体育娯楽設備の完備を望む。</p> | <p>(8) 視聴覚教育の重視</p> <p>本村では地域の特性に鑑み、昭和36年より視聴覚器材の整備に努めると共に16mm映写機操作技術者の養成に努め、現在では、婦人会員によって映画学習が進められている。なお、この点を一層助長して行き、充実を計りたい。(現在16mm映写機操作認定証獲得者35名あり。)</p> |
| <p>(5) 婦人教育の充実</p> <p>イ、各種団体、各種学級の自主的運営</p> | |

築上郡吉富町

1. 吉富町の概要

(1) 概況

吉富町は遠く江戸時代より明治4年まで中津藩につづき中津県の治下であり、一時小倉県の設置に伴い同県下にあったが、明治9年福岡県に合併された。明治29年築上郡設置とともに東吉富村（8大字）高浜村（2大字）を編入したが、当時人口3,500人、面積5.51平方町の広さであった。昭和15年吉富製薬株式会社の創立に伴い昭和17年5月19日町制を施行、吉富町として発足し、今日に及んでいる。

(2) 土地

総面積 5.51 Km²

・宅地 104. ha ・山林 7.6 ha
 ・田 233.8 ha ・その他 5.6 ha
 ・畑 43.9 ha

(3) 人口

世帯数 1,991戸
 総人口 7,317人
 ・男 3,414人 ・女 3,903人

(4) 教育

・吉富中学校 吉富小学校 吉富幼稚園 吉富保育園 昭和保育園 皇后石保育園

◎ 吉富町公民館（職員 館長外7名）

(5) 社会教育団体

団体名	団体数	団体名	団体数
婦人会	1	子ども会	22
青年団	1	B.S	1
老人クラブ	6	家庭教育学級	
体育振興会	1		

(5) 町財政（昭和46年度）

247,401千円

教育費

33,119千円

社会教育費 9,252千円（13.4%）

保健体育費 775千円（2.4%）

2. 吉富町公民館の沿革

昭和年	月	日	内容	備考
22	9	16	吉富町公民館設置を認可される	たので移転する
24	6	10	法律第207号を以って社会教育法公布され町公民館条例、町公民館規定を制定し、社会教育法による公民館として発足	27, 1, 10 喜連島部落青年学級開設（県指定の研究委嘱学級となる）
26	6	1	公民館条例並びに公民館規定の一部を改定し新たに運営審議規定、分館規定、公民館使用規定を制定する	27, 2, 13 謡曲講座を開設 27, 6, 1 公民館法第1号を発行 29, 3, 28 喜連島青年学級発表会を開く 4, 22 吉富町青年学級を開設 11, 1 福岡県教育委員会より表彰される
26	11	5	公民館本館は小学校の教室を借用中のところ、小学校講堂竣工と同時にその西側に洋間1室、和室2室の公民館が新築落成し	32, 2, 16 老人学級を開設 5, 12 公民館創設10周年記念式典並びに記念行事挙行 33, 3, 16 吉富町青年学級発表会を開く

- | | | | | | | | |
|-----|----|----|---|-----|----|----|--|
| 33、 | 6、 | 12 | 社会体育モデル町として県の委
嘱をうける
吉富町社会体育振興会の規約を
制定する | 37、 | 7、 | 1 | 吉富町婦人学級、文部省より研
究委嘱をうける、
婦人学級内に料理、生花、茶道
短歌の各クラブを増設する |
| 35、 | 1、 | 23 | 囲碁講座を開設 | 12、 | 2 | | ボーイスカウト築上第1団を結
成する |
| 36、 | 4、 | 4 | 広津413番地に新公民館を新
築する | 39、 | 4、 | 15 | 公民館北側に造園する |
| | 4、 | 7 | 第1回公民館結婚式を挙行 | 9、 | 10 | | 家庭教育学級1学級を開設する |
| | 4、 | 16 | 社会体育研究発表会を開く | 7、 | 18 | | 栄養教室を開設する |
| | 7、 | 5 | 吉富町婦人学級を開設 | 2、 | 16 | | 吉富町内の3地区に老人クラブ
が結成される |
| 11、 | 3 | | 文部大臣より優良公民館として
表彰される | 40、 | 9、 | 10 | 老人の家「寿荘」竣工する |
| 37、 | 1、 | 1 | 町章、町歌、吉富小唄、吉富音
頭の歌詞を一般町民より募集し
制定する | 41、 | 3、 | 10 | 喜連島青年学級を閉鎖する |
| | 5、 | 18 | 町政20周年の祝賀行事多彩に
挙行する | 45、 | 1、 | 13 | 吉富町体育館竣工する |
| | | | | 46、 | 7、 | 1 | 町民用プール増設さる |

3. 吉富町公民館経営の概況

(1) 公民館の目的

公民館は本町在住の住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行ない、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活、文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 公民館の事業

公民館は社教法第26条の目的達成のため、次の部門を設けて事業の推進をする。

① 総務部

- ・事業の企画、実施並びに各部の連絡調整
- ・予算の編成並びに執行
- ・広報宣伝並びに世論調査
- ・各種団体の指導援助
- ・その他

② 教養部

- ・定期講座並びに講習会の開催

- ・青年学級、婦人学級、老人学級、家庭教育学級、B・S、子ども会等の推進

・その他

③ 産業部

- ・町内産業の実態調査及び各種団体との連絡調整
- ・各種産業の研究グループの育成指導

④ 体育部

- ・社会体育の普及と推進
- ・各種大会の援助と実施

⑤ 厚生部

- ・新生活運動の推進
- ・国土美化、環境衛生の推進
- ・公民館結婚、葬祭関係
- ・敬老会、成人式関係

⑥ 文化部

- ・視聴覚教育の振興、技術者の養成

- ・文化グループの助成
- ・展示活動の推進
- ・読書運動の推進
- ・図書の購入
- ・図書室及び図書の整備

(3) 経営上の留意点

- ① 家庭的な和の上に立って経営を進めてゆく。
- ② 各自の職務分担の遂行とお互いの協力につとめる。
- ③ 職員各自の修養研鑽につとめる。
- ④ 地域住民から喜ばれる、そして親しまれるよう運営に努力する。
- ⑤ 常に整理整頓され、躍動している環境をつくるよう努力する。

(4) 本年度の努力点

- ① 総理府指定国民体力づくり国民運動推進地区指定第3年次を迎え、前年次に引き続き、主婦の体力づくりを更に深め、生活化を図り家庭を中心として地域、引いては全町民の体力づくりの振興に努力する。

- ② 婦人学級、青年学級、老人学級、家庭教育学級を計画的、前進的に進めるが、特に「婦人学級」では、支部婦人学級の合理的で身につく魅力的なものへの助言指導を図る。「青年学級」では男子のサークル活動を自主的に推進するよう。「老人学級」に於ては地区別の例会を自主的に促進する。「家庭教育学級」では前年に引き続き1年の父母を対象にその必要性の自覚と基礎知識を身につけるよう図る。

- ③ 子ども会は22を数え、昨年末町子ども会育成連合会も結成された。本年度は単位子ども会の合理的運営を図るべく各育成会のあり方について助言及び研修会をもつことにより目的達成するよう努力する。

- ④ B・Sについては、指導体系の確立を図り、実際運営の合理化につとめ、団員の質の技術の向上及び奉仕的精神の発揚に努力する。

京築地域視聴覚ライブラリーの概要

1 京築地域の位置と概観

福岡県の北部、東は周防灘に面し、北は北九州市南は山国川を境として大分県に接する。地域の人口17万3千4百人、農業を主たる産業とし、漁業林業も行われている。近時西瀬戸内海沿岸の工業が抬頭しつつある。住民のうち多数の青壮年層が北九州の商工業地帯の勤労者として働いている。

地域の構成は2市2郡11ヶ市町村である。

2 京築地域視聴覚ライブラリーの設置

- 1 昭和41年5月23日京築地域視聴覚教育協議会を結成

地方自治法第252条による

- 2 結成市町村
行橋市、豊前市、苅田町、勝山町、犀川町、豊津町、築城町、椎田町、吉富町、新吉富村、大平村、
- 3 会議 協議会（委員30名） 常任委員会（委員11名）
- 4 事務局 事務局長一次長一専任事務職員
- 5 経費 国庫補助金80万円、県補助金80万円、市町村負担金150万円、計310万円の予算規模
- 6 京築地域視聴覚ライブラリーの発足
昭和41年10月11日開館

3 京築地域視聴覚ライブラリーの組織と運営

- 運営委員会（委員31名）
- 館長一次長一専任職員1名一兼任職員2名
- 事務所 行橋市大字大橋2307番地

行橋市民会館内

- ◎ 昭和47年度運営方針、事業計画

1 運営方針

社会教育並びに学校教育近代化の主流に位置づけられている視聴覚教育の振興をはかるため、視聴覚ライブラリーの機能を強化し、必要な視聴覚教材の充実整備をはかり、教材の積極的活用をすすめていくと共に、関係機関団体との連けいを深め、本地区における視聴覚教育行政体制の拡充強化につとめる。

- (1) 市町村の要求を会の組織、運営に反映させ、視聴覚教育の振興につとめる。
- (2) 社会教育の振興に必要な視聴覚教材の充実につとめる。
- (3) 社会教育の各領域における視聴覚教材の計画的利用と社会教育指導者の視聴覚教育についての研究を推進する。
- (4) 学校教育関係の利用度を高めると共に研究組織等の連けいをはかる。

2 事業実施上の努力点

- (1) 指導者の養成研修
 - イ 社会教育主事、公民館主事等、社会教育関係職員の視聴覚教育に関する認識を深め、教育技術の向上をはかる。
 - ロ 視聴覚教育指導者の組織化と活動をはかる。
- (2) 視聴覚教材の整備充実
 - イ 学習教材にふさわしい教材を購入し、積極的利用を促進する。
 - ロ 教材の総合目録を作成し、教材の効果的利用をすすめる。
- (3) 視聴覚教育の刷進充実
 - イ 研究委嘱地区を中心とし、教材の計画的利用

及び研究の充実をはかる。

ロ 教材の利用促進のための諸事業を実施する。

各郡市毎に一地区委嘱

3 事業内容

月別	事業名	対象	会場	摘要
2	○視聴覚教育担当者会議 ○視聴覚教育に関する調査	市町村	行橋市民会館	○市町村教委の担当者 ○教材保有、教材利用の状況
5	○運営委員会 ○社会教育関係団体協議会 ○学校関係研究団体等協議会	運営委員 関係団体代表	行橋市民会館 4郡市	
6	○監事会 ○視聴覚教育指導者講習会 ○協議会	監事 市町村社会教育担 当者 公民館主事 委員	事務局 行橋市 豊前市 行橋市民会館	○会計関係について監査 ○視聴覚教材利用方法等を中心 ○決算の認定等
7	○8ミリ映画撮影技術講習 会	社会教育学校教育 関係者	豊前市	○撮影技術、フィルム、編集等
8	○視聴覚教育及び技術講習 会 ○視聴覚教育指導者(技術者) グループ組織(結成)	社会教育学校教育 関係者	行橋市 豊前市	○映写機の構造操作等の講習 ○免許証の切替実施
9	○運営委員会	運営委員	行橋市民会館	○16ミリ映画フィルム購入試写
10	○視聴覚教育研修会	婦人学級 青年学級 家庭教育学級 子ども会老人クラ ブ等関係者	行橋市民会館	○研究委嘱地区の事例を中心 にして効果的利用について研究 ○新作映画の試写
11	○視聴覚教育担当者会議	市町村担当者	行橋市民会館	○教材の効果的利用 ○視聴覚教育の諸問題
12	○運営委員会 ○教材目録作成	運営委員	行橋市民会館	○8ミリ教材映画フィルム購入 ○ライブラリー運営等
1	○常任委員会 ○協議会	常任委員 委員	豊前市 行橋市	○昭和48年度の運営並びに事 業について
2	○研究協議会	各関係者	二会場	○研究委嘱地区事例 ○研究グループの育成 ○教材の利用促進策
備考	○新作映画研究協議会 ○教育映画祭			○県教委、県協会等と共催

昭和47年度 京築地域視聴覚教育協議会予算

1 歳入の部

款 項	目	節	本 年 度 額 予 算	前 年 度 額 予 算	増 減	摘 要
1 款 分担金 及び不担金			2,196,200	2,196,200		※前年度(補正)のとおり
1 項 分担金 及び不担金	1 視聴覚 教育協議会 負担金	1 市町村 負担金	2,196,200	2,196,200	0	行 橋 市 580,700 豊 前 市 468,000 苅 田 町 242,900 勝 山 町 105,400 豊 津 町 122,300 犀 川 町 136,900 築 城 町 133,700 椎 田 町 145,500 大 平 村 88,600 新 吉 富 村 75,200 吉 富 町 97,000
2 款 国庫支出金						
1 項 国庫補助金	1 教育費 国庫補助金	1 社会教 育費補助金	500,000	500,000	0	
3 款 繰越金						
1 項 繰越金	1 繰越金	1 前年度 繰越金	20,000	21,094	△ 1,094	
4 款 諸収入						
1 項 雑収入	雑収入	雑収入	2,800	2,700	100	
合 計			2,719,000	2,719,994	△ 994	

昭和47年度 市町村負担金見積資料

市町村名	昭和46年度負担金	昭和47年度負担金	増	減	摘 要
行 橋 市	580,700	580,700		0	※前年度どおり
豊 前 市	468,000	468,000		0	
(京 都 郡)	607,500	607,500		0	
苅 田 町	242,900	242,900		0	
勝 山 町	105,400	105,400		0	
豊 津 町	122,300	122,300		0	
犀 川 町	136,900	136,900		0	
(築 上 郡)	540,000	540,000		0	
築 城 郡	133,700	133,700		0	
椎 田 町	145,500	145,500		0	
大 平 村	88,600	88,600		0	
新 吉 富 村	75,200	75,200		0	
吉 富 町	97,000	97,000		0	
合 計	2,196,200	2,196,200		0	

2 歳出の部

款 項	目	節	本 年 度 額	前 年 度 額	増 減	摘 要	
1 款	教 育 費		2,707,000	2,706,000	1,000		
1 項	教育総務費		2,707,000	2,706,000	1,000		
	1	教育総務費	842,000	811,000	31,000		
		3	職員手当	10,000	10,000	0	
		7	賃 金	4,000	4,000	0	
		8	報 償 費	30,000	30,000	0	
		9	旅 費	60,000	70,000	△ 10,000	
		11	需 用 費	40,000	55,000	△ 15,000	1.消耗品費 7,000 2.食糧費 25,000
						3.印刷製本費 8,000	
		12	役 務 費	15,000	15,000	0	1.電話料 2.郵便料
		14	使用料 及び賃借料	6,000	5,500	500	
		18	備品購入費	6,000	10,000	△ 4,000	
		19	負担金補助 及び交付金	671,000	611,500	59,500	1.職員給料等負担金 (行橋市へ) 504,000 (1)給料 30,500 × 12 ヶ月 = 366,000 (2)期末手当等 30,500 × 4.5 ヶ月 = 137,250 2.県協会負担金 107,000 3.研究委嘱補助金 60,000 15,000 × 4 地区
	2	ライブラ リー運営費	1,865,000	1,895,000	△ 30,000		
		3	職員手当	35,000	35,000	0	
		9	旅 費	60,000	60,000	0	
		11	需 用 費	70,000	100,000	△ 30,000	1.消耗品費 10,000 2.食糧費 30,000
						3.印刷製本費 20,000 4.修繕料 10,000	
		12	役 務 費	10,000	10,000	0	
		18	備品購入費	1,690,000	1,690,000	0	映画フィルム購入費 1. 16 ミリ映画フィルム

款 項	目	節	本 予 算 額	前 予 算 額	増 減	摘 要
						2.その他の教材
2款 予 備 費			12,000	13,994	△ 1,994	
1項 予 備 費	1 予 備 費		12,000	13,994	△ 1,994	
		1 予 備 費	12,000	13,994	△ 1,994	
合 計			2,719,000	2,719,994	△ 994	

歳入歳出とも差引残金なし

昭和47年1月 日

京築地域視聴覚教育協議会長 金子 忠

大 会 役 員

名誉会長	福岡県教育委員会教育長	森田 實	参 与	福岡県選挙管理委員会委員長	宮崎 時春
大会会長	福岡県公民館連合会長	青山 了	"	京都郡地教委連絡協議会長	三原 昭三
" 副会長	" 副会長	坂田亀次郎	"	築上郡地教委連絡協議会会長	小川 進
"	" "		"	福岡県教育庁築上出張所長	長野 日輝
"	行橋市教育委員会委員長	末永 一郎	運営委員	福岡市香椎公民館長	中尾荘兵衛
参 与	福岡県知事	亀井 光	"	福岡市教委社会教育課長	志鶴 幸弘
"	行橋市長	金子 忠	"	久留米市公民館長	宮崎 秀義
"	豊前市教育委員会教育長	末元 寿夫	"	大牟田市公民館長	友添 修一
"	福岡県市長会長	阿部 源蔵	"	北九州市教委社会教育課長	北原 信幸
"	福岡県町村会長	三輪 修平	"	北九州市戸畑中央公民館長	坂本 毅平
"	福岡県市議会議長会	妹尾 憲介	"	飯塚市中央公民館長	石坂久仁夫
"	福岡県市町村教育委員連絡協議会会長	木村裕四郎	"	甘木市三奈木公民館長	西 勉
"	福岡県社会教育委員連絡協議会会長	鍵水 速太	"	中間市公民館長	菊地 勝
"	福岡県視聴覚教育協会会長	野原 正彦	"	大野城市中央公民館長	井原 信一
"	福岡県貯蓄推進委員会会長	高草 洋太	"	筑紫野市教委社会教育課長	武藤 久雄
"	福岡県農協中央会会長	大石 信	"	那珂川町中央公民館長	井上 馨
"	福岡県父母教師会連絡協議会会長	畠中 仁	"	宗像郡玄海町教委社会教育主事	桑野 勇
"	福岡県都市婦人連絡協議会会長	内野 梅子	"	嘉穂郡稲築町公民館長	久家 貞美
"	福岡県青年団協議会会長	鳥巢 孝一	"	浮羽郡浮羽町教委社会教育主事	大山 初男
"	福岡県子ども会育成連絡協議会会長	貝島 義之	"	三潞郡大木町公民館長	川村 利雄
"	福岡県社会福祉協議会会長	原田平五郎	"	山門郡瀬高町公民館	佐田 進
"	福岡県老人クラブ連合会会長	野見山佐一	"	田川郡香春町公民館長	高本 貞之
"	福岡県明るく正しい選挙推進協議会会長	根津菊次郎	"	福岡県教育庁京都出張所長	鳥井 義喜

大会準備 委員長	行橋市教委社会教育課長	山中 募	事務局	事務局 長	大和 正己
副委員長	京都郡犀川町中央公民館長	奥 一		事務局 次長	淵上 雄幸
〃	築上郡吉富町公民館長	松本 二一		事務局	波佐間圭造
〃	豊前市中央公民館長	米谷 稔		〃	藤井 和
委員	豊前市社会教育委員	山本 勇		〃	扱井 省三
〃	豊前市教委社会教育課長	山田 末夫		〃	森 博子
〃	豊前市教委社会教育課社会教育係長	重松 薫			
〃	豊前市公民館主事	柿本 芳雄			
〃	行橋市社会教育委員	二見 夏茂			
〃	行橋市中央公民館長	安藤 悟			
〃	行橋市連合婦人会長	工藤 春子			
〃	行橋市教委社会教育主事	坂井 誓学			
〃	行橋市教委社会教育主事	豊瀬 末美			
〃	京都郡社会教委員代表	広瀬正美智			
〃	京都郡叻田町教委社会教育主事	増田 浩次			
〃	京都郡公民館連合会副会長	岩本 貞吉			
〃	京都郡勝山町公民館主事	梅林百合矢			
〃	築上郡社会教育委員代表	竹口 敏彦			
〃	築上郡椎田町中央公民館長	古賀 武夫			
〃	築上郡築城町中央公民館長	末次 征夫			
〃	築上郡公民館主事会会長	山岡 由夫			
〃	福岡県教育庁京都出張所社会教育係長	福井 鹿三			
〃	福岡県教育庁築上出張所社会教育係長	宮崎 茂			

メ モ

新作東映教育映画



東映スーパー8サウンド

定 価 ¥98,000

免税価格 ¥89,000



東映トニー8M映写機

定 価 66,500円

免税価格 61,600円



ラッキー・カセット
プロジェクター230

定 価 ¥58,000

山の子・町の子

児童劇映画／カラー42分／20,000円

東京から山深い田舎へやってきた兄弟が、都会とは全く違う生活の中で今まで見失っていた遊ぶことの楽しさを見出し、山の子たちとの遊びを通じて、自然を愛し、守ることの意味を見い出す姿を描く。

職 場 と 創 造 性

社会教育映画／32分／85,000円

職場の一人の同僚が起した失敗を契機に、みんなでその原因を究明解決し、更に新しい課題に積極的に取り組む若者達の姿を描き、職場の生きがいが自らの努力で作りますものであることを示す。



わ れ に 友 あ り

社会教育映画／30分／85,000円



二人の老人の友情物語を通じ、老人には慰安とはげましを、家族には老人に対する一層の配慮と理解を、そして多くの人々に、やがてあなたもそうなるであろう老年期への心構えを促し、訴える。

人 間 の 性

性教育映画／カラー20分／84,000円

好評の性教育映画、「思春期における男子・女子の生理」の実績に基づき、性を全人間的なものとしてとらえ、性に対する正しい知識と倫理感を育成させる、性教育の序論でもあり、総論でもある作品。

地 球 の 科 学

学校教材映画／カラー20分／94,000円

地震を起す力は何か、なぜ日本列島の周辺に多いかを、アニメーション・実験等を用い、地球内部の構造を明らかにしつつ理解させる最新の科学映画。



東映株式会社 教育映像営業部

九州営業所

福岡市中央区天神2丁目9番18号

電話 福岡 092 ⑧ 0761



視聴覚教材の総合商社

貸出・販売

新作16^m/_m貸出フィルム

文部省グランプリ受賞

片足のエース カラー90分 児童福祉文化賞
福岡ロケ作品

文部省特選

アルプスの少女

ハイジ カラー80分 美しきアルプスの山々…
名作文学の映画化

オートバイ安全運転フィルム

若い疾走 カラー15分 オートバイと安全

性教育指導フィルム

青年と性・黒い血 16^m/_mパートカラー
カラー・スライド

— 営業品目 —

16ミリ・8ミリ・スライド（オート）映写機

16ミリ・8ミリ・ビデオ・スライドフィルム

視聴覚設備の設計・施工

〈カタログ・フィルムリストお申込み次第送付します〉

視聴覚センター

株式会社 新 協 社

福岡市博多区奈良屋町6番30号 〒812

TEL 福岡 (092) 28-4227(代)

視聴覚機材のことなら 何んでもご相談下さい



視聴覚機材の販売と技術指導

★ビデオスタジオ

機器設備はすべてスタンバイOK!いつでもその場で手軽に番組が制作できます。スタジオ、VTRのレンタルシステムも開始いたしました。

★本格的なA・V室

映写距り14mのモデル視聴覚室です。教卓のパネル操作で、ご自由に操作できます。

内外一流製品を実践の中からピックアップしたショールーム!



株式
会社

ドット-A・V

福岡市博多駅ウラ正面 TEL 092 (41) 0001 大代 (41) 1268 直

クラマーの

サッカー基礎技術 (1)~(4)

カラー2巻 各¥85,000—

やさしい水泳教室

~~~~みんなで泳ごう~~~~

カラー2巻 ¥80,000—

## 水泳教室

カラー2巻 ¥80,000—

教配の優秀映画

文部省特選

## 交響詩 立山

カラー4巻 ¥150,000—

## 雪の行路

カラー3巻 ¥100,000—

C 62重連の息吹を永遠にとどめる

全視連企画 (中学生の心理)

## もう子供じゃない

モノクロ3巻 ¥80,000—

福岡市博多区店屋町8番18号 (日産生命館)



株式会社

教育映画配給社九州支社

電話 092 (27) 6321 (代)

未来を豊かに

# ライフ・アップ・ガス

私たちのくらしが

ますます便利になる

ますます快適になる

ますます豊かになる

ガスは

未来社会をつくる

私たちの

未来エネルギーです



 **西部ガス**



## 電気温水器であなたの家に 温泉を……

会社から帰って、すぐからだを流したいとき……。  
寝る前にザブットつかりたいとき……。  
コックをひねるだけですぐはいれるお風呂。  
給水、点火、消火のてまがぜんぜんかかりません。  
深夜の電気を使うので電気代は普通料金の $\frac{1}{2}$ です。

ワンタッチでお湯がたっぷり

全自動

## 電気温水器



九州電力

# ご家族そろって

## 大きく遊べる!

### さわやか ひろば

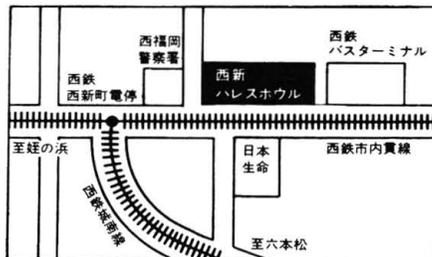


#### 西新パレス各階のご案内

**1F** ショールーム、お好み焼「ぼて八」うどん「槍」、屋内駐車場 (100台収容)

**2F** 西新パレスボウル (マブリックフロア30レーン)、レストラン「パレスプラザ」「パブ・バーガー」、プロショップ「マンマン」、麻雀クラブ「西風荘」

**3F** 西新パレスボウル (メンバーズフロア30レーン)、マンモスバー「ビップ」、サウナ「クール」、ビリヤード



ボウリングタウン

# 西新パレス

福岡市西新町3丁目4番3号

# 全国公民館名簿

社団法人 全国公民館連合会／編

B5・¥一、八〇〇(千共)

四〇年以来絶版を続けてきましたが各方面からの強い要望にこたえて七年ぶりに刊行された唯一最新の公民館名簿。  
〈収録内容〉 ○公民館名 ○所在地 ○電話 ○館長名  
○専任職員数 ○施設(構造・延面積) ○分館数 ○部落公民館数 \*都道府県別・設置者別公民館数 \*全国・都道府県公連名簿

## 社会教育の方向〈変動社会の教育ビジョン〉

新堀通也／著

A5・¥一、二〇〇(千一四〇)

家庭教育、学校教育等、社会全体の諸問題の現状を分析し社会教育のあり方を解明した画期的な入門書。

## 増補 生涯教育

天城 勲／序 森 隆夫／著

A5・¥一、〇〇〇(千一四〇)

生涯教育とは何かについて、その概念、問題点、必要とされる理由、現実化するための計画等をわかりやすく説明。

## 家庭教育指導事典

村上俊亮・沢田慶輔・小山隆・藤原英夫／編集 B5・¥三、五〇〇(千二〇〇)

家庭教育の研究者、指導者のかたがたのために、はじめて家庭教育に関する各方面の研究成果を集大成し、学問的に体系づけた本格的な総合事典。

ぎょうせい



帝国地方行政学会

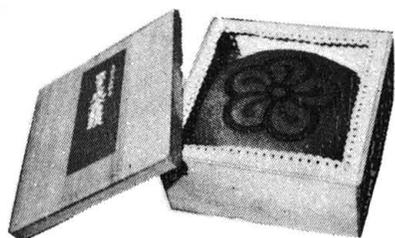
九州支社 福岡市中央区西中洲六番14号(千810)  
電話(092)7512865 振替福岡10340

身障者の工場

コロニー印刷

社会福祉法人福岡千鳥園

群を抜くうまさ



電話1番 味1番

横綱の風格

直方市殿町 TEL直方② 0617  
0001

福岡市新天町商店街 TEL福岡⑦ 0320

直方市国鉄駅前 TEL直方② 0334

福岡市西鉄名店街 TEL福岡⑨ 2628

直方市古町銀天街 TEL直方② 1414

博多ステーション名店街 TEL福岡④ 3850

直方市中央商店街 TEL直方② 1697

飯塚西鉄センター名店街 TEL飯塚② 3006

工場 福岡市大名1丁目1-35 TEL福岡⑨ 8843

直方名物 九州の銘菓

しのみや  
四宮の **成金饅頭**

## 貸出と販売

一般劇映画・教育映画

北辰16ミリ映写機

性教育の決定版……こんにちは13才(テープはスライド) ¥22,000

／只今好評発売中／

# (有) 博映商事

福岡市中央区舞鶴1丁目4番7号

電話 (74)6628・(74)0306

信用と伝統のもとに良書を作って70年

70周年  
記念出版

## 基本判例

編集委員 岩松三郎 我妻 栄 田中治彦  
田中二郎 兼子 一 石井照久 田藤重光  
A 5判 全25巻 特価 ¥60,000

## 日本の民俗

文化庁文化財保護部監修  
B 6判 全47巻 各県別 ¥ 800

各地のすぐれた民俗研究家の手によって府県別に統一した項目で編集された貴重な資料

## 消費生活相談事例集

国民生活センター監修  
A 5判加除式 全1巻 ¥2,000

## 月刊 公民館

全国公民館連合会編  
B 5判 年間購読料 ¥1,632  
(●内容見本呈)

### ▲ 第一法規出版株式会社

### 九州支社

〒810 福岡市中央区大手門3丁目5-4  
TEL (74) 6006

## 教育効率化のお役に立ちたい念願の

### ○学研現代化教材

- ・定温器（卵の育ち方・発芽発生などの実験に）¥19,500-
- ・文部省教材基準該当品（算数）
- ・算数特別設備品（11品目）

### ○ガッケンO・H・P-トラペン

### ○オート・トレイナー（教育近代化の最尖端）

### ○学年別学習・科学誌・百科事典等教育の総合メーカー

教育情報産業の未来をひらく



本社 東京都大川区上池台4丁目40の5  
九州総局 福岡市中央区渡辺通2-9-32 電話⑦ 5061  
北九事務所 北九州市小倉区大田町三宅ビル内 電話⑤ 1781

# 行橋京都旅館組合

事務所 橋本旅館内

| 旅館名  | 所在地       | 電話         | 経営者     |
|------|-----------|------------|---------|
| 京都館  | 行橋市宮市     | 代2-1800    | 進 定 三   |
| 梅の家  | 〃 中町      | 代2-0080    | 中 原 醇   |
| 橋本旅館 | 〃 宮市      | 2-0233     | 橋 本 倫 徳 |
| たちばな | 〃 宮市      | 2-0350     | 米 田 肥佐子 |
| 西田屋  | 〃 田町      | 2-0707     | 西 田 澄 江 |
| 松 島  | 〃 田町      | 2-0162     | 松 本 秀 一 |
| 植田屋  | 〃 田町      | 2-1333     | 植 田 アサノ |
| 南 荘  | 〃 門樋中町    | 2-2117     | 溝 上 国 松 |
| 花龍荘  | 〃 神田町     | 2-0749     | 長 田 花 枝 |
| 誠    | 〃 大正町     | 2-0170     | 村 上 友 平 |
| 富士家  | 〃 明活町     | 2-0815     | 藤 田 素美世 |
| ひさご  | 〃 出店町     | 2-2120     | 石 田 トミ子 |
| 赤 玉  | 〃 田町      | 2-628      | 松 本 アサエ |
| 宇佐屋  | 〃 京町      | 2-2649     | 恵 良 ハツエ |
| 桜 屋  | 〃 京町      |            | 横 枕 トメ子 |
| 源 氏  | 〃 川島町     | 代2-3770    | 佐 藤 剛   |
| 望海荘  | 〃 蓑島      | 代2-1088    | 米 谷 啓   |
| 周防館  | 〃 蓑島      | 2-1045     | 小 坪 重 行 |
| 錦海荘  | 〃 蓑島      | 2-1060     | 浜 田 栄 治 |
| なかむら | 苅田町神田町3丁目 | 苅田局46-0052 | 中 村 朝 己 |
| 山 海  | 〃 〃 1丁目   | 〃 46-0321  | 楠 イソエ   |
| 苅田旅館 | 〃 〃 1丁目   | 〃 46-0253  | 宮 脇 スナエ |
| 松下旅館 | 〃 〃 2丁目   | 〃 46-0255  | 松 下 ト ヨ |
| 三 笠  | 〃 磯浜町1丁目  | 〃 46-0176  | 大 里 美代子 |
| ちづる  | 〃 富久町1丁目  | 〃 46-0710  | 丸 野 千鶴子 |
| 栄 屋  | 犀川町本庄     | 犀川 57      | 中 尾 シ オ |

内科 眼科

医学  
法人

大原病院

行橋市駅前通り 電話②2345

内田産科婦人科医院

内田 定勝  
内田 敬久

福岡県行橋市魚市場通 電話②0155・1898

駅弁当、折詰料理仕出し専門

株式会社 小松商店

行橋市駅前 TEL ②0044番

動脈硬化の原因・コレステロールを取る油

山田合名会社



行市橋錦町 電話 (2) 0408



**アケボノサイダー**

福岡県行橋市大字大橋

大池飲料有限会社

TEL ② 0 2 2 8

衣料の総合デパート

株式  
会社 **原田百貨店**

TEL

② 2 1 1 1 ② 1 6 6 1

支店 駅前 靴鞆専門店

明るく楽しい  
お買物センター



**相互ストア**

行橋市魚町銀座

電話代表 ② 2 3 4 0

**総合建設業**

株式会社 **西村組**

行橋市大字大橋 4 5 8 の 2

TEL 2 3 6 1



Country milk

ニシラク  
デ-ライ牛乳

# 西酪協同株式会社

本社 北九州市小倉区金田町三丁目  
電話 (571) 代表 1331~5番

福岡事業所 福岡市美野島二丁33番1号  
電話 (43) 2806・2819番

筑豊事業所 飯塚市菰田西三丁目16番8号  
電話 (2) 1890・2116番

行橋工場 福岡県行橋市大字大橋字渡池496の3  
電話 (2) 2327番

タクシーの御用命は

京都タクシー(有)

本社 行橋市大橋大道2517 電話 代表②0376  
南本町営業所 南本町 ②2610  
養島営業所 養島 ②0862  
長木営業所 長木 行橋②0071  
勝山営業所 勝山 180

住みよい町づくりをめざす

繁 栄 興 産

繁栄興産株式会社

取締役社長 野 田 繁 夫  
 ♪ 専務 清 水 栄  
 ♪ 常務 井 上 勝  
 ♪ ♪ 堤 剛 基  
 ♪ ♪ 福 田 孝 幸

TEL 09302 代表(2)2273

営 業 種 目

- 土地の仕入造成販売 仲介斡旋
- 不動産の鑑定評価
- 東芝メイゾン(住宅ローン)販売

# ELMO

ELMO

福岡県代行店

8ミリトーカー映写機  
16ミリトーカー映写機  
OHPプロジェクター  
A V R システム

Leitz

福岡県特約店

統一型 V T R

シバデン

特約店

実物投影機

SONY

特約店

視聴覚機械の総合センター

(株) 岡林写真機店

北九州市小倉区魚町1丁目  
TEL 093 (521) 0419

福岡市博多駅前朝日ビル地下  
TEL 092 (41) 1051

暮らしにうるおいを

生活にリズムを!

皆様の音楽設計にミュージックローンをおすすめいたします。

ヤマハピアノ・オルガン・エレクトーン  
教育楽器・レコード・楽器一般

## 晴天堂楽器店

行橋市駅通り

電話 ②②三〇三〇七〇二番

# ほほえみは愛



- 使ってべんり……………西銀 普通預金
- 夢がふくらむ……………西銀 積立預金
- 最高の利廻り……………西銀 1年半定期預金
- マイホームづくりに…西銀 A方式住宅ローン
- 生活設計に……………西銀 ファミリーローン
- お役に立つ……………西銀 商売ご繁栄ローン
- 全国ネットの……………西銀 為替サービス

## 西日本相互銀行

北九州市小倉区魚町1丁目 093-521-0419

福岡市博多駅前朝日ビル地下 092-41-1051



日本の良さ・美しい女性・おいしい茶

推せん茶問屋

静岡園

行橋 2-0 5 3 4

銘菓

行橋饅頭

行橋名産

連歌最中

行橋市西町

大村大月堂本店

TEL② 0 1 4 9

仕出し  
弁当  
おかず

食品はその日の中にめしあがって下さい。  
ボオフザイを使用していないのでいただきます。  
店主

がんでい  
雁亭

行橋市魚市場通り

TEL 09302②0161

毛糸・ボタン・裏地・手芸品  
洋和裁用具・糸類・わた

小売部

合資会社 西毛糸店

TEL② 2 3 2 2 魚町銀座

卸部

西株式会社

TEL② 2321・2323・1269

門樋下町

精 釀

清 酒

登録商標

KUSUGIKU

薫 芳  
天 醇  
下

九州  
菊

高級  
銘酒

クスギク

福岡県犀川町崎山 林酒造場

湧出量九州屈指のラジウム鉱泉  
吞んで効く！はいつて効く  
ラジウム治療

せきしょうむ風呂

演芸は連日公演

北九州レジャーの穴場

——ご休憩・宿泊・宴会に——

川魚料理 / 山菜料理

**犀川ラジウム温泉**

京都郡犀川町 TEL 犀川局 (093042) 117・112

いつでも、どこでも

コカ・コーラ

つめたく冷やしたコカ・コーラ

グッと飲むたびに

ノドにひろがる

さわやかなおいしさ

飲んでも、飲んでも

また手が伸びます



スポーツの仲間は

コカ・コーラ

プレイのあと

冷たいコークのさわやかな味はまた格別

グッと飲むたびに

ノドのかわき、流れる汗をふき飛ばす

コカ・コーラ

スポーツにはかかせない仲間です



スカッと さわやか コカ・コーラ

日米 コカ・コーラ ボトリング 株式会社  
NICHIBEI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)

自由のあさ

一

平和の春にあたらしく  
郷土を興すよろこびも  
公民館のつどいから  
とけあうころなごやかに  
自由のあさをたたえよう

二

こころの花の匂やかに  
郷土にひらくゆかしさも  
公民館のつどいから  
希望を胸に美しい  
文化のいずみくみとろう

三

はたらくもののやすらかに  
郷土にいきるたのしさも  
公民館のつどいから  
まどいになごむひとときに  
明日の力をだてよう

みんな輪になろう

全国公民館連合会選定

生田昌澄 作詩

岩河三郎 作曲

明るい音頭調で

1. ハア はるははなさく こーうみんかん  
に つどうえがおの はーながさく  
きみもわたしも てをとりあっ みんなわになろ  
わーになって おどろ あすのきぼうも あすのきぼうも  
エ イ わーいてーくー る

みんな輪になろう

歌

北島 三郎  
葵 ひろ子

ハア 春は花咲く公民館に  
つどう笑顔の花が咲く  
君も私も手をとりあって  
みんな輪になる 輪になって踊ろう  
明日の希望も エイ わいてくる

ハア 夏の黒潮背中にあびて  
七つ海でも ひとまたぎ  
広い世界の若人たちが  
みんな輪になる 輪になって生きよう  
明日の世界は エイ バラ色だ

ハア 秋だ黄金の稲穂がなびく  
郷土の文化の実もみのも  
暮らすくふうを公民館で  
みんな輪になる 輪になって学ぼう  
明日の夜空は エイ 満月だ

ハア 冬のろ端でグループ組んで  
話しあうときゃ 根雪もとける  
村のみんなが知恵出しあって  
みんな輪になる 輪になって話そう  
明日の暮らしは エイ 日本晴れ

# 撮りまくる!

機動力のナショナルポータブルビデオ

《録画・再生》

再生画像が即座に見られます。

記念行事や対抗試合もバッチリ録画。現像や焼き付け不要、いつでも好きなときに再生してお楽しみいただける……  
軽量、コンパクトで、素早く撮りまくるポータブルビデオが8ミリや16ミリにないユニークな魅力で登場しました。  
また、一般のビデオとしてテレビ番組の録画・再生はもちろん、カラーアダプターを接続すれば、カラービデオにもなるというすばらしい機構。小形ながらも、ビデオのもつすべての機能をそなえた“小さな働きもの”です。

## 抜群の機働性

軽々と肩にかけて被写体を追う。すばらしい機動力です。標準装備のズームレンズが高度な映像テクニックを可能にします。

## 即時再生の魅力

ポータブルビデオは録画したものを即座に再生。8ミリやカメラと違って音も同時に収録、再生画面はビデオカメラのビューファインダーで見られます。また別売りのRFコンバータを接続すれば、ご家庭のテレビに再生してご覧いただけます。

## 《鮮明画像》

ヘッドに国際特許の〈ホットプレスフェライト〉を使って耐摩耗性は抜群。しかも驚くほど長寿命。



# ナショナル ポータブル ビデオ



小形で軽量、  
持ち運びに便利です  
ビデオカメラは高感度マイク付き  
カメラの本体に高感度のマイクを内蔵し、映像と同時に音声も収録します。

ポータブルではじめて、  
カラー録画再生ができます。

専用カラーアダプター（NV-A 610別売）を接続すれば、テレビのカラー番組の録画・再生、カラーの録画テープの再生などカラービデオに早替りします。

ポータブルビデオではナショナルだけの画期的なシステムです。

撮る・即座に再生！  
世界で初めて…  
アダプター使用でカラービデオに早替り  
映像の新鋭機〈ポータブルビデオ〉

《新発売》ポータブルカメラ VY-82 ￥160,000  
ポータブルビデオ NV-3082 ￥220,000

松下電器産業株式会社  
九州特機営業所

福岡市博多区冷泉町四番十七号 TEL (07) 1131